

# 事業報告書

2019（令和元）年度

社会福祉法人 愛 光



## 回顧と展望

### 令和の愛光へ

#### ■「地域の理解なくして福祉なし」移転から25年

1994年、法人名を「視力障害者愛の友協会」から「愛光」へ変更し、佐倉事業所と四街道事業の業務を開始して、25年の時間が経過した。制度発足から4年遅れの1955年に千葉市にてスタートしたので、ほぼ社会福祉法人の歴史とともに歩んできた古い法人である。社会福祉の世界も「施設福祉から地域福祉へ」と重点を移そうとしていた時代に、当法人の歴史のなかでも大事業となった佐倉市山王の事業所移転完成までの経緯は、現在の地域化志向の事業展開の基礎となっている。施設建設を巡る地域住民との交渉は、300日に及んだと記録している。最終的には、隣接地の根郷中学校建設と福祉施設の誘致をセットで地域住民に容認していただいたこと、また、福祉施設として地域の福祉ニーズにどれだけ対応するのか、特に地域の高齢化に対応する具体的なものとして障害者施設の整備が終わった後に、特別養護老人ホームの整備に着手すると約束をし、佐倉事業所移転から5年後に高齢者ケアセンター「はちす苑」が開設した。

この事業所移転を機に、大きく方向転換し、いまや事業は障害・高齢・児童という対象分野をカバーし、サービスの種類としては、生活の介護や支援、就労支援、相談支援、情報提供といった機能を備え、サービス提供形態は施設入所、通所利用、訪問があり「総合的福祉サービス」という経営ビジョンにふさわしい事業を展開する法人となった。つまり、「視覚障害に特化した法人」という特徴からより広い対象に、より多様なサービスを提供する法人へと変わっていったのである。また、2013年からは日常生活圏域である根郷・和田・弥富地区に絞りビジョンの実現に向けた体制整備を行った。それは、300日に及ぶ地域住民との対話のなかから生まれた「地域の理解なくして福祉なし」との教訓からのものである。

当法人は、周年行事を大切にしている。それは、10年ごとに訪れる1つの節目としてこれまでを振り返るタイミングというだけでなく、法人が今後成長するための通過点であり、これまで培ってきた組織風土や組織文化を伝えるキッカケでもある。そして何よりこれまで法人を維持することができたことへの感謝と、それを支えてきた人たちへの感謝の意を表す良い機会であるとの思いからである。そのため、法人創立の周年行事は当然であるが、法人にとって大きな転機となった事業所移転の周年行事も別に行っている。当年度は、11月15日に「事業所移転25周年・はちす苑創設20周年行事」を開催した。「地域の理解なくして福祉なし・地域への感謝」をコンセプトとしプログラム構成は記念式典の前に視覚障害者でありバイオリニストの白井崇陽（しらいたかあき）さんのバイオリンコンサートを盛り込み、多くの地域の方々に来場いただいた。また、記念講演では、全国社会福祉法人経営者協議会副会長の武居敏先生を招き「社会福祉法人の今後を考える」をテーマに講演をいただいた。少子高齢社会となり福祉・介護人材が不足すると言われる2025年問題から生産年齢人口が急減する少子高齢・人口減少社会の2040年問題であるが、想定される社会保障制度が低下した社会において、市場では対応できない人々を支援するために、社会福祉法人が不可欠である。地域共生社会の実現に

向けて、「地域における公益的な取組の一層の推進」「制度の狭間の広がりによる役割の拡大、事業領域の変化の対応」「最後まで地域の福祉を担うことのできる経営の継続性」が重要であることと地域における社会福祉法人としての存在意義を改めて考える有意義な時間であった。この周年行事は、平成の愛光を振り返りつつ令和の愛光のスタートでもある。これからも地域に必要な存在であるとともに新しい時代を地域とともに歩んでいきたい。

#### ■第Ⅳ期中期経営計策定は次年度へ

2005年の法人創立50周年に最初の「経営計画(改革期の社会福祉法人像を求めて)」を策定し、第Ⅱ期は2014年から3ヶ年の「中期経営計画」となった。第Ⅲ期中期経営計画(2017年～2019年)は、南部地域福祉センターの指定管理受託を機に圏域の福祉拠点構想と地域公益活動を主とした「ともいきプロジェクト」を立ち上げた。このことを踏まえ、2018年に見直しを行い、テーマを「地域包括ケアシステムの深化」とした。当然、当年度が策定年度となるが、以下の理由から1年延長することとした。

- ・見直しによる計画変更があったこと。
- ・「ともいき」の名が徐々に浸透していることと事業が順調に推移していること。
- ・第5期佐倉市障害福祉計画と第7期佐倉市高齢者福祉・介護計画との計画年度と合わせることで計画策定の根拠が明確になること。
- ・障害福祉サービスと介護サービスの報酬改定等年度に合わせること。
- ・県内の台風被害、水害により有事の対応を再検討する必要があること。

社会福祉法人のあるべき姿は、先の社会福祉法改正で明確になった。地域福祉の担い手として、今までの事業展開の方向としてそこに標準をあわせてきた。今後は、変化の激しい時代のなかで、3年の計画をつぎはぎに作っていくのではなく、10年先の長期ビジョンを見据えることと外部環境の推移を注視していきたい。それと同時に内部の管理体制の見直しも重点的に取り組む必要がある。年度末に個別支援計画に利用者や家族の同意がないまま支援をおこなっていたことが判明した。総合支援法の主旨である意思決定支援を無視した事案であり、利用者、家族に法人として深く反省と謝罪の意を伝えることとなった。

#### ■社会福祉法人間の協働

社会保障審議会福祉部会の「社会福祉法人の事業展開等に関する検討会」では、社会福祉連携推進法人の創設や法人間連携、合併や事業譲渡の取組みに関する環境整備の議論が本格化している。地域貢献や人材確保、経営の効率化を高める狙いがある。他にも災害対応についても法人間連携は有効である。千葉県でも昨秋の台風被災後、県や県社会福祉協議会が千葉県DWAT(災害派遣福祉チーム)及び千葉県災害福祉広域支援ネットワーク協議会を設置し、各種業界団体に連携を呼びかける予定となっている。確かに地震や台風被害の他に、今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、福祉施設にも多大な影響を及ぼし、一法人での対応の限界を感じた。経営の効率化だけではない、有事の取組みと地域社会の貢献としてのスケールメリットがあるとすれば積極的に検討すべきである。また、2017年に視覚障害者関連事業を千葉県視覚障害者福祉協会に事業移管しており、グループ法人としての関係性強化のため定期的に協議をしているが、目に見える形としての実績はまだない。今後の具体的な取組について参考にしていきたいと思う。

(2020年5月 理事長・西原弘明)

# 2019（令和元）年度 事業報告

## 目次

I. 法人本部	
I－1 法人本部	1
II. 障害者支援事業部	
II－1 ルミエール	17
(障害者支援施設)	
II－2 めいわ	25
(障害者支援施設)	
II－3 リホープ	39
(障害者支援施設)	
II－4 日中活動	49
(障害者支援事業部)	
II－5 佐倉市よもぎの園	53
(就労継続支援B型)	
II－6 ワークショップかぶらぎ	60
(就労継続支援B型/自立訓練)	
II－7 ジョーの家	66
(共同生活援助)	
II－8 山王の家	71
(共同生活援助)	
II－9 事業部統合運営部門	76
(健康管理/食事/ボランティア)	
III. 高齢者福祉事業部	85

#### IV. 地域福祉事業部

IV-1	南部児童センター／学童保育所 . . . . .	101
IV-2	総合相談センター . . . . .	108
	(佐倉市南部地域包括支援センター/アシスト)	
IV-3	南部地域福祉センター . . . . .	116

# I . 法 人 本 部



## 1. 概況

**■地域と共に生きる**

「地域共生社会」は、今や社会福祉にとってトレンドといっても過言ではない。社会福祉法の改正によって、社会福祉法人には「地域における公益的な取り組み」が示され、地域貢献を行うことが義務化された。ただ愛光は、これまでも地域貢献を経営理念に掲げ、地域福祉に取り組んできた。ここ3年は、法人のスローガンを「共に生きる 共に支える～地域包括ケアの深化へ」として取り組み、“「ともいきプロジェクト」として始動している。中でも「地域食堂ともいき」は、月1回平日での開催ではあるが、100円食堂として地域に知られ広がりを見せている。本来の目的の孤食や独居老人等の食を満たす役割までには至っていないが、地域のつながりや語らいの場のきっかけづくりには多少なりとも役立っているものと思う。次年度からは、佐倉市山王地区での地域カフェを計画していたが、新型コロナウイルスの関係から余儀なく中断せざるをえなくなった。地域食堂等を通じた地域との関係づくりから、地域の人たちとの連携を深化させ、地域住民の地域住民のための地域福祉活動に発展できればと考えている。

**■想定外の災害発生**

9月千葉県付近に上陸した台風15号の影響で、千葉県内では最大64万件が停電した。また最大瞬間風速が観測史上第1位となる強風の影響で、建物被害や倒木等多数発生し、停電の長期化や断水、通信障害など、市民生活や経済活動等多方面に大きな被害が出る災害となった。また10月には台風19号による被害や、台風21号の接近に伴う記録的な豪雨に襲われた。幸い法人内事業所では直接的な大きな被害は発生しなかったが、職員の中には、停電や断水等によって不便な生活を強いられた。自然災害とはいえ、地域温暖化の影響と聞くと人災ではないかと考えられ、我々の日常生活を根本から見直す必要があるのではと思う。台風15号では、台風の進路等は報道されていたがまさかこれほどの被害が発生するとは思ってもよらなかった。10月の豪雨災害でも、あっという間の被害発生で想定外であった。法人のBCP（事業継続）計画は、これまで大地震のみを想定していたが、台風被害等は考えていなかった。これを機会に、あらゆる災害を想定した事業継続計画を練り直す必要がある。その際には、地域住民や町内会などの連携をも模索する必要性を感じる。

**■役割と責任を問われる課題発生**

法人内障害事業所で利用者サービスの根幹に関わる課題が年度末に判明した。利用者サービスにあたっては、利用契約のもと利用者（家族）の意向や特性を踏まえて、個別支援計画書を作成し、その計画に基づきサービスを提供する必要がある。その個別支援計画が、利用者や家族の同意のないままサービスを行っていた実態が明らかになった。実際の支援現場では、きめ細かく利用者本人のニーズを踏まえ、支援サービスを行っていたが、利用者や家族の意向や希望は計画書に表示されることはなかった。不十分なサービス提供だったと言わざるを得ない。この事実を家族に対し法人としての反省と謝罪を伝えることになった。また関係機関に報告謝罪し、対応の指示を仰いだ。

当法人は、これまで透明性を打ち出しコンプライアンスの徹底を図ってきたところで

あるが、今回の事実は誠に遺憾である。この事案は、故意によるものではなかったが、専門職種として業務に関わる本来の意味と役割、責任の認識が甘かったものと思われる。また中堅職員として業務に熱心に取り組み、期待されていた職員が問題の当事者になったことを重く受け止めなければならない。ガバナンスや人事面の問題はなかったか、稼働率優先で福祉理念等の推進に問題はなかったのか等、再度見直す必要性を感じる。

#### ■人材確保ギリギリセーフ

福祉現場の人材不足はますます深刻化している。介護労働安定センターが発表した平成30年度実施の「事業所における介護労働実態調査」によると、介護人材が不足している理由の第1位は「採用が困難」が89.1%。実に9割の事業所が必要な介護人材を採用できていないと回答している。また採用が困難な理由は、「同業他社との人材獲得競争が厳しい」56.2%「他産業に比べて労働条件等が良くない」54.9%「景気が良いため、介護業界へ人材が集まらない」46.1%となっている。

当法人では2020年度の新卒採用として、9名の職員を専門学校や福祉系大学等から確保することができた。9名の内6名が法人内施設での実習経験者で、総務部福祉相談室を中心とした実習生の受入を推進したこと、インターンシップ(就業体験)導入等が功を奏したと思われる。また、年度末の正職員の離職者はゼロで定着率は高い結果につながっている。ますます厳しくなる人材確保対策、離職者防止策が今後の重要課題でもある。

#### ■忘れてはならない「津久井やまゆり園事件」

2016年7月の「津久井やまゆり園事件」は、発生後4年が経過して裁判員裁判が実施され、3月被告に対して死刑が確定した。被告の犯行の動機が「障害者は生きる価値がない」とする障害者観は、共生社会が叫ばれる昨今ではあるが、社会に潜む差別意識、優生思想を問題提起させた。事件発生当時から、被害者は本名を名乗ることなく匿名であることに違和感を覚えた。偏見にさらされることを懸念する被害者側に配慮した対応だったのであろうが、匿名での対応は障害者に対する否定的な姿勢の表れとも受け止められた。何の落ち度もない障害者が差別を恐れて匿名にせざるを得ない社会状況を我々はどう受けとめればいいのか、課題を投げられた。裁判では、被告のこうした差別意識は、どこから生まれたのか等動機の解明はなく、精神疾患による刑事責任能力の判断が強調され、真相究明には至らなかった。被告が育った平成期の環境は、ちょうど生産性や効率を重んじる価値観が重要視され、生産性のないものは劣るという風潮があり、この時代のみ経験者はそういった影響が多分にあるものと思われる。障害を持つとか持たないかに関わらず、誰もがお互いを尊重し、その人らしい生き方ができるよう改めて「共生社会」の実現を目指す必要を感じた。裁判の結果が出たから終わりではなく、決してこの事件を忘れてはならない。

#### ■新型コロナウイルス感染症対応

中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、1月中旬日本で初めて感染者が判明、その後爆発的に各地に広まった。新種のため治療方法等解明されていない部分が多く、不安や心配が付き、施設内の集団感染(クラスター)の危険性も潜んでいる。法人では感染症対策委員会を中心に、その都度対応や情報を収集、法人内に情報を発信することで注意喚起と対応策の周知を心がけた。2月末からは、施設への入室禁止、行事やイベントの禁止、通所利用者の通所自粛等行った。利用者家族には多大の迷惑をかけているが、不測の事態を避けるためのやむを得ない事情としてご理解いただいた。一刻も早い収束を願うばかりである。

( 副理事長 池田勝也 )

## 1 2019（令和元）年度実績

### （1）財務（単位：百万円）

	31年度	前年	増減	本部	相談	障害	高齢	地域	無償貸与
サービス活動収益	1,902	1,903	-1	2	67	1236	411	191	0
経常増減差額	-60	30	-89	-130	-8	101	-29	18	-12
経常増減差額比率（％）	-3.1	1.6			-12.2	8.2	-7.0	9.4	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計及び比率が一致しない場合がある。

### （2）個別運営実績

経営改革	・ 第Ⅲ期中期経営計画の推進
新規事業	・ ともいきプロジェクトの推進（地域食堂ともいき、サロン・ドともいき、訪問型サービスAともいき継続） ・ はちす苑増床
事業運営	・ 佐倉市南部児童センター・7学童保育所指定管理者受託（2019～2023年度） ・ 内部統制構築推進（本部・各事業所 巡回指導監査実施）
地域貢献活動	<p>《まちづくりへの協力》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置・自治会清掃活動への参加）</li> <li>・ 地域福祉活動への参加（地区社協・まちづくり協議会）</li> </ul> <p>《小中学生に対する福祉教育》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の小中学校での福祉教育</li> </ul> <p>《その他の地域貢献・交流活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス再スタート</li> <li>・ 施設利用者の音楽活動</li> <li>・ 小学生書き初め展</li> <li>・ ボランティアの育成（顕彰・交流会・ボランティア保険援助・養成講座開催）</li> <li>・ 認知症サポーター養成講座</li> <li>・ 「愛光秋まつり」への小学生招待</li> <li>・ 地域防災～自治会活動（自主防災訓練・佐倉市民防災訓練）への参加・協働、「福祉避難所」</li> </ul>
設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部・各事業所パソコン更新</li> <li>・ リホープ・めいわエレベーター更新工事</li> <li>・ 本館外廊下防水工事 本館トイレ改修工事</li> <li>・ 厨房床改修工事</li> </ul>
後援会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ギャラリーあいこう【常設】</li> <li>・ バリアフリー映画会</li> <li>・ 地域お祭りへの支援</li> <li>・ 子ども食堂の支援</li> <li>・ あいとひかりのコンサート 2020 開催準備</li> <li>・ 小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会）</li> </ul>

(3) 中期経営計画進捗状況（第Ⅲ期中期経営計画：2017～2019年）

分類	重点実施項目	実施計画	見直し・実績	評価
顧客の視点	地域共生社会の実現	地域包括ケアシステムの構築	通所型サービス事業「サロッドともいき」実施	A
		地域ニーズ対応（地域福祉課題抽出）・子ども食堂支援	子ども食堂支援・地域食堂実施。住民との協働体制構築段階	B
		福祉事業ニーズ調査（児童～高齢）	未実施	C
	人権擁護と安心サービス	研修/実態調査と検証作業	研修・職員アンケート実施と検証	B
業務プロセスの視点	内部統制制度の構築	会計監査導入準備含む管理体制強化	巡回指導監査実施(本部・各事業所)	B
	人材確保・育成強化	離職防止と人材確保体制の強化	離職傾向の把握・SNS活用による情報発信	B
		専門職員育成/資格取得強化	専門分野研修・資格取得奨励	B
	リスクマネジメント機能強化	事故ゼロ運動と法人内事故共有	重大事故・苦情の共有、危険予知訓練実施	B
	広報活動の強化と情報公開推進	パンフレット改訂と広報戦略一体化	パンフレット完成(2017)、SNS活用による広報開始	A
事業継続計画(BCP)の維持	災害備蓄品の完備と自助意識の醸成	災害備蓄品完備、事業継続計画書改正、7:17の統一、自治会との協働	B	
地域貢献の視点	地域貢献活動の実行	地域貢献活動と職員への浸透	事業部毎の実践継続	B
	「愛の灯台基金」活動推進	地域公益活動の協働と職員協力強化	地域住民対象のイベント実施	B
	法人内ボランティア機能強化	3事業部連携体制強化 ボランティア講座	ボランティア養成講座実施 委員会による交流会実施	B
財務の視点	福祉充実計画の実施	はちす苑施設整備	デイサービス改築	B
		はちす苑裏土地事業計画	未実施	C
	財務ビジョン策定	経常増減額比率・人件費率等確立	継続	B
ファシリティ・マネジメント実行	修繕計画の立案と実行	計画策定継続	B	
学習と成長の視点	経営理念・経営計画の共有	経営計画理解実行	継続	B
	研修体系見直し	階層別研修の実施	中堅職員研修実施	B

(4) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
内部統制構築PT	巡回指導監査検証 外部監査導入準備	巡回指導監査実施(本部・各事業所) 検証継続
ともいきPT	地域共生事業の検討 地域包括ケアシステムの構築	通所型サービス(サロッドともいき)、地域食堂の継続
事業開発PT	はちす苑裏土地活用検討	法改正後のニーズ検証
ICT活用PT	業務効率化の推進	ICT活用計画検討

## 2 事業の現況 (2019年3月31日現在)

### (1) 佐倉事業所 (所在地/千葉県佐倉市山王2-37-9)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 60名 【認可】 2007 (平成19) 年11月1日	片野明美
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (短期入所) 【定員】 3名 【認可】 2006 (平成18) 年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 【認可】 2006 (平成18) 年10月1日	
めいわ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護 80名 (めいわ 56名・根郷通所 24名) 施設入所支援 56名 【認可】 2008 (平成20) 年8月1日	安部一義
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (短期入所) 【定員】 4名 (+空床利用) 【認可】 2006 (平成18) 年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 【認可】 2006 (平成18) 年10月1日	
リホープ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 50名 【認可】 2008 (平成20) 年4月1日	中川光男
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (短期入所) 【定員】 2名 (+空床利用) 【認可】 2006 (平成18) 年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 【認可】 2006 (平成18) 年10月1日	

### (2) 佐倉太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田1145-1)

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】 特別養護老人ホーム 【定員】 54名 【認可】 1999 (平成11) 年10月1日	麻生知明
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】 老人短期入所事業 【定員】 併設型 20名 (及び空床型) 【認可】 2000 (平成12) 年1月1日	
		【種別】 共生型短期入所事業 【定員】 6名 ※老人短期入所事業定員に含む 【認可】 2018 (平成30) 年9月1日	
デイサービス はちす苑		【種別】 老人デイサービス事業 【定員】 35名 【認可】 1999 (平成11) 年10月1日	

		【種別】 共生型生活介護事業 【定員】 35名 ※老人デイサービス事業定員に含む 【認可】 2018（平成30）年7月1日	
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】 老人居宅介護等事業 【認可】 2000（平成12）年4月1日	
ケアプラン はちす苑		【種別】 居宅介護支援事業 【認可】 2000（平成12）年4月1日	麻生知明

(3) 佐倉宮前事業所（所在地／千葉県佐倉市宮前2-13-1）

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型） 【定員】 40名 【認可】 2008（平成20）年4月1日	河田ひろみ

(4) 佐倉鍋木町事業所（所在地／千葉県佐倉市鍋木町352-2）

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型） 【定員】 14名 【認可】 2015（平成27）年6月1日	近藤美貴
		【種別】 障害福祉サービス事業（自立訓練〈生活訓練〉） 【定員】 6名 【認可】 2015（平成27）年6月1日	

(5) 佐倉城事業所（所在地／千葉県佐倉市城399-3）

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 （介護サービス包括型指定共同生活援助） 【定員】 4名 【認可】 2009（平成21）年4月1日	近藤美貴

(6) 佐倉大篠塚事業所（所在地／千葉県佐倉市大篠塚1587 南部保健福祉センター内）

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市立南部 児童センター	第二種 事業	【種別】 児童厚生施設（児童センター） 【受託】 2014（平成26）年4月1日	吉田信之
佐倉市立 根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種 事業	【種別】 放課後児童健全育成事業 （学童保育所） 【受託】 2014（平成26）年4月1日	

	佐倉市南部 地域福祉センター	公 益 事 業	【種別】地域福祉センター 【受託】2016（平成28）年4月1日	横川民夫
総合 相談 センター	佐倉市南部 地域包括支援センター	公 益 事 業	【種別】地域包括支援センター（業務委託） 【認可】2009（平成21）年4月1日	高梨子 淳一
	佐倉市障害者 生活支援センター アシスト	第二種 事 業	【種別】障害者相談支援事業（一般・特 定相談） （業務委託） 【受託】2002（平成14）年4月1日	小平 和俊 ※総合相談センタ ー所長；森由美子

（7）佐倉山王・太田事業所（所在地／千葉県佐倉市太田1879-1）

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種 事業	【種別】障害福祉サービス事業 （介護サービス包括型指定共同生活援助） 【定員】10名 【認可】2017（平成29）年11月1日	安部一義

### 3 理事会・評議員会

（1）理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (289回)	6月8日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事9名 監事2名	1名	2018（平成30）年度事業報告・決算報告・監事監査 報告について 役員改選について 他
第2回 (290回)	6月23日 (日)	ウイットンホテル・ ユカリ	理事10名 監事2名	0名	理事長・各役員選定について 会長委嘱について 理事の担当区分について 他
第3回 (291回)	7月30日 (火)	はちす苑	理事8名 監事2名	2名	特別養護老人ホームはちす苑改修工事に係る契約に ついて
第4回 (292回)	9月28日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事10名 監事1名	1名	評議員候補者の推薦 評議員選任・解任委員会招集について 諸規定の改正について 他
第5回 (293回)	11月30日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事10名 監事2名	0名	2019（令和元）年度第1次補正予算について 2019（令和元）年度第2回（通算第63回）評議員会 招集について
第6回 (294回)	1月25日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事9名 監事2名	1名	2020（令和2）年度理事会議決事項契約について
第7回 (295回)	3月14日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事9名 監事2名	1名	2019（令和元）年度第2次補正予算案について 2020（令和2）年度事業計画案、予算案について、 管理職人事について 他

※（ ）内は通算回数

## (2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (62回)	6月23日 (日)	ウイングホテル・ ユカ	10名	3名	2018(平成30)年度事業報告・決算報告について 監事監査報告、役員改選について
第2回 (63回)	12月8日 (日)	愛光本館 第1会議室	12名	1名	2019(平成31)年度第1次補正予算について
第3回 (64回)	3月28日 (土) ※決議みなし日	書面決議	全評議員 13名同意		2019(令和元)年度第2次補正予算案について 2020(令和2)年度事業計画案、予算案について

※ ( ) 内は通算回数

## (3) 理事・監事・顧問

任期/2019年6月23日～2021年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
理事長	西原 弘明	総括施設長	法人職員
副理事長	河野 尋幸	元行政関係者	地域の福祉関係者
〃	池田 勝也	愛光 高齢者福祉事業部長	法人職員
業務執行理事	河田ひろみ	愛光 障害者支援事業部長	法人職員
〃	吉田 信之	愛光 地域福祉事業部長	法人職員
〃	片野 明美	愛光 ルミエール施設長	法人職員
〃	池田 浩一	愛光 事務局長	法人職員
理事	酒井綱一郎	会社取締役	地域の福祉関係者
〃	吉野 智	弁護士事務所 所長	法律家
〃	松山 毅	大学 先任准教授	社会福祉事業の学識経験者
監事	滑川 里美	社会福祉士事務所 所長	社会福祉有識者
	井上 郷	税理士事務所 所長	財務有識者
会長	法澤 奉典	愛光 元理事長	
顧問	荒木 直躬	社会福祉法人 理事長	
	岡田 正平	愛光後援会 元会長	
	島本 賢一	元愛光家族協議会 会長	
	長谷川匡俊	学校法人 理事長	
	望月 清義	前市議会議員	
	田邊 正雄	元社会福祉協議会 理事	

## (4) 評議員

任期/2017年4月1日～2021年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
評議員	足立 元秀	地区社会福祉協議会 会長	地域の福祉関係者
〃	伊佐 勉	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者
〃	石毛 滋之	愛光家族協議会 会長	利用者の家族の代表
〃	大賀 四郎	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者
〃	小川 雅夫	県教育相談員	社会福祉事業の学識経験者
〃	長田 研自	会社役員	地域の後援者
〃	葛西 広子	元市教育委員会教育長	社会福祉事業の学識経験者
〃	黒田 聡	福祉関係団体	地域の福祉関係者
〃	古山 日出男	(福)千葉県視覚障害者福祉協会会長	地域の福祉関係者
〃	近藤 武雄	元自治会長	地域の福祉関係者
〃	中澤 昌子	元県立特別支援学校PTA連合会会長	地域の福祉関係者
〃	布施 千草	短期大学福祉学科学科長	社会福祉事業の学識経験者
〃	山崎 昭造	福祉関係団体 役員	地域の福祉関係者

## (5) 評議員選任・解任委員

任期/2017. 3. 2～2021. 6

職名	氏名	任期	備考
監事	滑川 里美	2017. 3. 2～2021. 6	社会福祉士事務所 所長
監事	井上 郷	2017. 6. 24～2021. 6	税理士事務所 所長
外部委員	稲村 多恵子	2017. 3. 2～2021. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外部委員	小林 眞智子	2017. 3. 2～2021. 6	地区民生委員児童委員協議会長
事務局	宮本 典昭	2017. 3. 2～2021. 6	愛光職員

## 4 職員の状況

## (1) 採用・退職・異動 (2019年4月1日～2020年3月31日)

事業所名	2019. 4. 1 現員数	2019. 4. 1～2020. 3. 31				2020. 3. 31 現員数	
		採用	異動 入	異動 出	退職		
本部	16 (4)		2	1	1 (1)	15 (3)	
地域福祉 事業部	アシスト	6 (1)		1		1	5 (1)
	南部地域包括支援センター	8	4		1	1	9
	南部地域福祉センター	10 (8)	2 (2)			3 (3)	11 (9)
	南部児童センター 学童保育所	49 (35)	23 (21)	3 (1)	3 (3)	24 (21)	53 (39)
障害者支援事業部	ルミエール	42 (8)	4 (2)	1	5	3 (3)	42 (8)
	めいわ	37 (5)	5	2	2	1	38 (5)
	根郷通所センター	19 (10)	2 (1)	3	2		20 (11)
	リホープ	29 (5)	8 (3)	1	3 (1)	2 (1)	32 (7)
	よもぎの園	10 (5)	2 (2)	1	3	1 (1)	11 (6)

	ワークショップかぶらぎ	7 (1)	1 (1)	1			7 (1)
	ジョー家	3 (3)				1 (1)	3 (3)
	山王の家	4 (4)	2 (2)				5 (5)
	福祉相談室	2 (1)	1 (1)	1		1 (1)	2 (1)
	栄養管理室	3 (1)		1	1	1 (1)	3 (0)
	健康管理センター	6 (4)				1 (1)	6 (4)
	高齢者福祉事業部 (はちす苑)	95 (49)	8 (5)	6 (2)	7 (3)	10 (9)	89 (45)
	<b>総 数</b>	<b>346 (144)</b>	<b>62 (40)</b>	<b>23 (3)</b>	<b>28 (8)</b>	<b>50 (42)</b>	<b>351 (148)</b>

★育休・休職は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動退職者は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示

## (2) 採用形態別 (2019年4月1日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポ-ト職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	346	111	235	164	85	79	38	7	31	144	19	125
本部	16	7	9	7	4	3	5		5	4	3	1
アシスト	6	3	3	4	3	1	1		1	1		1
地域包括支援センター	8	1	7	6	1	5	2		2			
南部地域福祉センター	10	7	3	1	1		1		1	8	6	2
児童センター・学童	49	4	45	7		7	7	2	5	35	2	33
ルミエール	42	22	20	33	21	12	1		1	8	1	7
めいわ	37	18	19	30	18	12	2		2	5		5
根郷通所センター	19	6	13	8	5	3	1	1		10		10
山王の家	4		4							4		4
リホ-プ	29	12	17	22	10	12	2	2		5		5
よもぎの園	10	2	8	4	2	2	1		1	5		5
ワークショップかぶらぎ	7	4	3	5	4	1	1		1	1		1
ジョ-の家	3		3							3		3
福祉相談室	2	1	1	1	1					1		1
栄養管理・健康管理	9		9	4		4				5		5
高齢者福祉事業部	95	24	71	32	15	17	14	2	12	49	7	42

★常勤嘱託はサポ-ト職員に含む

## (3) 役割等級別 (2019年4月1日現在)

事業所名	総数	正職員					パート職員	パート職員	
		2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	1等級	1等級	2等級
	271	118	35	5	6		29	72	6
本部	12	2	2	1	2		3	2	
アシスト	6		4				1	1	
地域包括支援センター	8	3	3				2		
南部地域福祉センター	1				1				
児童センター・学童	12	5	2				5		
ルミエール	41	28	3	1	1		1	6	1
めいわ	39	26	2	1	1		4	5	
根郷通所センター	18	4	4				1	9	
山王の家	4							4	
リホープ	28	17	4		1		1	5	
よもぎの園	10	3	1				1	5	
ワークショップかぶらぎ	7	3	1	1			1	1	
ジョーの家	3							3	
福祉相談室	2	1						1	
栄養管理・健康管理	9	3	1					3	2
高齢者福祉事業部	71	23	8	1			9	27	3

★常勤嘱託、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所パート、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

## (4) 年齢構成 (2019年4月1日現在)

総数	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
	346	1	65	50	75	76	79
本部	16		1	1	5	5	4
アシスト	6				2	2	
地域包括支援センター	8				2	3	
福祉相談室	2			1	1		
南部地域福祉センター	10					1	9
児童センター・学童	49	1	6	1	5	16	20
ルミエール	42		12	12	10	4	4
めいわ	37		14	10	5	7	1
根郷通所センター	19		4	1	4	5	5
山王の家	4					2	2
リホープ	29		11	5	4	6	3
よもぎの園	10		1	4	3	2	
ワークショップかぶらぎ	7		1	1	5		
ジョーの家	3					1	2
栄養管理・健康管理	9			1	4	3	1
高齢者福祉事業部	95		15	9	24	19	28

## (5) 免許・資格 (2019年4月1日現在 常勤職員)

総 数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	297	30	14	25	102	98	3	13	7	5
本部	13	1	1	1	4	5		1		
アシスト	11	3	2	3		3				
地域包括支援センター	21	5	3	5	4	2	1	1		
福祉相談室	1					1				
南部地域福祉センター	2					2				
児童センター・学童	20	1		1	2	4		3	5	4
ルミエール	51	3		4	21	18		4	1	
めいわ	46	6	2	1	16	16	1	3	1	
根郷通所センター	12				5	5		1		1
山王の家										
リホープ	36	5	4	2	7	17	1			
よもぎの園	9	1			4	4				
ワークショップかぶらぎ	9	3			2	4				
ジョーの家										
栄養管理・健康管理										
高齢者福祉事業部	66	2	2	8	37	17				

## 5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規 程	区分	整 備 内 容
2019. 6. 8	2019. 6. 8	給与規則 パート給与規則	改正	ホームヘルパー1級の資格手当の削除 パート資格加算に実務者研修を追記
2019. 9. 28	2019. 9. 28	給与規則 サポート職員給与規程	改正	処遇改善一時金についての文言の追加 処遇改善一時金についての文言の追加
2020. 3. 14	2020. 3. 14	パート職員給与規程	改正	パート1等級の時間給単価の変更
2020. 4. 1	2020. 4. 1	就業規則	改正	WS かぶらぎ休憩時間および総合相談センタ ーの勤務時間変更

## 6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

### （１）事故の状況

	総数	本部	ルミエール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MS かなざわ	ジューの家	山王の家	相談	児童センター	学童	地域福祉センター
(総数)	62	0	9	9	3	14	2	1	1	0	5	3	14	1
死亡に至った事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折等重症に至った事例	12	0	3	1	0	5	1	0	1	0	0	0	1	0
感染症発生事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
裂傷・打撲等通院治療事例	26	0	3	3	1	4	0	0	0	0	0	2	13	0
無断外出	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故（物損）	14	0	1	2	2	2	1	1	0	0	4	0	0	1
誤投薬	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	5	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0

### （２）苦情

	総数	本部	ルミエール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MS かなざわ	ジューの家	山王の家	相談	児童センター	学童	地域福祉センター
(総数)	4	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
食事等サービス内容に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員の対応、行動に関すること	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
介護、支援方針に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備、職員配置に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の利用者に関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 第三者委員の活動状況

施 設	担当委員	日 付	活動内容
リホープ	四方田委員	8月11日	利用者との懇談方式
		2月16日	利用者との個別面談
めいわ	高石委員	7月2日	利用者との懇談方式
		2月16日	家族との懇談方式
根郷通所センター	加藤委員	2月4日	利用者との懇談方式
ルミエール	四方田委員	8月25日	家族との懇談方式
		2月16日	
よもぎの園	加藤委員	12月20日	家族と懇談方式・利用者との個別面談
ワークショップかぶらぎ	四方田委員	1月25日	家族と懇談方式
南部地域福祉センター	高石委員	1月30日	地域利用団体との懇談方式
はちす苑	高石委員	12月15日	家族との懇談方式

7 事業経過（本部関係／2019. 4. 1～2020. 3. 31）

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行理事会	施設長会議	サービス 責任者会議
4月	辞令交付式、新任職員研修、メンターマッチング研修、Aikoh フォーラム ともいき亭・桂文雀独演会	5日・17日・24日	17日・23日	10日
5月	監事監査、採用後1年面接、法人リスクマネジメント研修	14日・22日・29日	22日・29日	8日
6月	法澤理事長記念公演、法澤理事長をねぎらう会、試用期間終了面接、夜間想定防災訓練、理事会、評議員会、感染症対策研修	3日・19日	10日・26日	12日
7月	辞令交付式、権利擁護・虐待防止研修	3日・17日	24日	10日
8月	介護マイスター養成研修、リスクマネジメント管理者研修	7日・21日	28日	14日
9月	愛光後援会「バリアフリー映写会」、ボランティア交流会、総合防災訓練、チャリティーキャラバン「赤ずきん」、法人評価者研修、理事会	3日・18日	27日	11日
10月	愛光秋まつり、盲重複障害者施設協議会全国大会、大規模災害研修	2日・17日	30日	9日
11月	管理者評価面接、千葉県社会福祉大会、法人事業所移転25周年・はちす苑開設20周年記念式典、千葉県監査、リスクマネジメント研修、介護マイスター研修、感染症対策研修、理事会	6日・20日	6日・13日・27日	13日
12月	後援会主催ほっとタイムコンサート、はちす苑増築工事完了引き渡し、日韓交流職員研修、評議員会、中堅職員研修、光道園視察研修	4日・26日	25日	11日
1月	法人新年会、書初め展・佐倉市長来訪、理事会、リスクマネジメント研修	10日・23日	16日・22日	8日
2月	内部職員採用試験、職員実践発表会、愛の灯台基金 バリアフリー上映会、Aikoh フォーラム 総合相談センター研修、労務管理者研修	6日・19日・25日	19日・26日	12日
3月	予算ヒアリング、理事会	2日・26日	9日	11日



## Ⅱ. 障害者支援事業部



障害者支援施設  
ルミエール

## 概況

前年度に引続き「笑顔で、やさしく、ていねいな支援を実践し、ともに支え合う」をスローガンとし、利用者への対応の見直し、丁寧な支援の構築を目標に掲げた。コンプライアンス委員中心に支援向上のための目標設定・アンケート調査を実施し、月毎の会議で振り返りを行った。法人の権利擁護アンケートにも反映されているが、総体的に意識の向上がうかがえる。今後は、明確な意思決定・表示が難しい最重度の利用者に対し、ともすれば職員都合が優先されてしまうことのないよう利用者に寄り添う支援、さらなる意識向上に努めていきたい。また、7月・3月に季節性の風邪が流行し、罹患者の隔離やホーム間の交流制限、感染症対策等を行った。平均年齢48歳ではあるが、実年齢より抵抗力の弱い方が多く、感染症を持ち込まないことの重要性を再認識した。

## ○数値目標

- ・施設入所（稼働率）：目標 98% ⇒ 実績 96.9%・生活介護（稼働率）：目標 97% ⇒ 実績 95.1%
- 短期入所（稼働率）：目標 60% ⇒ 実績 76.3%

※当年度、入院者数増（193名）に加え、4名の退所（死去3名、医療機関への転院1名）に対し入所2名に留まり目標値を下回った。短期入所については、目標を達成することができた。

## ○サービス目標

- ・日中活動の充実；日常場面においては隙間時間を活用し散歩や日光浴、近隣へのドライブ等実施。充実していたとは言い難いが、2月より活動及び入浴支援専門の職員（非常勤）を雇用したことにより散歩の機会は増えている。クラブ活動やグループ外出では、季節感や利用者特性に配慮した内容を企画。また、ホーム毎の取り組みとして「食」にスポットをあてた活動を月毎に企画。時に、味覚・嗅覚・聴覚…と五感をフル活用し食を楽しみ、味わっていただく場面を多く提供した。
- ・誤投薬事故の発生ゼロ；投薬時間の誤りや飲みこぼし等服薬支援に関する課題は残るが、その都度対応を検討し改善をはかった。12月より導入した服薬支援システムについては、医務との連携、他事業所（めいわ・リホープ）担当者との情報交換・検証等も図られ順調に活用された。

## ○地域連携目標

- ・短期入所；福祉相談室との連携により、新規利用が増え、リピーターも概ね安定。居室調整等行いながら、今後もできる限り地域のニーズに応えていきたい。
- ・ボランティア；衣類整理等間接的な場面での定期的な来所のほか、恒例行事となっている「コーヒーショップ・リコーダー演奏会・ミニコンサートの開催」等、多くの方にご協力いただいた。
- ・年度後半より法人プロジェクト〔ともいき食堂〕作業部会に職員1名が出席。

## ○業務遂行目標

- ・誤投薬事故はなかったが、夜間の無届外出1件、転倒等による裂傷2件・骨折1件が発生。いずれもご利用者が単独で行動している中での発生だったが、事故後の検証を通して危険予知力の強化はもとより、ご利用者の行動を制限することなく環境整備に着目した対応を強化した。
- ・生活環境の整備；定期的な美化環境（清掃）実施のほか、尿臭や経年劣化が課題だった居室床の張替え、女性ホームの壁の塗替え、職員・来客用トイレの改修等計画的に実施。
- ・有休取得率向上；前年度と比し平均休暇取得数は増えたが、体調不良者の業務軽減等もあり、目標とした有休5日以上取得は達成できなかった。

## ○人材育成目標

- ・人材育成および高齢化・介護重度化に対応できる支援力の向上につながるよう介護マイスター研修を施設独自に企画（年3回）。個々の障害特性に応じた介護技術・支援方法、基本的な考え方等レクチャーを受けた。実践的な内容であり、利用者支援に反映することができた。次年度も引続き受講し、参加者以外の職員への伝達、周知が図られるよう体制を整え進めたい。

## ○第Ⅲ期中期経営計画達成状況（2017～2019年度）

- ・「稼働率」 入所：目標 98% ⇒ 実績 97.3%・短期入所：目標 60% ⇒ 実績：66.8%
- ・「地域交流」 自治会防災活動への協力、ともいき食堂への職員参加（施設長 片野明美）

1 施設利用状況 (2019. 4. 1～2020. 3. 31)

1-1 利用状況

【定員 60 名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	21960	21635	21279	58.1	96.9%	721	325	193	203	2	4

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	2			2				
退所者数と退所事由	4					1	3	

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員 3 名】

	利用者			
	延定員数	延総数	1日平均	稼働率
年間	1098	838	2.3	76.3%

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉県】	男	女	【東京都】	男	女
佐倉市	1	3	中央区	0	2	足立区	2	0
船橋市	2	0	美浜区	1	0	板橋区	3	0
印西市	1	0	若葉区	0	1	江戸川区	3	1
大網白里市	0	1	稲毛区	1	0	大田区	2	0
君津市	3	0	花見川区	0	2	葛飾区	2	0
松戸市	1	2	計	2	5	港区	1	0
富里市	1	0	合計	7		江東区	2	0
成田市	0	3	【埼玉県】			渋谷区	0	1
館山市	1	0				品川区	1	0
市川市	1	0	春日部市	1	1	世田谷区	1	1
八千代市	0	1	草加市	1	0	千代田区	1	0
銚子市	1	0	計	2	1	練馬区	1	0
南房総市	1	0	合計	3		目黒区	1	0
九十九里町	1	0	【神奈川県】			昭島市	1	0
鎌ヶ谷市	1	0				町田市	1	0
計	15	10	横浜市	0	1	計	22	3
合計	25		相模原市	1	0	合計	25	
			計	1	1			
			合計	2				

※佐倉市住所所持者 30名

## 2 利用者の状況（2019年度中在所した全利用者）

### 2-1 年齢構成（年齢は2019.4.1現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	62	0	9	4	24	19	6	45.7	90	21
%		0%	14.5	6.5	38.7	30.6	9.7			
男	43	0	5	3	19	12	4	45.8	75	21
女	19	0	4	1	5	7	2	45.2	90	22

### 2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	62	0	0	0	1	1	60	5
%	100	0	0	0	1.6	1.6	96.8	8.1
男	43	0	0	0	0	0	43	4
女	19	0	0	0	1	1	17	1

### 2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	62	53	1	0	0	0	0	8
%	100	85.5	1.6	0	0	0	0	12.9
男	43	41	1	0	0	0	0	1
女	19	12	0	0	0	0	0	7

### 2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	62	23	21	1	0	17
%	100	37.1	33.9	1.6	0	27.4
男	43	16	17	0	0	10
女	19	7	4	1	0	7

## 3 利用者の障害の状況

### 3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	62	49	5	54	8
%	100	79.0	8.1	87.1	12.9
男	43	36	4	40	3
女	19	13	1	14	5

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	62	51	10	0	0	61	1
%	100	82.3	16.1	0	0	98.4	1.6
男	43	40	3	0	0	43	0
女	19	11	7	0	0	18	1

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	62	54	23	5	37	1	61	1	55
%	100	87.1	37.1	8.7	59.7	1.6	98.4	1.6	88.7
男	43	40	16	3	26	1	43	0	41
女	19	14	7	2	11	0	18	1	14

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

### 3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	30	18	54	24	58	33	58
%	48.4	29.0	87.1	38.7	93.6	53.2	93.6
常時多面で介助	16	21	8	30	3	18	0
%	25.8	33.9	12.9	48.4	4.8	29.0	0
時々部分的に介助	14	20	0	7	0	7	3
%	22.6	32.3	0	11.3	0	11.3	4.8
点検・配慮程度	2	3	0	1	1	4	1
%	3.2	4.8	0	1.6	1.6	6.5	1.6
自立	0	0	0	0	0	0	0
%	0	0	0	0	0	0	0

### 3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字
不可	37	8	61	62
%	59.7	12.9	98.4	100
一部で可能	23	50	1	0
%	37.1	80.6	1.6	0
だいたい可能	2	4	0	0
%	3.2	6.5	0	0
支障なし	0	0	0	0
%	0	0	0	0

#### 4 援助サービス

##### 4-1 援助サービスの実施状況

項目	援助サービスの実施状況
【住居】	<p>援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心としたサービスを行っている。</p> <p>居住スペースにおいては、情緒の安定・プライバシーに配慮している。</p> <p>衛生保持・感染症予防のためプラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として次亜塩素酸水消毒液（ミニクローラ）を使用し居室や食堂、トイレの殺菌・消毒を行っている。また年間を通し食前に手指消毒を行っている。3月には新型コロナウイルス等感染症対策として次亜塩素酸水生成器（ミニクローラ）をリースし導入。手指をはじめとし、管内消毒に活用。</p> <p>環境整備として、経年劣化・防臭対策が急務な居室の床の張替え、テレサホームの壁の塗替えをおこなった。また、長年後回しとなっていた、職員・来客用のトイレの壁紙等改修した。防火管理対策として、排気窓のワイヤー交換を実施したが、一部部品の不具合も確認され、次年度あらためて設備改修が必要。</p> <p>毎月、環境美化デイを設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善のための修繕等行い、環境美化向上に努めた。</p>
【食事】	<p>ブロック単位での食事の提供を行っている。食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、食事支援を行った。</p> <p>また、体調不良等身体状況の変化、栄養管理や摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。本年度も全利用者に対し栄養ケア計画を実施し定期的にモニタリングすることにより利用者の個別の栄養管理を実施した。</p>
【排泄】	<p>全介助の方が多く、支援においては排泄傾向の把握と本人に対応した定時排泄に努めている。特に排便に関しては、便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善目的で補助食品を提供している。健康管理面で、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）の把握が必要な方数名については、身体状況に変化がないか計量を行った。</p>
【入浴】	<p>サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施。その他、活動状況、皮膚疾患等個々の方の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護に伴い、特殊浴槽（座位型入浴装置、ミスト浴）と普通浴槽（大・小浴）を活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し入浴サービスを提供した。</p>
【ホーム活動】	<p>ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当職員が実施している。</p> <p>全体的な傾向として、高齢化・重度化に伴い集団での活動よりも、個々の嗜好・ペースにあわせた個別活動に重点をおいた活動が主体となっている。</p> <p>各ホーム活動においては、誕生会等ミニイベントを実施するほか、朝の会、造形、外出等行った。</p> <p>《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等。利用者への情報提供を行う。また、当番職員とご利用者により、誕生会や献立、一日の流れ等、毎日放送を行った。</p> <p>《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し音楽鑑賞等を通じ、音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。</p> <p>《造形》 季節の行事で掲示・使用する作品等を中心に、活動した。書初め等季節にそった工夫も見られた。</p> <p>《食事会》 デリバリー等注文し、個々の嗜好に合わせたメニューを提供。季節感や流行も取り入れ、時に、焼き肉やラーメンを間近で調理し、味覚・嗅覚・聴覚…と五感をフル活用して食を楽しむ機会を提供した。</p>
【余暇活動】	<p>《クラブ活動》 年3回実施し、流しそうめんやスイカ割、チョコフォンデュ等々、</p>

	<p>季節感を取り入れ、また味覚・嗅覚・聴覚等五感を刺激する内容を企画し活動を行った。10月には、クラブ活動で洋食のケータリングを楽しんだ。</p> <p>《個別外出》利用者と職員が一対一対応で、車を使って外出や散歩に出かけた。外食や買い物は、利用者の大きな楽しみとなっている。</p> <p>《歩行・散歩》歩行能力と体力維持をはかり、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行、近隣公園への散歩を行った。十分な時間とはいえませんが、高齢化による利用者の体力・筋力低下が見られる中、天候のよい時など日光浴も行った。2月より活動・女性入浴支援対応の職員(非常勤)を雇用し、散歩や活動の充実にあたっている。</p>
【とつぜん音楽会】	<p>3ホーム合同で開催した。流れる音楽から季節や年代を感じ、アクティブに、かつ心穏やかになるよう活動を提供した。</p>
【ボランティア交流】	<p>地域のボランティアの協力によりイベントを企画していただいた。音楽会をはじめ、7月に行ったコーヒーショップでは、ご家族を交えゆっくりとした時間を過ごすことができた。</p>
【ニーズ別旅行】	<p>当年度も、遠くに出掛けるのが困難な利用者向けに近隣でバーベキューを楽しむコース、アクティブな活動をするコース、バイキングで食事を楽しむコース、ゆったりとした食事をするコースの四コース編成で実施した。半日程度の外出であるが、ゆったり交流することができた。ご家族、ご利用者、職員がそろっての貴重な親睦の機会である。</p>

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

	2019.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	42 (8)	4(2)	1 ( )	5 ( )	3 (3)	42(8)
施設長	1		1	1		1
支援課長	1			1		1
主任	3					3
生活支援員	34(5)	3(1)		3	1(1)	34(5)
クリーンスタッフ	3(3)	1(1)			2(2)	3(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・退職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は( )内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
4/1~4/3	新任職員研修	2	5/25	メンター研修	4
6/20	介護マイスター研修	5	7/30	コンプライアンス研修	7
6/21	コンプライアンス研修	5	8/16	介護マイスター研修	1
8/30	リスクマネジメント研修	3	9/19	介護マイスター研修	4
9/20	評価者研修	4	10/1	大規模災害研修	4
11/1	リスクマネジメント研修	8	11/12	コンプライアンス内部研修	9
11/13	介護マイスター研修	3	11/27	感染症対策研修	4
1/12	コンプライアンス内部研修	9	1/15	介護マイスター研修	9
1/21	合理的配慮研修	3	1/28	リスクマネジメント研修	6
2/14	労務管理者研修	5			
施設外					
4/24	県身協施設見学会	3	5/15	千葉県認定調査員研修	1
6/12~13	関身協職員研修	5	6/14	理事長講演会	10
6/26	感染症予防研修	3	7/4~5	盲重研職員研修	2
8/1~2	てんかん基礎講座	2	10/3~4	関身協職員研修	1
10/9~10	盲重複研全国大会	3	11/6	ゆうゆうの里実践発表会	1
11/7	佐倉施設協職員研修	2	11/8	総合相談；発達障害研修	2
11/20	県身協職員研修	1	12/3	ハラスメント研修	1
12/3~7	ラファエルの家職員交流研修	2	12/12	中堅職員研修	3
1/13	介護職のための研修	2	1/19	介護職のための研修	2
複数研修					
研修内容		月 日		参加人数	
強度行動障害支援者基礎研修		6/28・7/3・9/3・10/4		6	

5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/10~6/25	東京福祉専門学校	保育士	2
7/23~8/21	日本福祉教育専門学校	社会福祉士	1
8/1~8/22	東京福祉専門学校	保育士	1
8/5~8/21	千葉敬愛短期大学	保育士	2
8/26~8/31	大原医療福祉専門学校	介護福祉士	2
10/1~11/30	武蔵野大学通信課程	社会福祉士	1
1/29~2/19	江戸川大学総合福祉専門学校	社会福祉士	1
2/6~2/25	千葉敬愛短期大学	保育士	1
2/10~2/28 (中断)	大原学園	介護福祉士	2

6 行事实施状況

月	行事内容
4月	グループ外出(5・12)・歓迎会(19)
5月	グループ外出(10・17)・ニーズ別旅行(16・31)・とつぜん音楽会(12)
6月	ニーズ別旅行(21・28)・光和会のだ自慢大会(9)・ヤマハコンサート(29)
7月	グループ外出(4)・クラブ活動;流しソーメン・スイカ割(13)・コーヒーショップ(21)
8月	グループ外出(8)・とつぜん音楽会(11)
9月	グループ外出(25)・コーラスこだま(28)
10月	グループ外出(11)・愛光秋まつり(5)・リコーダー演奏会(8)
	クラブ活動;洋食ケータリング(18)つくしんぼシンガーズ(19)・ニーズ別旅行(23)
11月	RUNとも(2)・グループ外出(8・22)・とつぜん音楽会(10)・運動会(17)
12月	グループ外出(13)・クリスマス会(22)
1月	獅子舞(1)・グループ外出(7・10)・新年会(17)
2月	とつぜん音楽会(4)・グループ外出(7)・クラブ活動;チョコフォンデュ(11)
3月	グループ外出;食事会(13・27)・送別会(24)

## 障害者支援施設

## めいわ

## 概況 【入所部】

当年度のスローガンは、「地域から信頼される利用者サービスを！」であった。主な出来事は

- ・台風被害を受けた南房総に11月利用者6名が、1泊旅行に出かけた。台風15号の被害から復旧されていないところもあるが、出かける利用者に全体説明をする際、復興支援にもなることを伝えた。
- ・7月に利用者が亡くなった。57歳であった。昭和42年、5歳で愛光学園に入所して52年間施設で生活を送った方であった。仲間の利用者には、亡くなったこととお別れ会の日程の説明を行なった。利用者からは、「もうオフコースは聴けないね」「愛光学園では同じ部屋だった」「歌が上手だった」「お坊さんをよぶのはどうでしょう」など、52年分の本人との思い出や気遣いなどが聞かれた。
- ・12月 56歳の女性が入所した。ご両親が高齢で女性の生活を支えられなくなったケースである。
- ・相模原障害者施設殺傷事件から3年を迎えた。我々職員は、「障害者の存在が社会的にマイナスではない」ということを具体的に発信できるようにならなければならないということを確認した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための制限が続いているなか、利用者の自治会「あおばの会」で説明した。どんな症状なのか、集団生活の中で感染予防のためには何をしたらよいか等々。

## ○数値目標（稼働率）

- ・施設入所支援：目標 97% ⇒ 実績 97.7%
- ・生活介護：目標 99% ⇒ 実績 108.3%
- ・短期入所：目標 80% ⇒ 実績 88.7%

## ○サービス目標

- ・高齢化対応の一環として、当年の1泊旅行は「里帰りツアー」を企画した。家族は郷土料理を作って待っているなど、会いに来ることを待ち望んでいる様子が覗えた。利用者からは、「親は糖尿病だから、お土産には甘いものは持っていけない」など、本人たちの想いが聞かれた。職員からは親や親せきに会い昔話を聞くと、どれだけ愛されて育てられたか理解できるとの報告があった。
- ・9月 ひと間違いのご投薬事故を無くすために「服やっくん」を導入し、その後服薬に関係した事故は起こっていない。

## ○地域連携目標

- ・母親が病気で亡くなり、生活の場が確保できなくなった方の緊急ショートを受け入れた。

## ○業務遂行目標

- ・12月 韓国のラファエルの家研修に職員2名が参加した。「家」「家族」の考え方のもとで支援を行っているが、会話は非常に丁寧な言葉であった。言葉は雰囲気柔らかくすると学んだ。

## ○人材育成目標

- ・支援の質を上げるための内部講義と研修を取り入れた職員会議を行った。
  - ①自閉症スペクトラムと盲重複障害者の障害特性について
  - ②栄養士による「栄養状態について知る」
  - ③盲重複障がい者の子供時代について「生活習慣をどのようにして覚えていったか」などを学んだ。利用者の昔を知ることは、より良いサービスにつながることであると考える。

## ○その他

- ・第三者委員高石直美委員による利用者との懇談会（7月）、家族との勉強会（成年後見制度について）（2月）。家族と職員の懇談会（9月）

## ○第Ⅲ期中期経営計画達成状況（2017～2019年度） 稼働率は、入所、生活介護、ショートステイとも目標を上回った。山王自治会の清掃に2回利用者と参加した。（施設長 安部一義）

## 2019（令和元）年度 事業報告書 根郷通所センター

### 概況

当年度のスローガンは、「福祉の拠点となるパイプをつなげよう」であった。利用者の在宅生活と密接に関わる事業所としては、通所施設との行き来だけで完結するのではなく、先陣を切って支援体制の構築を図ることが求められる。在宅生活の中で問題が浮き彫りになったケースについては、関係機関との連携のもと改善につなげる道筋を作った。

当年度のスローガンを遂行していくなかで、個別支援計画書の未作成などが発覚した。利用者の権利擁護や意思決定支援にも通じる重要な事案であるため、「職員教育の再徹底」などが次年度への大きな課題となった。

#### ○数値目標(稼働率)

生活介護:目標 124% ⇒ 実績 123.7%

年度末時点の根郷通所センターは定員24名に対し利用登録者数が46名となっている。数値の通り、受入れ可能人数が上限に達しているため、新規の利用希望者の入所をお断りさせていただいている。今後の受入れについて法人との協議の末、“盲重複障害者の優先的な受入れ”と“緊急性の高いケース”を中心に受け入れることとなった。

現在の根郷通所センターは、最重度の障害を持たれている方や就労支援を希望する方など様々なニーズが混在している状況にある。生活介護事業所を適切に利用していただくためにも、今後、再調整を行う必要があると考えている。

#### ○サービス目標

個別面談を実施したことにより、ご本人と家族のニーズが明確となり、職員とご家族との相互関係が生まれ、良好な関係のもと支援計画を作成することができた。また、現場レベルにおいても、担当利用者の支援についての対話が積極的に図られるようになり、チームワークの向上につなげることができた。

#### ○地域連携目標

福祉相談室より、教育実習生を7名/日の受入れ依頼があった。職員の負担は然ることながら、実習生に行き届いた指導ができるかどうか懸念されたが、幸いにも実習生からは有意義に学ぶことができたとの評価をいただくことができた。また、特別支援学校の実習生の受入れを実施。保護者より雰囲気が良いと好印象の声を頂戴している。

ボランティアの受入れについては、例年通り、茶道やフラワーアレンジメントを催していただいているが、新型コロナウイルス感染予防のため2月以降は中止としている。

#### ○業務遂行目標

職員室の整理整頓をはじめとし、業務環境の改善を重点的に行った。根郷通所センターの雰囲気にマッチさせるべく木目調の雰囲気で統一し温かみのある雰囲気で統一し好評であった。

ご家族の協力のもと、フェイスシートを作成し個別支援計画の作成および使用者支援の向上につなげた。今後、情報が古いものにならぬよう、こまめな内容の更新を図っていくこととする。

年次有給休暇の取得状況は8.6日であった。今後も引き続き有給を取りやすい雰囲気づくりを行っていくこととする。

#### (5)人材育成目標

経験年数が少ない職員が多く、外部研修への参加率も低いいため、当事業所の支援の在り方しか知らない職員が多いのが現状である。次年度は、他法人の施設見学等、対外的な動きを知る機会を増やすため、積極的な研修への参加を促すこととする。

#### ○中期経営計画進捗状況(2017～2019年度)

利用登録者数/稼働率 : 目標:47人/124% ⇒ 実績:39人/123.7%

(所長:菊地暁生)

1 施設利用状況 (2019. 4. 1~2020. 3. 31)

1-1 利用状況

①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20496	20357	20031	54.7	97.7	465	139	99	227	1	1

②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6216	11914	7740	29.9	124.5	3	1

1-2 入・退所状況

①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1	0	0	1	0	0	0	0
退所者数と退所事由	1	0	0	0	0	0	1	0

②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3	0	2	0	0	1	0	0
退所者数と退所事由	1	0	0	0	1	0	0	0

1-3 短期入所(ショートステイ)利用状況

①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1464	1298	3.5	88.7

1-4 地域生活支援事業(日中一時支援事業)利用状況

①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	218	0.6

②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	5	0.02

1-5 出身地別利用状況

① めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女	
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区大泉		1	
市川市	1	0	若葉区	1	1	練馬区石神井		2	
木更津市	1	0				台東区		1	
松戸市	1	0				江東区	1		
香取市	1		計	2	1	渋谷区		1	
茂原市	1		合計	3		世田谷区北烏山		1	
成田市	1	1	【新潟県】			世田谷区	1	1	
佐倉市	5	3				魚沼市		1	足立区(東部)
匝瑳市	1					目黒区		2	
酒々井町	1					八王子市	1		
柏市	3	1				小金井市	1		
君津市		1	計		1	青梅市	1		
我孫子市	1		合計	1		狛江市		1	
船橋市	1	1				西東京市		3	
大多喜町	1								
長生村		1							
八街市	1								
習志野市		1	計						
四街道市		3	合計						
	21	13							
合計	34								
							計	5	14
							合計	19	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	10	6	16			
四街道市	9	12	21			
習志野市	1	0	1			
千葉市	6	2	8	男	女	合計
成田市	0	1	1	26	21	47

2 利用者の状況（31年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2019.4.1現在）

① めいわ

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	56	0	3	3	13	24	8	5	54	84	21
%			5.4	5.4	23.2	42.7	14.3	9			
男	28	0	2	2	9	11	1	3	56	80	24
女	28	0	1	1	4	13	7	2	51	84	21

② 根郷通所センター

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	47	4	19	13	6	5	32.2	71	18
%	100	8.5	40.4	27.7	12.8	10.6			
男	26	3	9	8	4	2	32.7	71	18
女	21	1	10	5	2	3	31.6	54	18

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	57	0	0	0	4	11	42	20
%	100				7	19.3	73.7	
男	28				1	3	24	11
女	29				3	8	18	9

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	47	0	0	7	15	13	12
%	100	0	0	14.9	31.9	27.7	25.5
男	26	0	0	4	9	8	5
女	21	0	0	3	6	5	7

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	57	34	6	1	2			14
%	100	59.6	10.5	1.8	3.5			24.6
男	28	21	3	0	0	0	0	4
女	29	13	3	1	2	0	0	10

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	47	13	1	2	3	0	1	27
%	100	27.7	2.1	4.3	6.4	0	2.1	57.4
男	26	6	1	2	1	0	1	15
女	21	7	0	0	2	0	0	12

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	57	7	28	6	5	11
%	100	12.3	49.1	10.5	8.8	19.3
男	28	4	13	1	2	8
女	29	3	15	5	3	3

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	47	15	20	7	4	1
%	100	32.0	42.5	14.9	8.5	2.1
男	26	8	12	4	1	1
女	21	7	8	3	3	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

① めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	57	26	15	41	16
%	100	45.6	26.3	71.9	28.1
男	28	17	7		4
女	29	9	8		12

② 根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	47	9	6	15	32
%	100	19.1	12.8	31.9	68.1
男	26	5	3	8	18
女	21	4	3	7	14

3-2 知的障害

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	57	11	33	8	5	57	0
%	100	19.3	57.9	14	8.8		0
男	28	7	17	2	2	28	0
女	29	4	16	6	3	29	0

②根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	47	15	20	7	4	46	1
%	100	32.0	42.5	14.9	8.5	97.9	2.1
男	26	8	12	4	1	25	1
女	21	7	8	3	3	21	0

3-3 障害の状況（総括）

① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	49	41	4	3	1		57		5
%	100	83.8	8.1	6.1	2		100		8.9
男	28	24	3		1		28		3
女	29	17	1	3			29		2

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	47	15	5	0	0	1	46	15	6
%	100	31.9	10.6	0	0	2.1	97.9	31.9	12.8
男	26	8	3	0	0	1	25	10	2
女	21	7	2	0	0	0	21	5	4

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

① めいわ

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	3	3	3	3	18	3	7
%	5.3	5.3	5.3	5.3	31.6	5.3	12.3
常時多面で介助	7	14	34	8	24	10	39
%	12.3	24.6	59.6	14.0	42.1	17.5	68.4
時々部分的に介助	33	31	18	30	10	30	5
%	57.9	54.3	31.6	52.6	17.5	52.6	8.8
点検・配慮程度	13	9	2	16	5	12	5
%	22.8	15.8	3.5	28.1	8.8	21.1	8.8
自立	1	0	0	0	0	2	1
%	1.7	0	0	0	0	3.5	1.7

②根郷通所センター

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	移動(内)	移動(外)
常時全面で介助 %	0 0.0	2 4.3	9 19.2	0 0.0	0 0.0	12 25.5
常時多面で介助 %	5 10.6	6 12.8	11 23.4	6 12.8	6 12.8	2 4.3
時々部分的に介助 %	8 17.0	5 10.6	11 23.4	9 19.2	7 14.9	12 25.5
点検・配慮程度 %	16 34.0	26 55.3	8 17.0	25 53.1	19 40.4	15 31.9
自立 %	18 38.4	8 17.0	8 17.0	7 14.9	15 31.9	6 12.8

3-5 コミュニケーションの状況

① めいわ

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可 %	13 22.8	6 10.5	50 87.7	56 98.2	57 100
一部で可能 %	12 21.0	20 35.1	4 7.0	0 0	0 0
だいたい可能 %	31 54.4	31 54.4	3 5.3	1 1.8	0
支障なし %	1 1.8	0 0	0 0	0 0	0 0

②根郷通所センター

	言語(会話)	意思表示	文字読・書	点字	盲人用ワープロ
不可 %	12 25.6	3 6.3	24 51.1	44 93.7	46 97.9
一部で可能 %	13 27.6	20 42.6	16 34.0	1 2.1	0 0.0
だいたい可能 %	18 38.3	20 42.6	5 10.6	1 2.1	0 0.0
支障なし %	4 8.5	4 8.5	2 4.3	1 2.1	1 2.1

#### 4 援助サービスの実施状況

##### ① めいわ

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行ない、午後には曜日ごとに小グループ活動も行った。利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
農耕班	利用者めいわ 4名 生ゴミをベースとした堆肥作り、野菜作りを行なった。
園芸班	利用者めいわ 4名 培養土作り・花の生産を行なった。
手工芸班	利用者めいわ 9名 さをり織り、さき織り、エコクラフト、ビーズ、組紐
創作班	利用者 16名 牛乳パックのリサイクル、はがき作り、紙漉き
陶芸班	利用者 9名 陶器製品の作成
受注作業班	利用者 6名 箸入れ、ボールペンのノックづけ
リハビリ班	利用者 6名 高齢者を対象とし、運動機能訓練、レクリエーション、散歩
<b>余暇活動</b>	
音楽	利用者 40名ほど、月1回の午後の活動、自由参加 合奏・合唱の他、音楽に合わせて体操やストレッチも行なった。
太鼓	利用者めいわ 5名 月1回のペースで太鼓の練習、地域の行事や施設に参加
その他	茶道ボランティア(月1回)ボランティアサークル「ラ・ポール」 傾聴ボランティア(月2回) 音楽ボランティア(不定期)
あおばの会	利用者自治会活動 総会(役員選出、掃除・朝の放送等の各係り決め)、新年会

##### ②根郷通所センター

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	各活動班に所属し、日中の活動を行う。活動班にて、作業の提供だけではなくレクの要素を組み込み、外出や行事なども行った。また、特別支援学校等の実習生の受け入れや教員の実習の受け入れなども積極的に行った。中学生の職場体験も日中の活動班で受け入れをしている。
農耕班	利用者 7名 生ゴミリサイクルの堆肥作りを主の活動としながら、野菜作りを行った。
園芸班	利用者 4名 培養土作り、花苗の栽培を行う。地区内の花壇整備を行っている。新しく園芸棟が完成し活動場所が変更している。
手工芸班	利用者 4名 さをり織りを中心としながら、裂き織りや組紐、刺し子などを行っている。展示会にも参加している。

創作班	利用者 2名 牛乳パックをリサイクルし紙漉きを行っている。ポチ袋や封筒、カレンダーを作っている。
陶芸班	利用者 4名 箸置きや豆皿などの小物から、食器類を陶作。てびねりや鑄込み、機械ろくろ等を 使用し作品づくりを行っている。
受注作業班	利用者 26名 箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司、釜飯のセット組、マグネットキャッチ、ボールペンの組立、洗濯たたみ、アルミ缶つぶしを行った。
リハビリ班	利用者 0名 高齢者を対象とし、運動機能訓練、レクリエーション、散歩などを行った。 愛光健康堂の活動とし、はちす苑へ出張マッサージに週1回程度施術に行っている。
<b>※グループ活動</b>	
音楽	成人のお祝い会に向け、練習を行った。ワグネル曲を皆と一緒に歌った。
スポーツ	長縄跳び、卓球、屋外でサッカーやフライングディスクを行うなど、身体を動かしている。
パソコン	日中活動終了後に1対1もしくは2対1で時間を設け、操作方法を覚える取り組みをした。(火・木)
エクササイズ	音楽に合わせ、身体を動かしたりバランス運動を取り入れている。
陶芸	日中活動の活動をして行っている日に実施している。
散歩	日中活動終了後に実施。
茶道	茶道体験。月1回(月)に実施。ボランティア2~3名参加。
フラワーアレンジメント	季節の花々のフラワーアレンジメント体験。ボランティア2~3名参加。
プール	日中活動の1つとして実施した。根郷中学校のプール一般開放の期間中。

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

#### ①めいわ

	2019.4.1 現員数	2019.4.1~2020.3.31				2020..3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	37(5)	5(0)	2(0)	2(0)	2(0)	38(5)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	33(5)	5	2	2	1	34(5)
クリーンスタッフ						
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

②根郷通所センター

	2019.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	19(10)	2(1)	3	2(0)	0(0)	20(11)
施設長	1					1
支援課長(所長)	1					1
主任	1					1
生活支援員	15(7)	2(1)	2	1		16(8)
クリーンスタッフ	3(3)					3(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

- ★育休・休暇中職員は現員から除く
- ★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする
- ★年度末日退職者及び異動出職員は年度末日現員に含む
- ★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む
- ★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

5-2 職員研修の状況

① めいわ

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
4/17	介護マイスター研修	2	11/27	感染症対策訓練研修	3
4/23	メンター面接研修	2	12/12	中堅職員向け研修	5
5/20	初めてのリスクマネジメント	2	2/9	職員実践発表会	10
6/26	感染症対策訓練研修	2	2/14	労務管理研修	2
7/30	権利擁護・虐待防止	10			
8/30	リスクマネジメント	2			
9/12	メンター情報交換会	3			
9/20	評価者研修	2			
11/1. 1/28	リスクマネジメント研修	2			
R2. 1/23	メンティー交流会	6			
施設外					
4/16	福祉車両安全講習会	2	10/1	虐待防止マネジャー研修	1
5/11	自閉症スペクトラムの理解	1	10/9～10	全国盲重複障害大会	3
5/15	区分調査認定研修	1	11/4	とっておきのさをり展	1
6/5	虐待防止・身体拘束行動分析	1	11/7	ターミナルケア	2
6/18～19	千葉県知的協会新任研修	1	11/8	発達凸凹の部屋へ	1
6/28	強度行動障害研修	1	11/14	県民福祉セミナー	1
7/2～3	相談支援従事者研修	2	11/21	千葉県転職職員研修	2
7/4～5	全国盲重複障害者施設研修	2	11/27	ファシリテーション	1
7/10～11	関東地区研究大会	2	12/3	摂食嚥下障害基礎知識	1
7/13	多飲症・水中毒研修	1	12/8	日本歩行訓練士大会	1
7/24	自閉症基礎講座研修	1	12/10～11	日中活動支援全国大会	1
7/31	罪を犯した人の立ち直り	1	12/13	支援スタッフ研修	5
8/1～2	てんかん基礎研修	1	12/14～15	就職支援フォーラム	1
8/5	福祉サービス事業所 BCP	1	12/18	千葉県虐待防止・権利擁護	4

9/3	災害時の要配慮者支援	2	1/13	東社協研修	1
9/14	発達障害とてんかん	1	1/14	苦情解決	1
9/18	滝乃川学園施設見学	1	1/14	千葉県虐待防止・権利擁護	4
			1/25	高齢知的障害者	3
			1/30	虐待防止防ぐために	3
			2/15	東社協人権擁護	1
<b>複数研修</b>					
研修内容			月 日		参加人数
千葉県強度行動障害者支援者研修			6/28、7/3		1
千葉県強度行動障害者支援者研修			9/10、9/25		1
サービス管理責任者基礎研修			11/14、R2.1/27～28、1/29～30		3

② 根郷通所センター

<b>施設内</b>					
月 日	研修名				人数
<b>施設外</b>					
6/1	千葉県立千葉盲学校オープンスクール				1
6/5	虐待防止および身体拘束廃止につながる応用行動分析の基礎を学ぶ研修会				1
6/18～19	新任職員研修会				1
6/28	強度行動障害者支援者養成研修				1
8/1～2	てんかん基礎講座				1
9/21～22	リカバリーフォーラム 2019				1
9/3	災害時視聴覚障害者支援リーダー養成講座				1
10/1～17	令和元年度千葉県人権啓発指導者養成講座				1
11/16	余り知られていなかった発達障害の理解と支援				1
10/4	印旛特別支援学校オープンスクール				3
10/9	第40回全国盲重複障害者福祉施設研究大会				2
12/13	CAS 研修				3
12/21	元通りに戻ることに拘らない（鬱病で休職中のあなた「中々治らない」と感じているあなた）				1
<b>複数研修</b>					
研修内容			月 日		参加人数
介護福祉士実習指導者講習			9/22、10/19、11/3		1

5-3 実習受け入れ状況

① めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/20~5/23	大原医療福祉専門学校	介護福祉士	1
6/20~8/5	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	2
6/24~6/27	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
7/29~8/30	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
8/19~8/28	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
8/22~9/6	千葉敬愛短期大学	保育士	2
9/17~9/19	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
10/1~10/31	立教大学	社会福祉士	1
10/1~10/15	城西国際大学	社会福祉士	1
11/11~11/23	城西国際大学	社会福祉士	2
2/10~3/4	東京福祉専門学校	社会福祉士	1

② 根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
8/1~8/22	聖徳大学	保育士	3
8/1~8/22	東京福祉専門学校	保育士	2
8/26~9/12	聖徳大学	保育士	3
10/2~10/4	二葉看護学院	看護師	4
1/23~2/6	千葉明德短期大学	保育士	2
2/3~2/19	帝京平成大学	保育士	2
2/10~2/27	目白大学	保育士	1

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
5月	1泊旅行(29~30、西東京・東京)
6月	光和会のだ自慢(9)
7月	歓迎会(23)、1泊旅行(30~31、森昌子還暦コンサート、東金)
8月	納涼祭(26)
9月	1泊旅行(4~5、那須)、敬老会(16)、手をつなぐスポーツの集い(26)
10月	愛光秋まつり(5)
11月	おひさま祭(17)、1泊旅行(26~27、南房総)
12月	さわやか芸能発表会(10)、忘年会(20)
1月	新年会(13)
3月	やよい会(19)

② 根郷通所センター

月	行事内容
4月	お花見(1)
5月	ゆうあいピック(15) グループ別日帰り旅行「アンデルセン公園」(30)

6月	グループ別一泊旅行「東京ディズニーランドと葛西水族館」(17~18) グループ別日帰り旅行「潮干狩り」(7)
9月	敬老会(20) 手をつなぐスポーツの集い(26)
10月	愛光秋まつり(5)グループ別日帰り旅行「上野動物園」(18)
11月	グループ別一泊旅行「鴨川シーワールド」(27~28)
12月	第28回さわやか芸能発表会(10)
3月	グループ別日帰り旅行「蘭蘭の湯」(22)

## 障害者支援施設 リホープ

### 概況

当年度のスローガンは、前年度に引き続き「地域視点で、利用者生活を考えよう！」とした。制度改正により長期の短期入所が認められなくなり、長期の短期入所者を入所とグループホームへ移行した。結果、上半期の収入が前年度比で約 800 万円の減収となった。しかし、下半期の途中から入所を満床とし短期入所の生活介護の利用を増やすことによって、約 400 万円の収入を回復することが出来た。

#### ○数値目標

- ・施設入所 : 目標 90% ⇒ 実績 95.9%
- ・短期入所 : 目標 200% ⇒ 実績 93.4%
- ・生活介護 : 目標 92% ⇒ 実績 89.5%

#### ○サービス目標

- ・高齢化対策の一環として、年度当初に認知症と思われる症状が現れていた利用者 1 名の、法人内高齢者施設のデイサービス利用（共生型生活介護）を開始した。結果、本人の表情が明るくなり活気も出てきて認知症の症状が軽減され効果を実感した。年度後半より更に 1 名の利用を開始し良い結果につながった。
- ・生活環境の整備として、廊下のセンターラインの改修、廊下手すりの全面改修、食堂の誘導ブロックの設置を完了した。また、同時進行で浴室の新設を検討していたが、金額が当初の見込みを大幅に上回ったため、次年度の大規模修繕計画の中で現浴室の改修の検討をすることとした。

#### ○地域連携目標

- ・下半期に学童保育所児童との交流・小中学校との福祉学習を予定していたが、新型コロナウイルスの関係で中止とした。また、短期入所の受入に関しては、部屋替えを行い、1 人部屋を 2 部屋確保し積極的に実施した。
- ・実習生の受入は上半期で 10 名、下半期も 7 名と積極的に行った。

#### ○業務遂行目標

- ・福祉相談室との連携により、年度内に 3 名の入所者を受け入れ、開設以来初めてとなる満床を達成することが出来た。
- ・節電については職員の協力の下、継続して実施した。
- ・誤投薬に関しては、マニュアル遵守の徹底と職員の高い意識により事故ゼロで推移していたが、更に安全性を高めるため服薬支援システム「服やっくん」を 11 月に導入した。

#### ○人材育成目標

- ・ベテラン職員に対して人材育成のための意識改革を行った結果、若手職員の意識改革につながり、当年度は退職者ゼロとすることが出来た。
- ・サービスの質の向上のため、利用者視点の支援を目指し視覚障害当事者を講師に招くなど内部研修の充実を図ると共に外部研修への積極的な参加を行った。

#### ◎第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019 年度）

- ・「稼働率」入所、短期入所合算 目標：90% ⇒ 実績：95.7%
- ・「地域交流」福祉学習 2 回、学童との交流 2 回、地域清掃 3 回、エレクトーン演奏 1 回を実施した。

（施設長 中川 光男）

1 施設利用状況（2019.4.1～2020.3.31）

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18300	17843	17536	47.9	95.9	764	461	78	225	3	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3			2	1			
退所者数と退所事由	0							

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名（+空床型）】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	732	684	1.8	93.4

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
市川市	3		稲毛区		2	板橋区志村		1
市原市	2	1	中央区	2		足立区	1	
柏市		1	若葉区	2		練馬区大泉	2	
香取市	1		美浜区		1	練馬区石神井	1	
鴨川市	1		計	4	3	大田区	1	
袖ヶ浦市		2	合計	7		江戸川区	2	
館山市	1					葛飾区		1
東金市		1	【埼玉県】			計	7	2
流山市	1		春日部市	1	1	合計	9	
野田市	1		白岡町	1				
旭市	1							
船橋市	3					【茨城県】		
茂原市			計	2	1	鹿嶋市	1	
八街市	1	1	合計	3				
八千代市	1							
佐倉市	1	4	【神奈川県】			計	1	
長南町		1	大和市	1		合計	1	

成田市	1				
計	18	11		計	1
合計	29		合計		1

## 2 利用者の状況（2019年度中在所した全利用者）

### 2-1 年齢構成（年齢は2019.4.1現在）

	総数	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高年齢	最年少
総数	50	4	3	4	9	15	11	4	60.2	86	19
%	100	8	6	8	18	30	22	8			
男	33	4	2	2	5	9	7	4	60.2	87.2	20.9
女	17	0	1	2	4	6	4	0	61.7	78.0	34.11

### 2-2 障害程度区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	50	0	0	1	19	18	12
%	100	0	0	2	38	36	24
男	33	0	0	0	14	11	8
女	17	0	0	1	5	7	4

### 2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	50	40	5	0	0	0	0	5
%	100	80	10	0	0	0	0	10
男	33	29	3	0	0	0	0	1
女	17	11	2	0	0	0	0	4

### 2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	50	0	7	4	5	34
%	100	0	14	8	10	68
男	33	0	3	3	3	24
女	17	0	4	1	2	10

### 2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲（再掲）	その他	不就学
総数	50	15	6	5	21	14	1	2
%	100	30	12	10	42	28	2	4
男	33	8	3	4	15	8	1	2
女	17	7	3	1	6	6	0	0

## 2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	50	21	29
%	100	42	58
男	33	15	18
女	17	6	11

## 3 利用者の障害の状況

### 3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	50	32	11	43	7
%	100	64	22	86	14
男	33	22	9	31	2
女	17	10	2	12	5

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	50	0	6	4	5	15	35
%	100	0	12	8	10	30	70
男	33	0	2	3	3	8	25
女	17	0	4	1	2	7	10

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	50	43	8	5	0	1	35	12	12
%	100	86	16	10	0	2	70	24	24
男	33	31	5	4	0	1	21	8	9
女	17	12	3	1	0	0	14	4	3

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

### 3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイク	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助	0	0	0	0	12	4	33
%	0	0	0	0	24	8	66
常時多面で多介助	2	0	3	0	12	1	10
%	4	0	6	0	24	2	20
時々部分的に介助	10	2	22	2	12	8	4
%	20	4	44	4	24	16	8
点検・配慮程度	13	42	13	21	7	27	1
%	26	84	26	42	14	54	2
自立	25	6	12	27	7	10	2
%	50	12	24	54	14	20	4

3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字	盲人用 ワープロ
不可	0	0	40	31	42
%	0	0	80	62	84
一部で可能	4	4	4	4	5
%	8	8	8	8	10
だいたい可能	0	0	3	2	3
%	0	0	6	4	6
支障なし	46	46	3	13	0
%	92	92	6	26	0

4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	廊下のセンターラインの老朽化に伴い、センターラインを一新した。高齢の利用者の躓きもなくなり、車いすの利用者にも移動しやすくなったと好評である。センターラインと同様の物を食堂に誘導ブロックとして設置した。1階の手すりを全面改修した。予算の関係で、2階手すりは次年度に改修予定である。
各種専門的訓練 及び 日中活動	<p>【受注作業】 箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司や釜飯のセット組、紙トング組立、ローラーキャッチ、マグネットキャッチ、ボールペン組立、洗濯たたみ、アルミ缶つぶしを行った。（利用者 18名参加）</p> <p>【農 耕】 生ゴミリサイクルの堆肥作りを主の活動としながら、野菜作りを行った。ユニバーサル農業の仕事も定期的に行っている。 （利用者 1名参加）</p> <p>【園 芸】 花苗の栽培を行い、地域の販売会に参加した。また、物井駅ヤックス前の花壇整備も行っている。 （利用者 7名参加）</p> <p>【リハビリ】 高齢者や視覚障害者を対象とし、運動機能訓練、歩行訓練、レクリエーション、散歩、個別外出などを行った。 愛光健康堂の活動として、はちす苑へ週1回の出張マッサージに行った。 （利用者 5名参加）</p> <p>【創 作】 牛乳パックのリサイクルによる紙漉きを行っている。 （利用者 2名参加）</p> <p>【手 工 芸】 さをり織り、さき織り、エコクラフト、組紐、刺し子、羊毛フェルト作りなどを行っている。 （利用者 7名参加）</p> <p>【陶 芸】 箸置きや一輪挿しなどの小物から、食器類、植木鉢などの陶作。手びねりや鑄込み、機械ろくろ等を使用し作品作りを行っている。 （利用者 5名参加）</p>

ケアマネジメント	<p>個別支援計画の作成について、看護師、栄養士の協力を得て、担当者会議を行った。新型コロナウイルスの関係で、3月に予定していたご家族との会議を行うことが出来なかったが、電話で連絡を取り、想いを反映できるよう努めた。昨年同様、個別支援計画を毎月のフロア会議で情報共有することで支援協力と利用者理解に努めた。ヒヤリハットが出た際には、朝の引き継ぎとフロア会議で原因分析を行い、情報を共有し大きな事故なく過ごすことが出来た。</p>
保健・医療	<p>11月に服薬支援システム「服やっくん」を導入。誤薬に関しては、マニュアル遵守を徹底し、事故ゼロであった。高齢化に伴う、失禁の増加や衣類の清潔保持について、支援が後手に回ることがあった。リハビリパンツのサイズの見直しなどに取り組んでいる。</p>
余暇活動	<p>施設で企画した余暇行事としては、お笑いライブ、横浜中華街、いちご狩りを楽しんだ。個別外出では、大阪 USJ、別府温泉等、遠出をした利用者もいたが、近場で外食を楽しむ利用者も多かった。視覚障害に特化した福祉機器展であるサイトワールドに参加したり、パラリンピック競技の観戦も行った。</p>
自治会活動	<p>自治会主催で、夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会を行った。秋まつりに使用する法被を購入し、お祭り気分を盛り上げながら飲み物の販売を行った。有線の導入についても話し合いを継続しているが、無線を利用したの導入が難しいことが分かり、今後の方向性について検討しているところである。</p>
愛光健康堂	<p>午前中は施設内のリハビリ中心、午後は外来の診療を中心に行っている。固定客にプラスし、新規の利用客も少しずつ増えてきているが、今後も集客に向けた取り組みをしていきたい。</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2019.4.1 現員数	2019.4.1~2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	29 (5)	8 (3)	1	3 (1)	2 (1)	32 (7)
施設長	1					1
課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	22 (4)	8 (3)	1	3 (1)	2 (1)	25 (6)
清掃	1 (1)					1 (1)
機能訓練士	1 (兼)					1 (兼)
看護師	0					0
栄養士	1 (兼)					1 (兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/1~3	新任研修	3			
7/30	権利擁護・虐待防止研修	8			
2/14	労務管理者研修	1			
施設外					
5/8	千葉知的協会総会	1	9/22、28	介護福祉士実習指導者研修	2
	認定調査研修	2	9/25	強度行動障害支援者養成研修	4
5/18	オープンダイアログ研修	3	10/1	防災研修	1
6/4	愛誠会研修	1	10/2	相談支援従業者現任研修	2
6/5	虐待防止及び身体拘束禁止研修	2	10/8~10	盲重研大会:長崎	4
6/6~7	盲重研施設長セミナー	1	10/16	高次脳機能障害研修	1
6/18~19	知的協会新任研修	3	10/17	人権啓発指導者養成講座	1
6/28	強度行動障害支援者養成研修	2	10/19	介護福祉士実習指導者講習	1
7/2~3	相談支援従事者初任者研修	1	10/21	障害者虐待防止研修	1
7/3	強度行動障害支援者養成研修		10/22 ~24	知的障害関係職員研究大会	3
7/4~5	盲重研職員研修	2	10/30	相談支援従業者現任研修	1

			~31		
8/1~2	視覚リハビリ基礎講習	1	11/3	介護福祉士実習指導者講習	2
8/4~5	BCP 講座	1	11/5~6	広報講習会	1
8/28	視覚リハビリ基礎講習	1	11/6	ゆうゆうの里実践発表	3
9/3	災害時視聴覚障害者支援リーダー養成研修	1	11/7	職員合同研修会	1
9/3	コーチングスキル研修	1	12/3	摂食・嚥下障害ケア研修	1
9/5	拘縮予防ケア研修	1	12/6	苦情解決研修	4
9/6、10	強度行動障害支援者養成研修	4	2/1	総合相談センター研修	2
9/10~13	職能開発センター研修	1	2/19	高次脳機能障害研修	1
9/21~22	リカバリーフォーラム	3			
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
介護マイスター研修			4/17 11/13		延べ 5
メンター面談研修			4/23		5
リスクマネジメント研修			4/20 1/28 (3名)		10
感染症対策訓練研修			11/27		5
リスクマネージャー研修			2/1		5

### 5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/24~6/27	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
8/5~9/6	和洋女子大学	社会福祉士	1
8/22~9/6	千葉敬愛短期大学	保育士	2
9/17~9/19	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
10/1~10/15	城西国際大学	社会福祉士	1
10/15~10/29	城西国際大学	社会福祉士	1
10/28~11/23	城西国際大学	社会福祉士	1
11/11~11/23	城西国際大学	社会福祉士	1
1/29~2/19	江戸川大学総合福祉専門学校	社会福祉士	1
2/6~2/25	千葉敬愛短期大学	保育士	2

6 行事実施状況

月	行 事 内 容
4 月	お花見 (3) 森昌子 (祝) 還暦コンサート (5) お花見に行こう! (7) 美味しい物を食べに行こう (13) 山崎プラザ市川 ららぽーと東京ベイ (14) 王将に行ってお腹いっぱい食べてこよう (20) お寿司を食べに行こう (20) 落語 (27)
5 月	買い物に行ってください (5) 鉄道旅 (6) 美味しいラーメンを食べよう! (11) お刺身を食べに行こう! (12) 思い出巡りの旅~香取~ (17) 音楽で癒されよう (18) ハンバーグを食べに行こう (25) みんなでお笑いライブに行こう! (29)
6 月	美味しいお寿司を食べに行こう! (8) 担当同士の夕食 (8) 好きな物を食べに行こう (8) 鰻を食べに川豊・買い物 (9) 佐倉に新しく吉野家が出来たって? (15) 行なった事のないイオンに行こう~緑ヶ丘~ (23) 買い物上手く出来るかな・・・ (23) 美味しいご飯を食べに行こう。(29) 散策クラブ青葉の森公園を散策しよう (30) 散策クラブ雨でもららぽーとに行こう! (30)
7 月	美味しい物を食べに行こう (6) 銚子丸・買い物 (7) 今年も参加!! 成田祇園祭♪ (7) 鉄道クラブ鎌ヶ谷~七夕編~ (7) 草笛クラブで草笛を吹こう (15) 夕食と買い物でリフレッシュ (20) 外出でリフレッシュ (20) 鉄道クラブ~東武アーバンパークラインに乗ってみよう! (21) やっぱりお寿司が食べたい (21) 個別外出スシローで昼食を食べよう (27) 音楽スタジオに遊びに行こう! 第三回 (28) たこ焼きを食べよう (28)
8 月	鎌取へ行こう! (4) 毎月1回の夕食、買い物 (4) ピッタリンな靴を探しに行こう。(4) 毎年恒例温泉旅行! 別府編 (6~8) 天井食べに、ぶらりぶらり~ (12) カラオケを楽しもう (14) 「故郷 埼玉・白岡への旅 今回は親戚の方に会いに行きます。」 (21) とんかつを食べたいな (25) 外出でリフレッシュ (25) 大阪旅行でラピートに乗ろう! (28~30)
9 月	毎月1回の買い物、夕食 (7) 相撲観戦に行こう! (14) ヤマザキプラザでランチパックを買おう! パート 3 (15) ディズニーランド日帰り (24) 中華街で食べ放題 (27) 個別外出スシローで昼食を食べよう (29)
10 月	銚子電鉄に乗る! (1) お墓参りに行こう (1) 愛光秋まつり (5) 動物園に行こう (6) 「読書の秋、紅葉の秋、法人秋祭りの秋、食欲の秋? いや、中華の秋でしょ! (18) 毎月1回の買い物、夕食 (20) 誕生日会 (22) お寿司を食べて買い物をしよう! (27) お刺身を食べに行こう! (27) 船橋市民と船橋に行こう (27) 中華街で食べ放題 (28)
11 月	サイトワールドへ行こう (1) スポーツの秋! 久々のマラソン大会! (2) 散策クラブ雨でもららぽーとに行こう! 初めての夕食はファミレスへ (2) (4) 散策クラブ青葉の森公園を散策しよう (4) 月1度の買い物、外出 (9) お寿司を食べたい (10) 中華街で食べ放題 (11) お寿司を食べて買い物をしよう (17) 墓参りいつくの~ (17) 四街道ガス灯ロードレース大会 (17) 栗源で芋祭り (17) 大阪旅行~念願のUSJ~ (25~26)
12 月	鉄道クラブ~冬のご褒美ららぽーとに行ってみよう~ (1) 若宮に帰って寿司を食おう (1) 月1度の買い物外出、銚子丸 (8) 今度こそ山崎プラザに行こう (8) ニューリバーロードレース in 八千代 (8) 鉄道クラブ~冬のご褒美浅草に行ってみよう (8) ~いざ尾張の国へ~ (11~12) いろんなイオンに行こう~千葉ニュータウン~ (14) お寿司を食べたい (15) 個別外出スシローで昼食を食べよう (21) サッカー観戦 (21) 外出でリフレッシュ (21) もみの木会 (22)
1 月	初詣に行こう (4.5) 月1度の買い物外出 銚子丸 (11) お寿司が食べたい (12) 誕生日会で鳥貴族にて好きな物を食べよう (13) エレクトーンクラブ in 山王学童 (27) 船橋で買い物をしよう (18) 個別外出すぎのや本陣で昼食を食べよう (25) 初めての四街道道

	頓堀 (25) 成人のお祝いで好きなものを食べよう (25) レストランに行きたい (26) 新春イチゴ狩り (27)
2月	電車旅～東京駅周辺～ (2) 新春イチゴ狩り (7) やっぱりお寿司が食べたい (8) 至福のひとつき～ウナギが食べたい～ (8) 月1度の買い物外出 銚子丸 (9) 美味しい物を食べに行こう (16) 東京ディズニーシー・ランド1泊旅行 (19～20) かっぱ寿司で昼食を食べよう (22) 美味しい物を食べに行こう (24) 流山のお墓参りに行ってきます (25)
3月	弥生会 (22)
毎月	草笛クラブ、カラオケクラブ、エレクトーンクラブ

## 障害者支援事業部

## 日 中 活 動

## 概況

「人の生き方や日々活動する内容は、人それぞれであり個性や多様性があるべき」である。これは、日中活動支援に従事する職員であれば誰もが持つべき基本的な考え方のひとつであろう。また、「人は何のために生き、何のために働くのか」という、それぞれが持つ“思いや哲学”は日中支援を展開するにおいて重要な要素となる。

日中支援の現場力は、“その思いや哲学”が現場レベルで議論されたうえに成り立つもの”であり、当年度は更なる飛躍を求め“現場力の底上げ”を図るべく、“その土壌作りに”に尽力した。

## ○サービス目標

例年通り、7 班体制（創作、手工芸、園芸、農耕、陶芸、受注、リハビリ）にて、活動を実施した。各班共に大きな問題もなく安定した取り組みを行うことができた。しかし、リホープの利用者については、午前中のみ活動に参加される方や、加齢により参加を辞退されている方などが増えたことで、多い時で 20 名程度の利用者が日中活動に参加せず施設内で過ごしている。日中活動が現在の体制になって 10 年が経過し、利用者のニーズも大きく変化しつつある。今後、現場レベルで日中活動のあり方の検討と議論が必要であると考えます。

## ○地域連携目標

当年度も、外部の行事（フリーマーケット、学園祭など）で自主生産品の販売を行った。また、農耕班で収穫した野菜に加え近隣の農家との連携のもと、愛光直売会と称して近隣住民に農作物等を販売してきた。また、生活クラブが主催するユニバーサル農業（農福連携）にも参加し共同販売も実施している。

園芸班の発案により“根郷図書館の花壇の管理”があがったが、行政との折衝が難航しており、次年度の展開として持ち越すこととなった。

日中活動が出品している、佐倉市のふるさと納税の返礼品としてオーダーがあり、“陶芸・紙漉きおり・さをり織の詰め合わせ”を発送した。購入者は香川県の方であり、遠方の方が愛光の商品を手にする姿を想像し温かい気持ちになった。

## ○業務遂行目標

現場の発案により“活動場所の大幅な変更”“新たな活動班の設立”などの提案があり、次年度の実行に向けて動き始めた。現場からの発案・実行は初の試みとのことで、全体的に士気が高まり現場の活性化につなげることができた。

各活動班のリーダーを中心に、班ごとの活動理念の作成を行った。普段、意識したことが無かったようで作成には悪戦苦闘したようである。次年度は“各活動班が考えた理念の実現へ向け、思う存分に議論を重ねながら自由な発想”で業務に邁進して欲しいと考えている。

## ○人材育成目標

日中活動支援部会全国大会（北海道大会）へ参加。全体会では「多様なニーズへの支援に対応してきた生活介護事業の今後のあり方について」がなされ、「高齢障がい者の社会参加」、「自閉症支援に特化した事業所」の事例発表があった。どれも現場の理念と思いが込められた発表であり、刺激を受けた職員も少なくなかったのではないかと考えている。今後も、他の法人の取り組みや活動理念を学ぶ機会を積極的に提供していきたい。

（日中活動コーディネーター 菊地 暁生）

## 1 利用状況

所属施設状況（2019. 4. 1～2020. 3. 31）

	リホープ	めいわ	根郷通所	ルミエール	計
農耕班	1	5	7	1	14
園芸班	8	8	4	1	21
手工芸班	7	10	4	0	21
創作班	2	16	2	1	21
陶芸班	4	8	4	0	16
受注班	17	7	25	3	52
リハビリ班	6	6	0	0	12
計	45	60	46	6	157名

## 2 サービスの実施状況

農耕班	生ゴミリサイクルの堆肥作りを主の活動としながら、野菜作りも行った。畑の規模を縮小し小回りの利く体制を構築した。
園芸班	培養土作り、花苗の栽培を行っている。近隣の図書館の花壇の管理の話が進行中である。
手工芸班	さをり織りを中心としながら、裂き織りや組み紐、刺し子などを行っている。展示会にも参加している。
創作班	牛乳パックをリサイクルし紙漉きを行っている。ポチ袋や封筒、カレンダーを作っている。
陶芸班	箸置きや豆皿などの小物から、食器類を陶作。てびねりや鑄込み、機械ろくろ等を利用し作品作りを行っている。活動内容の活性化が急務である。
受注作業班	箸入れや箸組み、おしぼりの袋詰め、宅配寿司、釜飯のセット組、マグネットキャッチ、ボールペンの組立、洗濯たたみ、アルミ缶つぶしをおこなった。
リハビリ班	高齢者を対象とし、運動機能、レクリエーション、散歩などを行った。愛光健康堂の活動では、はちす苑へ出張マッサージに週1回程度行っている。

### 3 地域交流実施状況

月日	イベント名	主催	場所
7月6日	ユニバーサル農業・福祉さくら販売会	佐倉市就労部会等	ユーカーリオンタウン
10月19日	オリオン祭り	社会福祉法人えのき会	オリオンハウス
10月26日	千葉盲学校祭	千葉県立盲学校	千葉盲学校
10月28日	敬愛フェスタ	千葉敬愛短期大学	千葉敬愛短期大学
10月28日	ユニバーサル農業フェスタ	佐倉市	御伊勢公園
11月3日	根郷福祉まつり	根郷地区社協	南部地域福祉センター
11月17日	時代まつり	佐倉市	新町通り
11月24日	市民活動フェスタ	市民公益活動サポートセンター	中央公民館
12月7日	ユニバーサル農業・福祉さくら販売会	佐倉市就労部会等	ユーカーリオンタウン
12月22日	新蕎麦まつり	さくら蕎麦の会	志津コミュニティーセンター
第1月曜日	しづの里販売会	NPO 法人しづの里	しづの里
第4月曜日	愛光直売会	社会福祉法人愛光	社会福祉法人愛光

### 4 運営管理

#### 4-1 職員状況

職名	総数	2019.4.1~2020.3.31			
		めいわ	リホープ	根郷通所	ルミエール
		32	25	15	
事業部長	1				
根郷通所センター所長 (コーディネーター)	1				
農耕班	9	2	4	3 (1)	
園芸班	7	3	2 (1)	2 (1)	
手工芸班	10	5	3	2 (1)	

創作班	10	5	3	1 (1)	
陶芸班	8	3(1)	3	2(1)	
受注班	19	8(2)	6(1)	5(2)	1(随時)
リハビリ班	13	7(1)	5(1)	1(1)	

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

#### 4-2 職員研修の状況

月・日	研修名	人数
12月10日 ～11日	日中活動支援部会全国委大会北海道大会	6
6月20日	陶芸講師による研修①	
9月12日	陶芸講師による研修②	
12月19日	陶芸講師による研修③	
1月15日	陶芸講師による研修④	

#### 4-3 行事実施状況

月	行事内容
4月	お花見(農) 個別外出(手) 誕生日外出(園) たけのこ掘り(農)
5月	食事会(リ・陶) 誕生日外出(手) 買物外出(創・手・園・受) 農場見学(園) 美術館見学(陶) 親睦会(受)
7月	食事会(受) バイク(手)
8月	食事会(陶) 暑気払い(園・リ・手)
10月	日帰り旅行(農) 愛光秋まつり
11月	ピザパーティー(陶)
12月	忘年会(受・手・創・陶)
1月	新年会(創・受) 収穫祭(農) 食事会(園)
2月	食事会(手・受)
3月	お疲れさま会(手) お楽しみ会(陶) お疲れさま会(創) お楽しみ会(陶)
備考	月毎：リーダー会議 農耕班⇒(農) 手工芸⇒(手) 園芸班⇒(園) リハビリ班⇒(リ) 創作班⇒(創) 陶芸班⇒(陶) 受注班⇒(受)

## 就労継続支援B型

## 佐倉市よもぎの園

## 概況

当年度のスローガンは「ステップアップを目指せる仕事作り」とし、利用者の仕事のステップアップを狙い、今まで行ってきた作業以外の新しいことにチャレンジして、作業の幅を広げることが出来るように取り組んだ。

佐倉市から指定管理を受託し11年が経過した。ご家族の高齢化が進み、親亡き後の漠然とした不安が広がる中、当年度は“親亡き後の子の行く末”について改めてご家族と話し合う機会を作ってきた。個別面談という形をとり、利用者のこれまでの生活歴や親の想いを確認する貴重な時間となった。この取り組みから今後求められる事業所の在り方としては、就労支援だけではなく、生活支援も含めた総合的な支援が求められてくるのではと改めて実感した。職員全体で共有を進め、支援の質の向上を目指し必要に応じて情報更新をしていきたい。

○数値目標（稼働率／工賃） 目標：90% ⇒ 実績：79.1%

新規利用者の利用はあったが、定着せず目標に掲げている稼働には至らず。相談事業所への働きかけも継続しているが、新規利用者の問い合わせはほとんどなかった。次年度になってしまうが、当事業所で実習をおこなった特別支援学校の生徒2名の利用申し込みがあった。改めて利用者の実習生受け入れの重要性を感じた。

工賃については、年度当初から順調に推移し平均工賃2万円を維持できることがほぼ確定した。ただし感染拡大している“新型コロナウイルス感染症”の影響で年度末は作業の減少が著しく、次年度への不安が募る。

○サービス目標

安定した作業供給の継続という点については、既存業者への働きかけなどにより概ね達成できた。当年度は新しい作業を開拓するべく職員間で協議を重ね、“自主生産活動への挑戦”という方向性が決まった。下半期はどのような自主生産活動ができるか検討してきた。次年度挑戦をしていきたい。

○地域連携目標

施設を開放しての“宮前ローズタウン交流会”によもぎの園として参加し、ポップコーン販売をおこなった。同様に9月の防災訓練にも参加をしている。3月に予定されていた“福祉まつり”は残念ながら新型コロナの影響で中止となった。

エントランスの環境整備については、職員で意見を出し合いながら進めている。今後も開かれた施設づくりを目標としていきたい。

○業務遂行目標

大量発注に対応できる体制構築として作業環境の見直しなどをおこない、レイアウトなども大幅に変更し働きやすさを目指した。また、乱雑になっていた部材なども整理整頓を心掛け、清潔感のある職場づくりも同時に進めた。

○中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

「利用登録者数／稼働率」 目標：50人／90% ⇒ 実績：39人／79.1%

「地域公益取組」 地域連携目標、記載の通り

（所長 大里 英巳）

1 施設利用状況

1-1 利用状況 (2019. 4. 1~2020. 3. 31)

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10,520	10416	8,319	31.6	79.1	2	6

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	2	0	1	0	0	1	0	0
退所者と退所事由	6	0	0	4	0	0	0	2

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	25	15	40

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2019. 4. 1 現在)

	総数	19~	20~	30~	40~	平均年齢	最高齢	最年少
総数	40	0	5	7	28	43.6	67	20
%	100	0.0	12.5	17.5	70.0			
男	25	0	4	6	15	42.0	66	20
女	15	0	1	1	13	46.2	67	28

2-2 療育手帳による障害程度

(2019. 4. 1 現在)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	40	9	2	20	6	3
%	100	22.5	5.0	50.0	15.0	7.5
男	25	8	2	9	5	1
女	15	1	0	11	1	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

(2019. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	40	2	1	0	0	0	0	37
%	100	5.0	2.5	0	0	0	0	92.5
男	25	1	0	0	0	0	0	24
女	15	1	1	0	0	0	0	13

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

(2019. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	40	2	1	0	37
%	100	5.0	2.5	0	92.5
男	25	1	1	0	24
女	15	1	0	0	13

2-5 就学状況（最終学歴）

(2019. 4. 1 現在)

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲(再掲)	その他	不就学
総数	40	8	1	5	24	0	2	0
%	100	20.0	2.5	12.5	60.0	0	5.0	0
男	25	3	1	3	18	0	0	0
女	15	5	0	2	6	0	2	0

2-6 就労経験

(2019. 4. 1 現在)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	40	17	23
%	100	42.5	57.5
男	25	10	15
女	15	7	8

### 3 利用者の障害の状況

#### 3-1 視覚障害

(2019. 4. 1 現在)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	40	0	0	0	40
%	100	0	0	0	100
男	25	0	0	0	25
女	15	0	0	0	17

#### 3-2 障害の状況（総括）

(2019. 4. 1 現在)

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声 言語	内部	知的	精神	重複
総数	43	0	2	0	0	0	38	3	0
%	100	0	5.0	0	0	0	95.0	7.5	0
男	28	0	1	0	0	0	26	1	0
女	17	0	1	0	0	0	14	2	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

#### 4 援助サービスの実施状況

<p style="text-align: center;"><b>作 業</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘッドホン結束 (ヘッドホンリサイクル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線航空機のヘッドホン清掃、結束する作業</li> </ul> </li> <li>○ウェス縫製 (汚れ拭き上げ用品) <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済みのバスタオルを二枚のウェスに作り替える作業</li> </ul> </li> <li>○腰壁材梱包 (家の壁紙の分かれ目を隠すもの) <ul style="list-style-type: none"> <li>・木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼る作業</li> </ul> </li> <li>○ゴムパッキン詰め (試験管のキャップ作り) <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャップにゴムパッキンを入れる作業</li> </ul> </li> <li>○枠のフィルム剥がし (CD、DVDラベルを印刷した原版) <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルク印刷の原版清掃する作業</li> </ul> </li> <li>○足場インサート (建築物の基礎に埋め込む資材) <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業</li> </ul> </li> <li>○検査キット封入 (健康診断で使用する検尿容器) <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入する作業</li> </ul> </li> <li>○封入作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大小さまざまな袋に2、3種類の用紙を入れる作業</li> </ul> </li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>自治会 活動</b></p>	<p>「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足      会長…1名 副会長…1名 書記…1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○給与規定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与規定の内容確認および承認</li> </ul> </li> <li>○期末ボーナスについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスの支給方法および承認</li> </ul> </li> <li>○環境整備について <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除分担の作成</li> </ul> </li> <li>○行事計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事計画の内容確認および承認</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者間の決まり事の確認および周知の場</li> </ul> </li> </ul>

<b>送 迎</b>	○4 経路運行 ①よもぎの園～ユーカリヶ丘～染井野方面～よもぎの園 ②よもぎの園～王子台～JR佐倉方面～よもぎの園 ③よもぎの園～江原台～大蛇方面～よもぎの園 ④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園 ○利用者からの直接利用料の徴収はなし
<b>宅配弁当 の 仲介</b>	○昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ） ・出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職 名	2019. 4. 1 現員数	2019. 4. 1～2020. 3. 31				2020. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
<b>総 数</b>	10 (5)	2 (2)	1	3	1 (1)	11 (6)
管理者	1		1 (0)			1
主任 (サービス管理責任者)	1					1
生活支援員	5 (5)	1 (1)		2 (0)	1 (1)	5 (5)
作業指導員	2					2
目標達成指導員	1					1
運転手		1 (1)				1 (1)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
4/1	新任研修	2	7/30	権利擁護・虐待防止研修	1
8/6	就労会計研修	2	9/20	評価者研修	2
9/27	災害対策研修	1			
施設外					
6/5	安全運転管理者講習		9/25	施設経営研修	1
9/25	就労会計研修	1	10/1	権利擁護研修	1
10/2	令和元年度千葉県 相談支援従事者現任研修	1	10/30, 31	令和元年度千葉県 相談支援従事者現任研修	1
12/6	生産活動・就労支援部会研修	1	12/19	障害福祉サービス事業所 等研修会	1

5-3 行事实施状況

月 日	行 事 内 容
4. 12	春陽会
6. 21	日帰り旅行
9. 30	秋楽会
12. 27	忘年会
1. 24	新年会
2. 5	ボーリング大会
3. 30	会食会
備 考	

## ワークショップかぶらぎ

## フレックスワークコース／ライフステップコース

（就労継続支援B型）

（自立訓練（生活訓練））

## 概況

当年度のスローガンは「地域生活を支える礎になろう」であった。平成27年6月に障害福祉サービスへ事業転換し、まもなく5年を迎えようとしている。地域活動支援センターとしての運営から、就労継続支援B型・自立（生活）訓練に変更し、事業のあり方や稼働率に悩んできた。5年という区切りを目前に、再度見直す必要性を感じた1年であった。

当年度は定員数変更から一定期間が経過し、利用者数が減っている。理由としては切り替え時に就労継続支援B型では受けきれなかった方を自立（生活）訓練で受けたが、期間が満了し、終了になるあるいは就労継続支援B型へ切り替わった等が考えられる。新規登録者は一定数を確保しているが、当事業所の特徴として、通所開始時は通所日数が少なく、支援と本人の努力により体調が整い、次第に通所日数が増える傾向にある。稼働を維持するためには、利用者の変動にいち早く対応し、より早い状況での新規登録者獲得を目指す必要性を感じた。年度後半には新規登録者を獲得できているため、次年度後半には稼働が安定する見込みである。とはいえ、新型コロナウイルスによる影響は当面続くことが予測され、次年度もしばらくの間は稼働が低迷するだろう。

大雨の影響により事業所内の雨漏りに対して、業者・佐倉市等と協議を行った。今後も起こりえる大雨に対し、事業所用の大雨対策マニュアルを作成した。

## ○数値目標

【稼働率】フレックスワークコース（就労継続支援B型）目標稼働率110%⇒実績103.5%

ライフステップコース（自立訓練（生活訓練））目標稼働率100%⇒実績42.8%

※前年度末に自立（生活）訓練の利用からB型の利用へと移行された方がおり、年度当初は稼働が落ちている。新規利用者の獲得はできているが、利用開始時は利用日数が少ないため稼働に影響が出ている。毎年冬季に稼働が落ちるのが特徴ではあるが、2月以降に関しては新型コロナウイルスを心配して自主的に通所を控える方が出たため、稼働が低下している。

## 【工賃】

時給額：371円（前年度比プラス98円）月額：14,618円（前年度比プラス5,216円）

新規受注作業の獲得や地区社会福祉協議会関連の印刷物、冊子印刷などがあり、前年度よりも工賃は上昇した。一方、一部の業者で年間を通して請負量が安定しないものがあり調整を行った。

## ○サービス目標

年度後半に当事業所としての「仕事」について、職員会議や夕礼を活用し見直しを図った。それぞれの職員が思っていることを出し、事業所内のすり合わせをし、次年度のあり方へつなげた。日々の業務ではなかなか意見がでなかったものの、主任・所長を除き現場職員だけで会議をしたところ、様々な意見を得ることができた。

## ○地域連携目標

城の辺地区社協より買い物支援への協力の打診があった。年度後半にプレ運行の様子を見学した。具体的に協力内容を詰める段になり、新型コロナウイルスの流行により協議の場を設けることができなくなり、中断している。

## ○業務遂行目標

就労継続支援B型として一定量の作業量の確保が必要であること、また障害特性を考慮した支援の必要性について会議で取り上げた。職員の意識の芽生えから次年度の取り組みにつなげたい。

## ○人材育成目標

各専門分野の研修へ派遣を行った。

## ○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年）

「利用登録者数／稼働率」 目標：70人／75% 実績：41人／B型91.5% 自立58.8%

「地域公益取組」 目標：在宅精障害者緊急受入 実績：1名（約1ヶ月利用）

（所長 近藤 美貴）

1 施設利用状況 (2019. 4. 1~2020. 3. 31)

1-1 利用状況

①就労継続支援B型

【定員14名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3738	9657	3885	14.6	103.9%	3	7

②自立訓練(生活訓練)

【定員6名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1602	3070	688	2.6	42.9%	9	12

1-2 入・退所状況

①就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	3	0	0	1	2	0	0	0
退所者と退所事由	7	1	0	4	1	1	0	0

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	9	0	0	7	2	0	0	0
退所者と退所事由	12	2	0	3	7	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

①就労継続支援B型

出身地	男	女	計			
佐倉市	16	16	32			
四街道市	0	0	0			
富里市	0	1	1			
酒々井町	0	0	0			
成田市	0	3	3	男	女	合計
八街市	0	0	0	16	20	36

②自立訓練(生活訓練)

出身地	男	女	合計			
佐倉市	1	4	5			
四街道市	0	1	1			
成田市	0	1	1			
八街市	0	0	0	男	女	合計
酒々井市	4	1	5	5	7	12

## 2 利用者の状況

### 2-1 年齢構成 (2019. 4. 1 現在)

#### ①就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	36	0	1	8	15	10	2	44.9	75	25
%	100	0	2.8	22.2	41.7	27.8	5.5			
男	16	0	1	2	8	3	2	46.8	75	25
女	20	0	0	6	7	7	0	43.4	54	30

#### ②自立訓練(生活訓練)

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	12	0	6	4	1	1	32.5	55	21
%	100	0	50	33.4	8.3	8.3			
男	5	0	3	1	1	0	30.8	44	21
女	7	0	3	3	0	1	33.8	55	25

### 2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

#### ①就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	36	7	18	4	7
%	100	19.5	50.0	11.0	19.5
男	16	2	9	3	2
女	20	5	9	1	5

#### ②自立訓練(生活訓練)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	12	0	6	0	6
%	100	0.0	50.0	0.0	50.0
男	5	0	3	0	2
女	7	0	3	0	4

### 2-3 就労経験

#### ①就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	36	31	5
%	100	86.1	13.9
男	16	12	4
女	20	19	1

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	12	6	6
%	100	50.0	50.0
男	5	2	3
女	7	4	3

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	36	0	1	1	35
%	100	0	2.7	2.7	97.3
男	16	0	0	0	16
女	20	0	1	1	15

②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	12	0	0	0	12
%	100	0	0	0	100
男	5	0	0	0	5
女	7	0	0	0	7

3-2 知的障害

①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	36	0	0	0	2	2	34
%	100	0	0	0	5.5	5.5	94.5
男	16	0	0	0	2	2	14
女	20	0	0	0	0	0	20

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	12	0	0	0	1	1	11
%	100	0	0	0	8.3	8.3	91.7
男	5	0	0	0	0	0	5
女	7	0	0	0	1	1	6

#### 4 援助サービスの実施状況

<b>作業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミーティング（全体ミーティング月2回、部門ミーティング月1回）</li> <li>○セットアップ部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールシート折り</li> <li>・工具検品</li> <li>・ナブキン折り</li> </ul> </li> <li>○クリーン&amp;メンテナンス部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内清掃</li> </ul> </li> <li>○総務部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・納品請求書の発行</li> <li>・フェイスブック管理</li> </ul> </li> <li>○プリント部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺作成</li> <li>・封筒作成</li> <li>・各種シール作成</li> <li>・各種チケット作成</li> <li>・イベントのぼり作成</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネジボルトの組み立て、計数</li> <li>・印刷物の丁合、封入</li> <li>・紙製箱の組み立て</li> <li>・館内環境の美化、整備</li> <li>・時給換算表の入力</li> <li>・共同受注サイトチェック</li> <li>・ポスターチラシ作成</li> <li>・イベントプログラム作成</li> <li>・冊子、報告書、議案書の作成</li> <li>・イベント横断幕作成</li> </ul>
<b>プログラム</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○疾病管理トリカバリー【IMR】（月2回）</li> <li>○ライフステップミーティング（月1回）</li> <li>○茶話会（月2回）</li> <li>○ピアネットワークプログラム【PNP】（随時開催）</li> <li>○パソコン</li> <li>○ビジネスマナー</li> </ul>
<b>カフェ活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミーティング（月2～3回）</li> <li>○飲食メニューの提供、考案</li> <li>○カフェ環境整備、月末事務</li> </ul>
<b>送迎</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「JR佐倉駅～和田方面」、「京成佐倉駅」の2路線で送迎。</li> </ul> <p>時間帯は朝と夕方のほか昼の時間帯に要望があった時に運行する「デマンド便」を実施。</p>

#### 5 運営管理

##### 5-1 職員状況

職名	2019.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
<b>総数</b>	7(1)	1(1)	1(0)			7(1)
管理者	1兼		1(0)	1兼		1兼
主任（サービス管理責任者）	1兼					1兼
生活支援員	4(1)	1(1)				4(1)
職業指導員	1					1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/13	ピアネットワーク プロジェクト総会		/		
施設外					
6/22	千葉市手をつなぐ育成会 実践発表会	3	10/16	千葉県人権啓発指導者 養成講座	1
			11/16	あまり知られていなかった 発達障害の理解と支援	1
6/24~25	障害児・者相談支援事業 全国連絡協議会研修会	2	11/27	ファシリテーション研修	1
			12/8	「地域包括ケアシステム」が目指すこと、実現するために必要なこと	1
7/8	受注検討業者工場視察		12/14~15	就労支援フォーラム 2019	2
7/31	依存症研修	2	12/21	元どおりにもどることに こだわらない!	1
9/20~21	リカバリー全国 フォーラム 2019	2	2/6	日常の関わりで苦勞していること グループスーパービジョン	1
9/25	就労事業振興センター研修	1	2/18	防災力強化研修~福祉事業所における災害時対応のポイント~	1
(複数研修)					
研修内容		日付		参加人数	
高次脳機能障害地域支援者向け 連続講座 2019		7/10、8/21、9/28、10/16、12/20、2/19		3	
サービス管理責任者研修		7/2~3、11/14、12/26~27		1	

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数

5-4 行事实施状況 (2019. 4. 1~2020. 3. 31)

月 日	行 事 内 容
10月24日	避難訓練
1月25日	第三者委員相談会
3月9日	避難訓練

**2019（令和元1）年度 事業報告書**  
**共同生活援助（障害者グループホーム）**  
**ジョーの家**

概況

当年度のスローガンは「地域に溶け込んだアパートであることを大切にしよう」であった。

平成 21 年に開設した当事業所も 10 年が経過し、利用者も高齢化している。4 名中 3 名が 60 歳以上となった。しばらくは高齢化した利用者の今後の生活のあり方についての検討がメインになるであろう。年度後半に 1 名の利用者をグループホームから障害者支援施設のロングショートステイへ移行した。また、以前一時的に B 型事業所を利用していたが、継続して通所ができず、日中はグループホームで過ごしていた利用者について、本人の意向を確認し共生型生活介護の利用へつなげた。以前は、受診の必要がない体調不良でも救急車を呼ぶ方であったが、利用を開始したところ、救急車を呼ぶことはなくなった。通所先で体調面の相談ができることで安心し、他者との関わりで楽しみを見つけたようであった。

○数値目標

稼働率 目標 95%⇒実績 91.1%

※何度か事故報告にあがっていた利用者 1 名が 7 月に転倒による骨折で約 2 か月入院した。入院中より今後の生活について相談し、1 月に法人内の障害者支援施設へ入所を目的としたロングショートステイという形で移行した。空床には 3 月より体験利用で 1 名を受け入れし、現在も継続中である。

○サービス目標

本人の意向・気持ちを汲みつつ、どう支援するかについて、世話人会議を利用して話し合いを行った。またそれぞれの利用者の誕生日、クリスマス、年末年始にはメニューに工夫を凝らし、温かい雰囲気を作った。

○地域連携目標

希望者に地域の催しの紹介をしたところ、2 名の利用者が参加した。避難訓練においては、有事の際に職員不在という状況を想定した訓練を行い、自分たちで避難所まで移動ができるように取り組んでいるものの、まだ自力での判断・移動については不安が残る。繰り返し訓練が必要だと感じている。

○業務遂行目標

本人の意向と支援のバランスを図ることが世話人だけでは難しい場面もあり、サービス管理責任者・管理者が協力し、調整を行った。就労している利用者の生活面の支援については、長年本人に任せていたが、本人の意向を確認しつつ、できるところ、苦手なところ等の整理を行い、本人・家族・職員が力を合わせて支援を行った。その結果、遅刻が続き就労を継続することが難しくなりそうな状況であったが、契約を更新することができた。

○人材育成目標

研修への派遣と世話人会議を活用し、ケースの振り返り・整理等を行い、気づきにつながるようにした。本人の意向を大事にし、自分でできることは任せるというスタンスはできており、今後は変化（特に高齢化）に対応していく力の育成が必要であると感じた。

○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019 年）

「稼働率」目標：95% → 実績：97%

（所長 近藤 美貴）

1 利用状況（2019. 4. 1～2020. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員4名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1464	1464	1335	3.6	91.1	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	1	0	0	1	0	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	1	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	2	1	3
四街道市	1	0	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2019. 4. 1現在）

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	0	3	59.7	67	49
%	100	0	25.0	0	75.0			
男	3	0	0	0	3	63.3	67	61
女	1	0	1	0	0	49.0	49	49

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	4	0	1	2	1
%	100	0	25.0	50.0	25.0
男	3	0	1	1	1
女	1	0	0	1	0

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	100
男	3	0	0	0	0	3
女	1	0	0	0	0	1

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	3	0	0	0	0	0	0	3
女	1	0	0	0	0	0	0	1

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	2	0	2	0	0	0	0
%	100	50.0	0	50.0	0	0	0	0
男	3	2	0	1	0	0	0	0
女	1	0	0	1	0	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	4	0
%	100	100	0
男	3	3	0
女	1	1	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100
男	3	0	0	0	3
女	1	0	0	0	1

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	0	1	1	3
%	100	0	0	0	25.0	25.0	75.0
男	3	0	0	0	1	1	2
女	1	0	0	0	0	0	1

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	1	3	0	0
%	100	0	0	0	0	0	25.0	75.0	0	0
男	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0
女	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

## 4 援助サービスの実施状況

<b>食事提供</b>	朝・夕の食事を提供。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し食事を提供。 誕生日などはその利用者の希望するメニューに変更し提供。
<b>体調管理</b>	健康状態の把握、緊急時の通院、不調時の静養や通院の促しを行う。

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2019.4.1 現員数	2019.4.1~2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	3 (3)					3 (3)
管理者	1 兼					1 兼
主任 (サービス管理責任者)	1 兼					1 兼
世話人	3 (3)					3 (3)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
施設外					
7/25	世話人の集い	3	8/29.30	全国グループホーム等研修会	1
2/5	世話人の集い	1			
(複数研修)					
研修内容		日付			参加人数

5-3 行事実施状況 (2018. 4. 1~2019. 3. 31)

月	行事内容
11月20日	避難訓練
1月25日	第三者委員面談
3月17日	避難訓練 ※3月に送別会を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で中止
誕生祝	入居者誕生月毎に実施 (食事会)

## グループホーム 山王の家

## 概況

当年度のスローガンは、前年に引き続き「育もう、生きる力」であった。1名の方が家庭の都合で退居した。その後、体験入居を経て2名の方が7月と12月に入居された。これで長年の欠員状態が解消され、現在は満床の10名の利用者が日常生活を送っている。

10/1より週3日、夕方の世話人が入職したことで、根郷通所センター職員の兼務が軽減した。

“週末の過ごし方”として7名の方は、ほぼ毎週末に帰省や家族との外出で、ホームに残る3名は、趣味の畑、友人と外出、部屋で音楽鑑賞、買い物をして過ごしている。勤務する職員によっては、一緒に昼食を食べに外食へ出掛けたりもする。職員は、利用者の各々の予定を踏まえ、工夫を凝らした活動を提供した。職員によって偏りがあるため、マニュアル化の声も上がっている。その人がその人らしく地域で暮らす、山王の家のコンセプトは“脱施設化”である。社会経験の少ない若手職員は、ベテラン職員と提供する支援に差が生じることもある。しかし、ホームでの共同生活とは言え、個人の暮らしを支援者側がマニュアル化することは最小限としたい。

## ○数値目標（稼働率）

・目標 95% ⇒ 実績 86.3%

## ○サービス目標

・職員は食卓を一緒に囲み、家庭的な雰囲気づくりをおこなっている。そのため、和やかな雰囲気の中で会話する日々の生活が送れている。また、大きな災害や事故に見舞われることもなく、利用者が安心して帰宅できる場所となっている。

## ○地域連携目標

・最寄りのコンビニエンスストアでは、多くの利用者が買い物をしており常連となっている。また、佐倉市南部図書館へ定期的に足を運ぶ利用者もあり、地域資源を生かした自分らしい生活を各々が送っている。

## ○業務遂行目標

- ・佐倉市総合支援協議会生活支援部会内の住まいの部会（改称「グループホーム事業所連絡会」）に参加することで、グループホーム支援ワーカーと連携を図っている。
- ・相次いで襲来した台風により、被害状況の報告等、行政との連携を強化しており、送迎等の問題を含め日中活動事業所とも連携を図っている。被害状況として、強風のため植栽が十数本倒れてしまい隣接地の住人に迷惑をかけてしまった。
- ・普段からの挨拶励行で農作物を頂いたりする関係もあったためか、大きな苦情とはならなかった。また、夜勤明け職員が周辺の掃除をおこなっており、近隣住人から笑顔で挨拶を返していただくことも多く、良好な関係が築けている。
- ・10月 建築後2年目の点検が行なわれた。大規模な修繕箇所はなく、各部屋の扉の稼働調整、床鳴り箇所の修繕を行った。
- ・第三者評価については、1月に利用者・ご家族、職員へのアンケート調査、2月に管理者等の聞き取り調査を行った。3月の評価結果報告会は、新型コロナの影響で延期となっている。

## ○人材育成目標

・印旛圏域障害者グループホーム等連絡協議会の世話人の集いでの研修では、研修内容を山王の家とジョーの家がグループホーム支援ワーカーと協力して立案、実施し、世話人が出席した。普段勤める事業所の一世話人として抱える悩みや不安を共有してもらう企画であった。

## ○第Ⅲ期中期経営計画達成状況（2017～2019年度）

・3年間の稼働率の平均は 81.2%であった。

（管理者 安倍 一義）

1 利用状況（2019. 4. 1～2020. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3,650	3,315	3,158	8.7	86.5	2	1

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	2	1	0	0	1	1	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	1	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	5	1	6
四街道市	1	1	2
船橋市		1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2019. 4. 1 現在）

	総数	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	9	2	4	1	2	35.15	55	20
%	100	22.2	44.5	11.1	22.2			
男	6	0	3	1	2	42.3	55	35
女	3	2	1	0	0	28	35	20

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	9	0	0	0	9
%	100	0	0	0	100
男	6	0	0	0	6
女	3	0	0	0	3

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	9	4	3	1	1	0
%	100	44.4	33.3	11.1	11.1	0
男	6	4	0	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	9	0	0	0	0	0	0	9
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	6	0	0	0	0	0	0	6
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	9	0	0	2	6	0	1	0
%	100	0	0	22.2	66.7	0	11.1	0
男	6	0	0	2	3	0	1	0
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	9	2	7
%	100	22.2	77.8
男	6	2	4
女	3	0	3

### 3 利用者の障害の状況

#### 3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	9	0	0	0	9
%	100	0	0	0	100
男	6	0	0	0	6
女	3	0	0	0	3

#### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	9	4	3	1	1	0
%	100	44.5	33.3	11.1	11.1	0
男	6	4	0	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

#### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0
%	100	0	0	0	0	0	100	0	0	0
男	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

### 4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝はチルドの食事を提供し、本人達に和食、洋食を選んでもらい提供している。また、夕食は業務用献立配達システムを利用し利用者と一緒に調理を行っている。
体調管理	健康状態の把握。薬の管理。突発の際の通院付き添い。

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2019.4.1 現員数	2019.4.1~2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	4(4)	2(2)	1		2(2)	5(5)
管理者	1兼					1兼
サービス管理責任者	1専					1専
生活支援員	13(1)兼		1兼			13(1)兼
世話人	4(4)	2(2)				5(5)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員(宿直等)については、バックアップ施設(めいわ入所部・通所部、よもぎの園)兼務

5-2 職員研修の状況

施設内					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
施設外					
10/29	障害者虐待防止研修	1			
複数研修					
	研修内容		月日		参加人数

5-3 行事実施状況 (2019.4.1~2020.3.31)

月	行事内容
12/23	避難訓練
誕生会	入居者誕生日毎に実施

## Ⅱ－９ 障害者支援事業部統合運営部門

### 1 健康管理（健康管理センター）

#### 1－1 概況

当年度も前年度に引き続き、感染症罹患者（ノロウイルス、インフルエンザ）は、見られなかった。しかし肺炎による入院が5件のうち、基礎疾患のある利用者2名が死去された。また、胃ろう造設のため療養型へ移行を余儀なくされた方や入院加療後、施設での食事形態がゼリー状やペースト食へ変更したケースもあるなど、高齢・重度化に伴う疾病の対応に苦慮した一年であった。加えて転倒を伴うケースが増え高齢化による機能低下は避けられない状況となっている。年々リスクが高まる誤嚥やADL低下に伴う合併症状の軽減が図られるよう助言、指導を継続していきたい。

特筆すべき点としては、利用者の情緒面の安定が緩やかにみられたこと、緊急受診の件数が前年度よりも減少したことがあげられる。

#### 1－2 保健関係行事の実施状況

月	保健関係行事
4月	衛生・感染症対策委員会、法人健康診断（職員）、ルミエール血圧・体重測定、法人新任研修、
5月	衛生・感染症対策委員会、法人健康診断（利用者）、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
6月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、ルミエールニーズ別旅行同行
7月	衛生・感染症対策委員会、法人健康診断（利用者：内科健診）、ルミエール血圧・体重測定
8月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定
9月	衛生・感染症対策委員会、総合防災訓練（救護所設置）、ルミエール血圧・体重測定
10月	衛生・感染症対策委員会、夜勤従事者健診（職員）、秋祭り（車いす体験コーナー・救護班）、ルミエール血圧・体重測定・インフルエンザワクチン接種
11月	衛生・感染症対策委員会、インフルエンザワクチン接種、ルミエール血圧・体重測定、
12月	衛生・感染症対策委員会、インフルエンザワクチン接種、ルミエール血圧・体重測定
1月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
2月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務全体会議
3月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定

1-3 施設内診療の状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】 診察日数 99	延人数	1,340	492	419	429
【歯科】 診察日数 66	延人数	485	171	183	131
【医務室】 診察日数 366	延人数	8,599	3,383	395	4,821
【精神科】 診察日数 24	延人数	679	365	237	77
【泌尿器科】 診察日数 14	延人数	420	88	237	95
【他科】 診察日数 0	延人数	0	0	0	0

1-4 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
内科	延人数	110	28	28	54
歯科	延人数	12	3	7	2
眼科	延人数	49	6	31	12
外科	延人数	6	0	0	6
精神科	延人数	178	103	27	48
その他	延人数	219	80	66	73

1-5 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		33	10	7	16
総日数		418	196	111	111
実人数		14	6	4	4
内訳	男	11	4	3	4
	女	3	2	1	0
(延人数) 医療機関別人数	佐倉中央病院	13	5	7	1
	千葉県循環器センター	1	1		2
	東邦大学医療C佐倉病院	14	1		13
	浅井病院	1			1
	下志津病院	1	1		
	谷津保健病院	1			1
	成田日赤病院	1	1		
	成田富里徳洲会病院	1	1		

1-6 疾患別入院理由

(延人数…重複発症含む) 疾患別入院理由	肺炎(疑い含む)	8
	ステント交換	13
	蜂窩織炎	1
	尿路感染	4
	ヘルペス	1
	低Na血症	1
	肺膿瘍	2
	胸膜炎	1
	巨大結腸症	1
	虫垂腫瘍による腹膜炎	1
	腹腔鏡下鼠経ヘルニア手術	1
	ヘルニア手術	1
	脳波検査目的	1
不穏による医療保護入院	1	

1-7 救急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	5	2	3	0
(内訳)	男3:女:2	男:1 女:1	男:2 女:1	男:0女:0

## 2 食事サービス（栄養管理室）

### 2-1 概況

<p>○栄養ケアマネジメント会議を施設毎に年2回実施した。健康状態に課題が見られる利用者を対象とし、日頃の食事量・間食の摂り方・服薬している薬の内容・生活スタイル・精神状態など食事内容のみならず、利用者の全体像から課題解決の糸口を見つけられるよう施設職員と話し合いを行った。</p> <p>○献立内容は旬の野菜を豊富に取り入れつつ、新しいメニューの導入・リクエスト食への対応を行った。</p> <p>○栄養改善委員会（隔月実施）を行い施設、給食委託業者からの意見を吸い上げながら給食提供に関わる課題について話し合った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症発生時における給食対応のマニュアルを作成した。</p> <p>○大地震等大規模災害を想定した非常食の確保や備蓄等の食事提供について職員へ周知した。今後も引き続き災害、感染症拡大時における食事提供体制に危機意識を持ちながら取り組みたい。</p> <p>○施設内で調理実習を行う際のマニュアルを作成した。</p> <p>○利用者の高齢化が進むにつれ嚥下の低下などの問題が生じている。状態把握をきめ細かく行い個別に配慮した。今後も給食委託業者、各施設の栄養改善委員と緊密に連携を取りながら、質の高い食事提供を行っていききたい。</p>
--

### 2-2 標準献立

	朝食 8:00～	昼食 12:00～	夕食 18:00～
献立名	ご飯 厚焼き卵 小松菜の錦糸和え 大根のゆず漬け みそ汁（もやし、麩）	十八穀ごはん さばの味噌煮 竹輪とじゃが芋の煮物 みいろ和え すまし汁（えのき）	ご飯 松風焼き 刻み昆布の煮物 菜の花和え のっぺい汁

### 2-3 食種構成表

	常食	特別食		
		刻み	粥	ミキサー・ペースト食
総数	152	29	8	3
ルミエール	39	12	2	1
めいわ	33	10	0	2
通所	44	4	1	0
リホープ	36	3	5	0

	療 養 食			
	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総 数	0	11	16	0
ルミエール	0	4	2	0
めいわ	0	4	5	0
通所	0	0	0	0
リホープ	0	3	9	0

#### 2-4 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	74g	脂質	50g
糖質	285g	カルシウム	550mg	鉄分	10.0mg
ビタミンA	770 $\mu$ g	ビタミンB1	1.15mg	ビタミンB2	1.27mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	9.0g		

#### 2-5 栄養改善委員会開催状況（隔月開催）

委員の構成・・・施設職員 4名、利用者代表 1名、施設栄養士 2名、  
委託業者社員 1名、委託業者（責任者）1名

月 日	内 容（例）
3月18日	1) 栄養士から連絡 * 施設内で調理実習を行う際の注意事項 * 利用者の発熱、嘔吐、下痢などの症状発生時の対応について 2) 委託給食会社より 3) 検食簿より 4) 施設より

2-6 行事食献立

月・日	区分	行事名	献立
4月17日	昼	春の献立	グリンピースごはん、魚（たら）の香味だれ 牛肉とニンニクの芽炒め、かぶのさくら漬け みそ汁（エリンギ、もやし）
5月 5日	昼	端午の節句	五日ちらし（穴子）、いかと里芋の煮物、 沢煮椀、柏餅
7月 7日	昼	七夕	枝豆ごはん、さわらの塩こうじ焼き、里芋の そぼろ煮、オクラのすまし汁、梅ゼリー
7月27日	昼	夏の献立	夏野菜カレー、ポテトサラダ、わかめスープ、 フルーツ（すいか）
8月20日	昼	夏の献立	ご飯、豚しゃぶごまだれかけ、ゴーヤチャン プル、蒸しなすとささみの和え物、沢煮椀
9月18日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、炊き合わせ、すまし汁 （大根、小松菜）、梅ゼリー
9月23日	昼	秋分の日	ご飯、かき揚げ、高野豆腐の煮物、みぞれ汁、 おはぎ
10月5日	昼	秋の献立	ご飯、やわらか煮豚の卵添え、野菜の角煮と 野菜の煮物、ほうれん草のピーナッツ和え、 さつま汁
11月22日	昼	秋の献立	さつま芋ごはん、ほっけの塩焼き、ひじきと 大豆の煮物、白和え、みそ汁（大根、えのき）
12月22日	昼	冬至	ご飯、さばの竜田焼き、切干し大根のゆず和 え、すまし汁（小松菜、エリンギ）、南瓜ババ ロア
12月25日	昼	クリスマス	ケチャップライス、フライドチキン、マカロ ニサラダ、コーンポタージュスープ、チョコ レートケーキ
12月31日	昼	大みそか	年越しそば、えびとそら豆のかきあげ、いな り寿司、野菜の和え物、水ようかん
1月1日	昼	お正月	赤飯、お雑煮（すまし）、紅白なます、紅白か まぼこ、ローストビーフ、黒豆、数の子、ゆず ゼリー
1月11日	昼	鏡開き	ごはん、たちうおの塩焼き、たまねぎのドレ ッシングあえ、雷汁、おしるこ

2月 3日	昼	節分	ちらし寿司、ひじきの煮物、漬物、すまし汁、水ようかん
2月14日	昼	バレンタインデー	ご飯、鶏肉のクリーム煮、南瓜サラダ、ベーコンとエリンギのスープ、チョコレートプリン
3月 3日	昼	ひな祭り	ちらし寿司、蒸し鶏とキャベツの和え物、かぶのそぼろ煮、紅白そうめん汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、松風焼き、刺身（ねぎとろ）、ブロッコリー蟹あんかけ、紅白そうめん汁
3月20日	昼	春分の日	ご飯、ローストポーク、えびと玉葱の酢の物、沢煮椀、おはぎ

### 3 ボランティアの育成と受け入れ

#### 3-1 ボランティア受け入れ状況（障害支援事業部）（331件/507人）

活動内容	件数	延べ人数	活動内容	件数	延べ人数
理髪	0	0	作業:補助	41	41
歩行介助	55	60	行事協力	3	31
外出介助	21	21	ダンス・舞踊	1	1
伴走	93	93	傾聴・朗読等	0	0
清掃	4	13	音楽	42	91
施設・備品整備	1	7	茶道・花道	23	73
裁縫	31	46	公演	0	0
洗濯・たたみ	16	30	手工芸	0	0
生活介助	0	0	その他	0	0

#### 3-2 ボランティア登録状況（障害支援事業部）（7団体 35名・個人23名）

団体名	会員数	所在地域	団体名	会員数	所在地域
あしたの会	4	佐倉市	光和会	4	市川市
ほたる	1	佐倉市	あじさいの会	13	佐倉市
草笛クラブ	2	佐倉市	ラ・ポール	6	佐倉市
あやめ	5	佐倉市	個人	23	佐倉市・その他

#### 3-3 ボランティア育成事業（全事業所）

月日	内容
9月13日	ボランティア交流会 (場所:千葉敬愛短期大学 学生食堂)
3月21日	地域デビュー講座 災害ボランティア講座(南部地域福祉センター) ※新型コロナウイルス感染症のため中止

### 3-4 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
4月23日	根郷中学校	職員	年間計画打ち合わせ
5月29日	根郷中学校	1年生	福祉講話
6月13日	根郷中学校	3年1組	愛光利用者交流体験
6月18日	山王小学校	4年生	アイマスク体験
6月20日	根郷中学校	3年2組	愛光利用者交流体験
7月12日	根郷中学校	3年2組	愛光利用者交流体験
10月31日	根郷中学校	1年1組 1年2組	アイマスク体験 アイマスク体験
11月7日	根郷中学校	1年3組	アイマスク体験
12月12日	根郷中学校	2年1組 2年2組	点字講座①
1月9日	根郷中学校	2年1組 2年2組	点字講座②
2月	山王小学校	4年生	※新型コロナウイルスのため中止

### 3-5 地域食堂「ともいき」開催状況

開催日	メインメニュー	地域住民	見学者	ボランティア	延人数	運営スタッフ
4月17日	鶏モモ肉とキャベツの クリーム煮	63	2	7	72	15
5月15日	冷やしたぬきうどん	55	7	13	75	14
6月19日	肉じゃがとわかめ御飯	62	2	13	77	11
7月17日	夏野菜カレー	79	1	18	98	12
8月21日	スタミナ丼	55	3	21	79	13
10月16日	きのこツナの Pasta	72	0	17	89	12
11月20日	ちゃんちゃん焼き	54	0	11	65	13
12月18日	ミートローフ	64	3	19	86	12
1月15日	ブリの照り焼き	73	0	13	86	11
2月19日	おでん	97	0	17	114	14

○開催場所：高齢者ケアセンターはちす苑

○開催日：毎月第三水曜日 17:30～ ○参加費：100円

### Ⅲ. 高齡者福祉事業部



高齢者福祉事業部

はちす苑

概況

前年度に続き「地域」つながる。ひろがる。ひびきあう」をスローガンとし、本体施設事業の他に、ともいき事業として、共生型サービス・通所型サービスB・訪問型サービスA（緩和）の事業を強化した。

人員不足の関係で、当年度も一部入所系職員の公休消化ができなかった。特に看護師は、常勤職員を充足できなかったため、オンコール業務など大きな負担を強いてしまった。職場環境の改善が急務となっている。

○数値目標

特養・ショートステイの合算稼働率は、目標数値を達成できた。デイサービスは、上半期の稼働が悪く、年間の平均稼働率は大きく下回った。しかし、下半期は共生型の利用者数が伸び、平均稼働率は75.5%（R1.10～R2.3）であった。ホームヘルプは、登録ヘルパーの退職があつたにもかかわらず、平均月収入が197万円と大きく下回ることはなかった。ケアプランは、常勤職員を増員できたが、上半期契約件数を大きく伸ばすことができず、目標件数を大きく下回った。

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率	合算 97%	98.6%	合算 97.0%
			92.9%	
配食サービス	月平均収入	27万円	21万円	
	食数換算	274食	食数換算	213食
デイサービス	稼働率	75%	69.4%	
	1日平均利用者数	26人	24.3人	
ホームヘルプ	月平均契約者数	60件	62.0件	
	月平均介護保険収入	200万円	197万円	
ケアプラン	月平均契約件数 (予防プラン含む)	115件	85.6件	

○サービス目標

特養4床増床については、予定より遅れたが、令和2年1月1日付で千葉県より認可を受けた。医療との連携は、高輪会（訪問歯科）の協力により、誤嚥性肺炎予防に向けた取り組みを始めた。口腔ケアの対象者を増やし、嚥下機能面で課題のある方は、言語聴覚士による評価を行っている。リスクマネジメントについては、ひと間違いの誤薬事故0件、感染症に関しては、インフルエンザ罹患者は、発生したものの大きく広がることはなかった。デイサービスでの機能訓練と加算の算定については、職員を採用できなかったため実施できず。

(参考) リスクマネジメント関係

※年間ヒヤリハット件数 858 件（平成30年度ヒヤリハット件数 987 件）

※年間事故総数 33 件

⇒防ぐべき事故 18 件 予測ができた事故 13 件

(主な内容)

異食・誤飲 3 件 転落 1 件（骨折 1） 転倒 10 件（骨折 3 裂傷・打撲 4）

誤薬 5 件（排便カウントミスによる下剤過剰服用など） 服薬忘れ 2 件（薬のセットミスなど）

放置 3 件 無届外出 2 件 車両事故 2 件

※苦情 0 件

特養 ショートステイ・・・事故総数が前年度より 15 件減少した。また、骨折事故も前年度の半分となり、対応策の効果がみられている。「ひと間違い」の誤薬事故は 0 件であった。しかし、排便カウントミスによる下剤の過剰投与が目立った。主に職員間の連携ミスによるものであり、排便カウント方法や連絡方法を見直した。「放置」についても前年と同様の件数であり、職員の「失念」によるものであるため、看板など活用して防ぐ手段を講じている。

・行動指針（行動規範）、ロゴ、ルールブック作成は終了した。引き続き「はちす苑8つの誓いプロジェクト」を立ち上げ、行動指針を職員に浸透させ、サービスの質の向上へつなげていく。

#### ○地域連携目標

・総合事業の展開については、利用人数が増えており順調である。

通所型B（40回開催 実利用人数15人 延べ利用人数309人）

訪問介護A（実利用者数8人 月平均収入8.5万円）

介護者のつどい7回実施（参加実人数13人 参加延べ人数68人）

のびのび入浴10回実施（利用延べ人数24人）

・フレイル予防事業

まちかどエクササイズを地域福祉センターで実施。（2回/月）毎回、参加人数が30名程度と、人気のプログラムである。

・地域との連携強化

訪問介護職員（主任）、介護支援専門員は地域関係の会議に出席できているが、相談員（ショートステイ、デイサービス）が出席できていないため、連携の強化には至っていない。勤務体制を工夫し、ともいき事業に参加するなど、地域住民と触れ合える機会を増やしていかなければならない。

#### ○業務遂行目標

・特養（4床）増床 令和2年1月1日付 定員増の認可を受けた。

・行動指針、行動規範作成

はちす苑8つの誓い、基本ケアルールブック、ロゴマークは完成した。今後のサービスの質の向上、職員のモチベーションアップ、求人などに活かしていく。

・選択的介護、介護保険外サービスの導入

デイサービスで実施を検討していたが、ニーズ調査・人員不足の関係で実施できず。次年度も継続して、検討を行う。

・助成金を活用した修繕

中山馬主協会に申請をしたが対象とならなかったため、デイサービスフロア内壁紙修繕、トイレ改修工事ができなかった。

#### ○人材育成目標

・「NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク全国の集いin東京2019」にケアスタッフ3名、看護師2名が参加した。全国各施設の取り組みを見聞きし、モチベーションアップにつながった。また、看取りケアに関するはちす苑の取り組みについて発表をした。次年度も同大会に参加し、行動指針作成に関する発表を行う予定である。中間管理職（課長 主任）のマネジメント能力強化については、課長のみケアビジネス研究会の全国大会に参加することができたが、経営に対する意識強化と生産性向上アップのための業務改善に向けての動きはできていない。サブリーダーは、リスクマネジメント、特に課題解決に関する能力が高まってきている。喀痰吸引研修については、当年度派遣することができなかった。

#### 1. 特別養護老人ホーム

・入居者の入院日数は、前年度より約130日減少した。しかし、医療的ケアの必要な方が増えており、持病による入院が増えている。基本的ケアを徹底し誤嚥性肺炎・尿路感染での入院者を減らす努力がさらに必要である。また、当年度も人員不足などで、常勤職員の公休消化が年度内にできなかった。採用・人員配置・勤務体制など、さらに工夫が必要である。

・看取りケアは（退所19名）10名実施した。

・千葉県介護ロボット導入支援助成金を活用し、見守りベッド2台を購入した。（助成金22万円）

#### 2. ショートステイ

長期ショートステイ利用者で、医療面での支援が多い方が増えており、予想外の入院が発生することが特徴として挙げられる。そのため、昨年度と比べると稼働が約4%下がってしまった。長期ショートステイ利用者は、医療機関から入所するケースが多いので、面接時に利用者情報をどこまで得られるか、ソーシャルワーカーとの連携が課題である。

共生型短期入所利用者については、単発での利用が多く定期的な利用者がまだいないため、実利用者数4人 延べ利用者数28人となっている。事業のことが、関係事業所に知られていないことが大きい。外部関連機関との関係づくり、相談員の動き（営業力・提案力）が大きなポイントとなる。

### 3. 佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業（委託事業）

前年度からさらに減少した。根郷、和田、弥富の地域担当であるが限界集落もあり、新規の利用があっても数か月で施設入所や親類近くに引っ越ししてしまうため廃止となってしまう。数年ごとに地域の担当を見直しをしてきた。平成23年度に見直しをしたことを最後になっているため、佐倉市に配達地域の見直しを依頼する。

### 4. デイサービス

年度当初稼働率が50台後半～60%台と苦しいスタートとなったが、特に下半期は、共生型利用者が増えたため、大幅に稼働が回復した。職員が補充できていないにもかかわらず、主任を中心にチーム一丸となって業務を遂行していたため、大きな事故なく運営できたことは評価したい。稼働率アップのため、今後は、他事業所の見学、営業活動の強化、サービスの見直し、送迎の工夫は必須である。また、介護保険の動向を意識しながらアウトカム評価・加算への取組、介護保険外サービス・選択的介護サービスの導入、広報戦略を強化し、地域の認知度を上げていく必要がある。

共生型生活介護利用者数 実利用者数 12人 延べ利用者数 759人

### 5. ホームヘルプサービス

目標契約件数は達成できたが、収入は僅かであるが目標を達成できなかった。しかし、登録ヘルパーの退職が続いたことを考慮すれば、悪い数値ではない。このような状況下でも、常勤職員が年休を取得できたことは、主任を中心とした勤務管理体制が整っていたからである。

訪問型サービスA・・・契約件数が10件、月の収入が平均8万円台であり、順調である。職員が確保できれば、さらに利用者数が伸びる可能性がある。訪問介護事業については、職員の確保が大きな課題となっている。常勤職員4名 登録ヘルパー10名（内3名緩和型）となっており、10年前と比べると登録ヘルパーの数が約1/3となっている。

### 6. ケアプラン

5月より介護支援専門員3名体制となった。8月末時点で契約件数100件を目指し営業（外回り）などを実施していたが、予防プランの依頼などが多く、なかなか件数増につながらなかった。12月になり100件を超えたが、年度末契約終了者が増えたため、目標を達成することができなかった。総合事業や介護者のつどいは力を入れており「地域」を意識した活動ができるようになってきている。  
(苑長 麻生 知明)

## 1 事業の実績(2019.4.1～2020.3.31)

### 1-1 特別養護老人ホームはちす苑(介護老人福祉施設)

【定員54名(2019.4.1～2019.12.31まで50名 2020.1.1～54名)】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				入退所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	18664	19004	18406	50.2	98.0	599	10	588	1	23	19
(前年)	18250	18615	17887	49.0	98.0	723	0	723	0	14	14

※ 定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

### 1-2 ショートステイはちす苑(短期入所生活介護事業)

【定員20名】

	延べ年間施設利用者		1日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	7,320	6,795	18.7	92.8
(前年)	7,300	7,058	19.3	96.6

#### 1-2-1 特養 ショートステイ合算

	延べ年間施設利用者		1日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	25,984	25,201	68.3	97.0
(前年)	25,550	24,945	68.3	97.6

1-3 佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業（委託事業）

月	食数	実利用者数	新規	終了
4月	214	14		
5月	207	15	2	2
6月	199	13		
7月	247	14	1	
8月	234	14		
9月	228	15	1	
10月	255	15		1
11月	207	15	1	
12月	215	15		
1月	185	14		2
2月	168	13	1	1
3月	198	12		

1-4 デイサービスはちす苑（通所介護事業 基準該当生活介護事業）

【定員35名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		利用契約者 (共生含)	共生型生活介護 利用契約者数 12 延べ利用人数 759
	営業日	定員	総数	利用数	稼働率		
(当年)	308	10,780	7,491	24.3	69.4	822	
(前年)	306	10,710	7,862	25.5	72.9	909	

1-5 ホームヘルプサービスはちす苑（訪問介護事業）

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		独自・緩和		自由		利用 契約者	合計援助 時間数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	7,366	3,268	1885.5	2,246	1871.5	(独自) 1,392	(独自) 1376.5	16	9.25	758	5587.25
(前年)	7,864	3,657	2,083	2,300	1,904	(緩和) 444	(緩和) 444.5	29	52.5	742	5,932
						(独自) 1,516	(独自) 1,561.5				
						(緩和) 345	(緩和) 345				

1-6 ケアプランはちす苑（居宅介護支援事業）

月	ケアプラン								実績	
	月末契約数	継続	新規	再開	中断	終了	その他	実績		
								要支援	要介護	
4月	55	49	3		3			10	39	
5月	62	54	6		1	1		17	45	
6月	62	54	8		2	1	17	9	51	
7月	87	67	13		2	1	4	21	56	
8月	95	75	6		1	1	12	21	55	
9月	86	71	8		2	3	2	20	58	
10月	98	87	4		1	4		24	66	
11月	96	87	5		1	3	4	26	61	
12月	100	85	2	2	2	5	4	26	65	
1月	102	86	5	2	4	6	3	25	65	
2月	96	86	3	2	5	1	6	25	61	
3月	89	82	4	1	8	2	1	21	64	

2 入居者・利用者の状況（2019年度全契約者）

2-1 利用者総数

	全利用者			特養ホーム入居者			居宅サービス利用者※		
	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女
人数	375	143	232	73	15	58	302	125	177
%	100	38.1	61.9	19.5	4	15.5	80.5	33.3	47.2

※ はちす苑が提供する居宅サービス[ケアプラン（居宅介護支援）・ショートステイ（短期入所）  
・デイサービス（通所介護）・ホームヘルプ（訪問介護）]を指す。

2-2 年齢構成

（年齢は2019.4.1現在）

		総数	65未満	65~69	70~79	80~89	90以上	最高齢
全利用者	総数	375	18	14	91	160	92	
	%	100	4.8	3.7	24.3	42.7	24.5	
	男	143	11	11	37	61	23	95歳
	女	232	7	3	54	99	69	101歳
特養ホーム 入居者	人数	73	4	1	13	32	23	
	%	100	5.5	1.4	17.8	43.8	31.5	
	男	15	4		4	4	3	91歳
	女	58		1	9	28	20	101歳
居宅 サービス 利用者	人数	302	14	13	78	128	69	
	%		4.6	4.3	25.8	42.4	22.9	
	男	125	7	10	33	57	18	95歳
	女	177	7	3	45	71	51	100歳

2-3 居住地域

		総数	佐倉市	四街道市	成田市	富里市	その他
全利用者	総数	375	305	53	2		15
	%	100	81.3	14.2	0.5		4
	男	143	112	24			4
	女	232	193	29	2		11
特養ホーム 入居者	人数	73	58	9	1		5
	%	100	79.5	12.3	1.4		6.8
	男	15	14	1			
	女	58	44	8	1		5
居宅 サービス 利用者	人数	302	247	44	1		10
	%	100	81.8	14.6	0.3		3.3
	男	125	98	23			4
	女	177	149	21	1		6

2-4 要介護認定の状況

		総数	自立	要支援	I	II	III	IV	V	障害
全利用者	総数	375		76	53	62	71	70	30	13
	%	100		20.3	14.1	16.6	18.9	18.7	8	3.4
	男	143		23	26	32	23	19	10	6
	女	232		53	27	30	48	51	20	7
特養ホーム 入居者	人数	73			1	4	26	32	10	
	%	100			1.3	5.7	35.5	43.8	13.7	
	男	15			1	1	4	7	2	
	女	58				3	22	25	8	
居宅 サービス 利用者	人数	302		76	52	58	45	38	20	13
	%	100		25.1	17.2	19.3	14.9	12.6	6.6	4.3
	男	125		23	25	31	19	12	8	7
	女	177		53	27	27	26	26	12	6

2-5 面会・外泊状況（特養入居者）

面会 回数 (年)	回数	50回以上	49~40回	39~30回	29~20回	19~10回	9~1回	なし
	人数	7	2	6	8	21	29	0
%	9.6	2.7	8.2	11.0	28.8	39.7	0	
男	1	2	1	1	2	8	0	
女	6	0	5	7	19	21	0	
外泊 日数 (年)	回数	20日以上	19~15日	14~10日	9~5日	4~1日	なし	
	人数	0	0	0	0	3	70	
	%	0	0	0	0	4.1	95.9	
	男	0	0	0	0	1	14	
女	0	0	0	0	2	56		

2-6 特養新規入居者(2019 年度中)

	総数	入居時年齢				入居時要介護度				
		65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	23	0	1	7	6	1	1	8	9	4
男	4	0	2	1	1	1	1	0	2	0
女	19	0	5	12	2	0	0	8	7	4
	総数	入居前状況								
		在宅	老健	病院	その他					
数	23	15	2	6	0					
男	4	2	1	1	0					
女	19	13	1	5	0					

2-7 特養退所者(2019 年度中)

	総数	退所時年齢					退所時要介護度					
		~64	65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5	
人数	19	2	0	3	4	10	0	0	5	9	5	
男	5	2	0	2	0	1	0	0	1	4	1	
女	14	0	0	1	4	9	0	0	4	5	4	
	総数	退所時理由										
		在宅	施設	入院	死去							
人数	19	0	0	3	16							
男	6	0	0	2	4							
女	13	0	0	1	12							

3 特養入居希望者(2020. 3. 31 現在)

	総数	年齢区分					介護認定による要介護度						
		~64	65~	70~	80~	90~	要支	1	2	3	4	5	不明
人数	136	12	6	25	62	31	2	2	7	48	47	21	9
%	100	8.8	4.4	18.4	45.6	22.8	1.5	1.5	5.1	35.3	34.6	15.4	6.6
男	64	8	3	14	29	10	0	1	3	16	26	11	7
女	72	4	3	11	33	21	2	1	4	32	21	10	2
	総数	現状											
		在宅	老健	病院	他								
人数	136	58	24	34	20								
%	100	42.6	17.7	25	14.7								
男	64	22	12	20	10								
女	72	36	12	14	10								

#### 4 保健・医療サービス

##### 概況

###### ○サービス目標

当年度の入院件数は、前年度と比較し 0.8%の減少となった。基本的なケアを提供した成果と考える。尿路感染症での入院は横ばい、肺炎(誤嚥性肺炎含む)は、やや上昇している。歯科往診して頂いている高輪会から、次年度より言語聴覚士が加わり、月1回2~3名の嚥下機能悪化がみられる利用者の嚥下評価をする予定であったが、新型コロナウイルスの関係で休止している。今後、状況に応じて再開となる。

際立っていたのは消化器科、特に胆嚢に関する疾病での入院である。年齢と共に消化機能が低下するためと考えられる。その中でもある女性利用者は、何回も入退院を繰り返した。食欲減退となり、はちす苑での食事を摂ることが困難となっていたため、嗜好品を購入し量を調整しながら対応していた。その他の入居者も同様のケースがあり、当年度は救急搬送や救急外来受診の件数が増加している。

感染症防止対策として昨年度から引き続き、東邦大学医療センター佐倉病院の感染管理認定看護師に講師依頼し2回開催した。嘔吐物を処理する実践内容も含まれており、有意義な研修の場となった。次年度も講演依頼を予定している。

当年度より「一般社団法人日本健康倶楽部」に依頼し、利用者・職員の健康診断を行った。初めてではあったが、職員の協力もあり、混乱もなくスムーズに実施することができた。次年度も同業者に依頼している。

職員の健康管理面としては、各職員健康管理に留意しており、大きく体調を崩す職員はいなかったが、健康診断の血液検査結果が悪い職員が数名おり、メンタル面以外でも栄養指導や生活習慣の指導を行う必要があった。

###### ○地域連携目標

知的・身体障害のある40代の男性利用者のショートステイを受け入れた。その利用者は、入所して間もなく風邪症状が見られ居室対応となった。そのことがなかなか受け入れられず、大声を出したり本人の同意を得られない状況が見受けられた。その後も対応に苦慮している内容の報告を受けた。高齢者と知的障害者の対応をそれぞれに考慮しつつ、本人にとって何がベストなのか、寄り添っていく必要がある。

###### ○業務遂行目標

当年度の看取りは10名であった。ある女性利用者は、ご家族の諸事情により、はちす苑でお葬式を執り行うこととなった。「通夜振る舞い」として本人の好物を用意し、故人を偲んだ。今後も本人・ご家族に寄り添った看取りを継続していきたい。  
(健康管理室 看護主任 阿部美樹子)

#### 4-1 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定 健康診断・胸部レントゲン	健康診断(胸部レントゲン・血 検・検尿・心電図・身長・ 体重・聴力・視力・腹囲・ 診察) 腰椎問診・診察	4	2	0	0	4
5月	血圧測定・体重測定・血検・検尿		4	2	0	0	4
6月	血圧測定・体重測定・内科健診		4	2	0	0	4
7月	血圧測定・体重測定		5	2	0	0	4
8月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
9月	血圧測定・体重測定		4	1	0	0	4
10月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 内科健診	夜勤者健康診断(血検・検 尿・心電図・身長・体重・ 聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察	5	2	0	0	4
11月	血圧測定・体重測定・ インフルエンザ予防接種	インフルエンザ予防接種・	4	2	0	0	4

12月	血压測定・体重測定		4	2	0	0	4
1月	血压測定・体重測定		4	2	0	0	4
2月	血压測定・体重測定		4	2	0	0	4
3月	血压測定・体重測定		5	3	0	0	4

4-2 施設(内) 診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	662	61	34	55	77	44	56	65	53	55	57	54	51
	実人数	314	37	10	27	40	25	24	31	26	30	29	17	18
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	延人数	624	44	44	46	52	57	57	56	53	50	60	54	51
	実人数	198	14	13	12	16	22	18	17	18	17	16	17	18
泌尿器科	延人数	160	14	19	17	16	14	8	15	13	11	9	9	15
	実人数	97	11	11	10	10	8	8	9	7	7	5	5	6

4-3 施設(外) 医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	100	15	14	2	5	5	10	11	4	9	5	9	11
	実人数	92	15	10	2	5	5	9	10	5	9	5	7	10
外科	延人数	3	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	実人数	3	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
整形外科	延人数	26	2	4	0	0	2	3	2	4	2	2	2	3
	実人数	21	1	4	0	0	2	2	1	2	2	2	2	3
泌尿器科	延人数	19	2	4	0	1	2	3	3	1	0	2	0	1
	実人数	12	1	3	0	1	1	1	2	1	0	1	0	1
眼科	延人数	8	3	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	0
	実人数	8	3	0	0	1	0	2	0	1	1	0	0	0
脳外科	延人数	16	0	1	1	1	1	1	2	1	4	1	1	2
	実人数	15	0	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	2
精神科	延人数	24	2	1	2	1	2	3	1	1	3	4	4	0
	実人数	21	2	1	2	1	2	2	1	1	3	3	3	0
循環器科	延人数	11	0	1	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1
	実人数	11	0	1	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1
歯科	延人数	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
	実人数	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0
耳鼻科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
乳腺科	延人数	4	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1
	実人数	4	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1

救急外来	延人数	52	6	6	3	9	4	7	0	3	2	2	4	6
	実人数	41	5	5	3	6	3	6	0	2	2	2	2	5
ペーサーメーカー	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
消化器科	延人数	11	0	1	2	3	2	1	0	0	0	2	0	0
	実人数	11	0	1	2	3	2	1	0	0	0	2	0	0
総合外来	延人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	延人数	25	1	2	0	5	2	3	1	0	3	3	1	4
	実人数	24	1	2	0	5	2	3	1	0	2	3	1	4
形成外科	延人数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	実人数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
皮膚科	延人数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0
	実人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
腎臓内科	延人数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
	実人数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
嚥下外来	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

#### 4-4 入院の状況（特養在所契約期間中）

件数	入院 総日数	平均 入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	50～	70～	80～	90～
48	642	13.3	48	20	28	8	3	27	10

（入院総日数は、入院初日・退院当日を含む）

#### 4-5 入院理由

薬剤性肝障害	1	胃腸炎	2
腎盂腎炎	3	老衰	2
低栄養	2	上腸間膜動脈症候群	1
脱水・尿路感染症	4	胆管炎	8
心不全	4	左視床下部脳梗塞	2
肝機能障害	1	急性胆嚢炎・胆石症	4
肺炎（誤嚥性肺炎含む）	12	右上腕骨頸部骨折・左大腿骨骨折	1
蜂窩織炎	2		

#### 4-6 機能回復訓練（指圧）の実施状況

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	140	920	190	140	80	35	140	1410	88

## 5 食事サービスの状況（栄養係）

### 5-1 標準献立（平均所要量エネルギー1512kcal//蛋白 64.6g//脂質 30.6g//糖質 235.9g）

	朝食 (8:00~)	昼食 (12:00~)	夕食 (18:00~)
献立名	ごはん 大根のかにかまあかけ キャベツのごま和え あみ佃煮 ほうれん草とえのきのみそ汁 牛乳	ごはん 肉豆腐 大学芋 漬物 水菜とわかめのすまし汁 フルーツ（洋梨缶）	ごはん 赤魚の粕漬け焼き オクラ添え 小松菜のわさび和え 漬物 もやしと玉ねぎのみそ汁

### 5-2 食種構成表

総数	主食				副食				胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	ソフト	
54 (入院2)	17	24	7	3	15	19	12	5	1

### 5-3 行事食献立

月	行事名	献立名
4月	お花見	甘酒とさくらまんじゅうを提供する。飲み込みが困難な方は水ようかんを提供する。
5月	八十八夜 端午の節句 ヨーグルトの日	デザートにお茶まんじゅうを提供 あなごのちらし寿司、南瓜のそぼろ煮、友禅和え、はんぺんと水菜のすまし汁、柏もち 離水しにくいヨーグルトを提供
6月	入梅 千葉県民の日 芒種 和菓子の日&麦とろの日	まぜご飯、いわしの梅煮、ビーフンソテー、漬物、オレンジ、沢煮椀 ごはん、つみれ鍋風煮、小松菜のピーナツ和え、昆布の佃煮、冬瓜とねぎのみそ汁、杏仁豆腐 ごはん、手作りさつま揚げ&茄子と南瓜の天ぷら、オクラのミョウガあえ、漬物、たけのこのすまし汁、桃の缶詰 麦ごはん、さばの照り焼き、とろろ芋、うの花、小松菜とわかめのみそ汁、山芋まんじゅう
7月	七夕 土用うしの日 納涼祭	五目そうめん、いなり寿司、野菜と海老の天ぷら、切り干し大根の酢の物、やわらか大福 やわらかうな井、モロヘイヤのおひたし、漬物、すまし汁、土用餅和菓子から揚げ、えびの天ぷらなどのオードブルを提供
8月	山の日 お盆	オムライス、ゴーヤチャンプル、漬物、かにかまのみつばのすまし汁、フルーツ（すいか） ごはん、肉野菜炒め、豆腐の田楽、漬物、すいとん、うきわの形の和菓子
9月	重陽の節句 敬老会 敬老の日 秋分の日 十五夜	栗ごはん、鱈の香味焼き、ほうれん草の菊花和え、山形の郷土料理のだし、おふとえのきのみそ汁、フルーツ（梨） 扇型赤飯、ぬか漬け、マグロとサーモン盛合わせ、炊き合わせ、青菜のくるみ和え、茶わん蒸し、そうめん汁、フルーツ（梨、巨峰）→松花堂弁当での提供 蒸エビちらし寿司、肉詰め信田の煮物、おくらのおかか和え、はんぺんとふのりのすまし汁、おはぎ ごはん、天ぷらの盛り合わせ、菜の花の辛子和え、漬物、はんぺんのすまし汁、やわらか大福 しそ香りごはん、鮭のつけ焼き、白菜とホタテの煮びたし、漬物、なめこと水菜のすまし汁、ねりきり
10月	はちす苑開設 記念日	赤飯、スズキの生姜醤油焼き、小松菜と蒸し鶏の辛子和え、漬物、ふのりのすまし汁 やわらか大福

	さんまパーティー ハロウィン	各街にて目の前で炭火を使い、さんまを焼いて旬の味覚を味わった。 和菓子を提供する。
11月	法人25周年記念 はちす苑20周年	ごはん、びんちょうトロマグロの山かけ、里いもと竹輪の煮物、白菜漬け、和菓子、すいとん汁
12月	忘年会 冬至 クリスマス 大みそか	天ぷらなどのオードブル、おでんを提供、お寿司を外部より購入した。 ごはん、手作りさつま揚げ、切り干し大根のゆず和え、ぬか漬け、豆腐の味噌汁 ゆずのお菓子 ケチャップライス、フライドチキン、ツナサラダ、コーンポタージュ、ババロア 年越しそば、海老と南瓜と茄子の天ぷら、いなり寿司、乳酸菌飲料
1月	お正月  七草 鏡開き	元旦の昼：すまし仕立てのお雑煮、赤飯、お刺身盛り合わせ、炊き合わせ、 ほうれんそうのごま和え、かまぼこ、伊達巻、栗きんとん、和菓子 →松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、かにちらし寿司、茶わん蒸し、切り干し大根の煮物、 コーヒープリン黒豆のせ 七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜と厚揚げの煮浸し、漬物、のっぺい汁、 ほうじ茶プリン ごはん、ぶりの照り焼き、五目豆、漬物、小松菜のスープ、おしるこ
2月	節分 寿司パーティー バレンタインデー	卵の太巻きすしといなりすし、鶏肉と大根の煮物、おもちムースのこしあんがけ 寿司職人が来苑し、各街にて目の前で寿司を握っていただき、握りたてを味わった。 ごはん、鶏肉のクリーム煮、南瓜サラダ、漬物、エリンギスープ、チョコの和菓子
3月	ひなまつり  ホワイトデー 愛光創立記念日 春分の日 非常食 お彼岸	菜の花のちらし寿司、白菜と厚揚げの煮びたし、うどんと麩のすまし汁、豆乳寒天 おやつ時にあま酒（麴由来のノンアルコール）を振舞った。 チョコのババロア 赤飯、とろびんちょうマグロの山かけ、信田煮、かきたま汁、やわらか大福 混ぜごはん、手作りさつま揚げ、刻み昆布の煮物、おしんこ、すまし汁、コーヒー フリーズドライのけんちん汁をお湯でお出しした。 ぼたもち

※高齢者に懐かしいと思えるぬか漬けを夏からはじめた。塩分を控えめにするために冷蔵庫でつけておく。  
8月後半より1週間に1~2回ほどお食事のお漬物として提供している。

## 6 運営管理

### 6-1 職員状況

職 名		2019. 4. 1	2019. 4. 1~2020. 3. 31				2020. 3. 31
		現員数	退職	異動出	異動入	採用	現員数
総 数		94 (49)	8 (7)	6(3)	4(1)	7(5)	91 (46)
苑長 (施設長)		1					1
総務課	(法人所属) 事務員	1					1
	事務員	1(1)					1(1)
	運転手	1(1)					1(1)
	クリーンスタッフ	7(7)					7(7)
	管理宿直者	3(3)					3(3)
	配食サービス配達員	5(5)					5(5)
	アルバイト					1(1)	1 (1)
施設サービス課	課長	1					1
	主任ケアスタッフ	3					3
	ケアスタッフ	33(10)	3 (2)	4(2)	2	3(2)	31(8)
	生活相談員	1					1
	管理栄養士	1		1	1		1
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	主任ケアマネジャー	1					1
	ケアマネジャー	1				1	2
	【デイサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	13(9)	1 (1)	2(1)	1		11 (7)
	生活相談員	1					1
	ボランティアコーディネーター	1 (1)					1(1)
	【ホームヘルプ】						
	主任ケアスタッフ (サ提)	1					1
サービス提供責任者	1					1	
訪問介護員	1					1	
登録ヘルパー	12 (12)	3 (3)		1(1)		10 (10)	
健康管理室	医師	1(1)					1(1)
	主任看護師	1					1
	看護師	5 (2)	1(1)			2(2)	6 (3)
	機能訓練職						

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。数字は総数で表示し、内パート職員の数( )内に再表示している。

### 6-2 職員研修・訓練など実施状況

法人					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/23	メンター研修	2	10/1	大規模災害対策訓練	3
5/20	リスクマネジメント研修	2	11/1	リスクマネジメント研修	2
6/23	感染症対策訓練①	2	11/27	感染症対策訓練②	6
7/30	権利擁護・虐待防止研修	1	12/12	中堅職員研修	3

8/16	介護技術研修	2	1/28	リクスマネジメント研修	1
8/30	リクスマネジメント研修	2	2/14	労務管理者研修	3
9/24	評価者研修	3			
施設内					
5/1	身体拘束廃止研修①	5	9/4	防災訓練②	
5/29	口腔ケアについて	5	12/4	夜間想定防災訓練③	
7/3	防災訓練①		1/29	身体拘束廃止研修②	5
8/28	緊急時対応研修	5			
TENA 研修 3カ月おきに開催					
施設外					
5/10	千葉県主任介護支援専門員研修	1	9/20	C-MAS 会全国ケアビジネス研究会研修	2
5/24	佐倉市介護支援専門員研修	2	9/25	千葉県介護支援専門員研修課題整理総括表に関する研修	2
5/25	グリーンケア研修	1	10/24	地域包括ケアセミナー	3
6/22	千葉県介護支援専門員研修 コーチングコミュニケーションについて	2	11/6	佐倉市施設協 職員合同研修 看取りについて	3
7/11	マイナビ人材採用研修	1	11/8	発達障害に関する研修	2
7/18	佐倉市医療介護の連携に関する研修	3	12/1	佐倉市介護支援専門員協議会 主催研修	2
7/23	佐倉市介護認定調査研修	2	1/29	地域における健康づくり推進事業 研修会	2
(その他研修)					
研修内容		日付		参加人数	
安全運転管理者研修		7/2		1	
副安全運転管理者研修		10/		1	
地域同行型研修同行者研修		8/22 23 9/18		1	
NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第25回全国の集い in 東京 2019		9/15 16		5	
相談支援従事者研修		10/2 30 31		1	
合同事例検討会(居宅)		12/15		12	

## 7 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
代表者会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
身体拘束廃止委員会	4			1			1			1			1
特養主任会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入居判定会議	5		1		1		1			1			1
デイサービス会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	6	1		1		1		1			1	1	
サービス担当者会議	60	3	5	6	4	5	6	6	6	6	6	5	2

8 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実習目的	日数	件数	人数
※総数		91	9	41
新国際福祉カレッジ	介護福祉士	30	1	1
新国際福祉カレッジ	介護福祉士	10	1	2
植草学園短期大学	介護福祉士	13	1	3
植草学園短期大学	介護福祉士	20	1	3
植草学園短期大学	介護福祉士	9	1	2
植草学園短期大学	介護福祉士	2	1	4
千葉県新規採用職員施設研修	職場体験	2	1	5
佐倉市社会福祉協議会	介護職員初任者研修	1	1	1
日本医科大学	医学実地演習	4	1	20

9 ボランティア活動

9-1 活動状況(年間実績) ※この他に、近隣の小学生・中学生との交流会なども実施

活動内容		延人数	理		清拭布洗濯物たみ	生活介助	作業補助	行事協力	傾聴朗読等	手工芸 陶芸クラフ	音楽療法	生花・茶道クラブ	公演・発表	その他
			髪	施環境 備整備										
4月	延人数	129	5	13	25	10		16	11	9	10	12		18
	人数	64	3	1	13	3		16	3	5	6	8		6
	回数	77	3	13	18	10		5	4	2	2	3		17
5月	延人数	122	6	12		13		25	13	8	11	11		23
	人数	61	3	1		3		25	3	5	6	8		7
	回数	68	4	12		13		5	4	2	2	3		23
6月	延人数	170	2	17	31	9		41	10	9	8	11		32
	人数	87	1	1	13	3		41	3	5	5	8		7
	回数	92	2	17	18	9		5	4	2	2	3		30
7月	延人数	140	6	13	25	13		19	10	9	10	8		27
	人数	68	3	1	13	3		19	3	5	6	8		7
	回数	87	3	13	18	13		85	4	2	2	2		25
8月	延人数	102	3	13	24	10		11	10	8	10	3		10
	人数	50	2	1	13	3		11	3	5	5	3		4
	回数	58	3	13	11	10		4	4	2	2	1		8
9月	延人数	120	3	13	25	12		24	8	7	10	8		10
	人数	67	2	1	13	3		24	3	5	5	8		3
	回数	64	3	13	13	12		5	4	2	2	2		8
10月	延人数	90	6	13	21	3		14	6	9	11	3		4
	人数	53	3	1	13	3		14	3	5	6	3		2
	回数	54	3	13	13	11		3	4	2	2	1		2
11月	延人数	122	5	11	24	9		22	11	9	10	11		10
	人数	59	3	1	13	3		22	3	5	6			3
	回数	62	3	11	13	9		5	5	2	2	3		9
12月	延人数	128	4	13	25	11		20	11	8	11	12		13
	人数	64	3	1	13	3		20	3	5	5	8		3
	回数	70	2	13	16	11		6	4	2	2	3		11
1月	延人数	106	2	10	20	11		23	4	4	10	9		8

	人数	64	1	1	13	1		23	4	4	6	9		3
	回数	56	2	10	13	11		5	1	1	2	2		6
2月	延人数	72	4	10	201	11		5			1	1		12
	人数	58	3	1	13	3		19			5	5		3
	回数	58	2	10	11	11		5			5	1		10
3月	延人数													
	人数													
	回数													
合計	延人数													
	人数													
	回数													

9-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備	1	個人
理美容	3	個人
清拭・洗濯たみ	10	山王ワックラブ くちなし ひまわり 個人
生活補助	3	個人
傾聴	3	やまゆり
陶芸クラブ	5	つちぶえ
音楽クラブ	1	個人
茶道クラブ	3	個人
囲碁・将棋	0	
歌・演奏	2	うたごえ
生花クラブ	5	さくら草
車椅子清掃	10	
その他(誘導・散歩等)	10	チューリップ 個人

10 行事・活動等実施状況 (2019. 4. 1~2020. 3. 31)

月	行事内容
4月	3日 特養・ショートお花見茶会
5月	24日 内部事業監査 30日 特養日帰り旅行①
6月	23日 特養家族懇談会 27日 特養日帰り旅行②
7月	18日 特養日帰り旅行③ 21日 特養・ショート納涼祭
9月	4日千葉県集団指導(通所 訪問) 15日 敬老会 26日 特養日帰り旅行④
10月	5日愛光秋まつり 9・23日 秋のさんま 17日 日帰り旅行⑤ 31日健康診断(入居者 職員)
11月	2日 RUN 伴 20日 千葉県監査 28日 日帰り旅行⑥
12月	15日 特養家族・第三者委員との懇談会 特養・ショート入居者忘年会
R2 1月	1日 特養獅子舞 1~3日
2月	5日 日帰り旅行⑦ 9日 10日 寿司キャラバン
	特養 誕生会(随時) ボランティア演芸会(1回/月) 生花クラブ(2回/月) 茶道クラブ(2回/月) 音楽クラブ(2回/月) 陶芸クラブ(2回/月) 買物・個別出(随時) 外出(3回/月) デイサービス 誕生会(毎月) ボランティア演芸会(毎月2~3回) 居宅介護支援 介護者のつどい(年7回開催)

## IV. 地域福祉事業部



## 南部児童センター・学童保育所

### 概況

スローガンを、「地域づくり 子育ての目くばり気くばりから」とした。児童センターは家庭、学校に加えて「第三の居場所」として、学童保育所は「家庭に代わる生活の場」としての機能を、可能な限り発揮できるようにアイデアを出し合いながら児童の健全育成に努めてきた。

引き続き、指定管理者としての5年間がスタートした。これまでの実績を踏襲しつつ、土曜日の保育時間延長など、新たな展開を模索しながらサービスの向上を目指してきた。

しかし、9月の台風直撃や、3月の新型コロナウイルス感染症拡大の対応策として、長期にわたり臨時閉館を余儀なくされ、利用者数の大幅な減少となってしまった。台風では、地域全体の停電や断水などのライフラインが止まってしまったことや、南部地域保健センター建屋の破損があった。学童保育所は、学校の休校に合わせて開所したが、寺崎、大崎台、山王以外の各学童保育所は、ライフラインの影響でやむなく臨時閉所とした。この間、地域の道路も寸断されたことによる交通渋滞が発生し、23時頃のお迎えになってしまったこともあった。

学童保育は、特に根郷小学校区と寺崎小学校区での過密化が顕著であり、両校とも、2学童保育所を要するが、定員数の変更や在籍学年を変更するなどして対応してきた。和田学童保育所では、年間を通じて200%近い登録者があった。これまで同様、市の施策としてこれといったプランニングアクションはなかったが、保育室の慢性的な狭隘化に対応して、公民館の空室を借用するなどしてしのいできた。

#### ○サービス目標

「子育て相談窓口の設置」では、インストラクターのアドバイスに加えて、月に一回子育てコンシェルジュを招聘し、相談窓口を開設した。子育てコンシェルジュは、子育て支援の情報や保育サービスをわかりやすく案内したり、様々な子育ての相談に応じたりするなど、子育て中のママを応援する佐倉市の施策である。子育てに関することで、どこに相談してよいかわからない内容でも、気軽に相談できる場所であるということで、ニーズが高かった。担当者は、市から委託を受けている民間機関の社会福祉士である。毎回10件前後の相談者があり、場合によっては長期にわたって相談を継続していく必要があるケースもあった。

#### ○地域連携目標

根郷地区社会福祉協議会やまちづくり協議会などと連携し、種々の企画を推進してきた。加えて、事業部内の連携の他、法人内他施設とも連携し、新たなサービスを展開してきた。

健全育成事業・地域交流事業の推進については、「地域食堂ともいき」や「ねっこ食堂」など、地域の関係団体や施設との連携を図りつつ、新たな活動の幅を構築してきた。また、ボランティアグループ「スマイルクラブ」を中心として、対外的なボランティア活動にも積極的に取り組んできた。

#### ○業務遂行目標

毎月の常勤会議の折に、それぞれの部署から一か月間の事故やヒヤリハットを報告し合い、リスクを共有するとともに再発防止をするための検証を行うなどして、リスクマネジメント意識の徹底を図ってきた。

#### ○人材育成目標

・放課後児童支援員認定資格研修受講の促進については継続するとともに、「放課後児童クラブ、児童館における支援」をテーマに、職員全体研修会を開催した。

・「子どもと向き合う力」や「児童虐待防止」をテーマとした研修会に積極的に派遣してきた。また、民間が開催する専門性を高めるための実践的な内容の研修会にも、予算の範囲内で派遣してきた。

・高校生を中心としたボランティアや実習生を積極的に受け入れてきた。 (所長 吉田 信之)

IV-1 サービスの利用状況(2019.4.1~2020.3.31)

IV-1-1 佐倉市立南部児童センター

(1)施設利用状況

(人)

	開館日数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
年間利用数	275	7,855	7,552	1,499	603	9,488	26,997
一日平均		28.6	27.5	5.5	2.2	34.5	98.2

(2)図書貸出状況

(人)

	開館日数	延べ利用者数	貸出冊数	新規登録者数
年間利用数	275	507	2,018	47
一日平均		1.8	7.3	0.2

(3)事業実施状況(延べ人数)

区分	事業の名称	実施回数	参加人数	事業内容	
子育て支援に関する業務	①子育て中の親子へ遊び場の提供業務	ひよこタイム	147	5,079	スキンシップあそび・わらべうたあそび・絵本読み聞かせ
		ゆりかごタイム	17	662	スキンシップあそび・身体測定・母親同士の交流・保健師・栄養士による相談
		ペンギンちゃんタイム	17	385	スキンシップあそび・わらべうたあそび
		うさぎちゃんタイム	17	414	2歳以上 月2回毎水曜日(8月を除く)
		くまちゃんクラス	19	822	2・3歳児親子遊び 第2 第4火曜日
		さくらんぼちゃんタイム	10	58	多胎児保護者、妊婦の交流、情報交換の場
		ひよこランド	1	66	くまちゃんクラスの参加親子によるお店屋さんごっこ
		ひよこスペシャル	4	368	家族でひよこタイムに参加し、あそびの楽しさの体験・スマイルクラブとの交流
		幼児親子あそび	1	12	講師による親子あそびの紹介と実践
		おはなし会	10	295	司書による絵本読み聞かせ・わらべうた遊び
		乳幼児遠足 (佐倉草ぶえの丘)	1	30	季節の自然に触れながら、母親同士の交流
		幼児親子バス遠足	1	39	季節の自然に触れながら、母親同士の交流(アンデルセン公園)
		幼稚園説明会	1	57	南部地区近隣幼稚園の職員を招いて説明会
		おはなしキャラバン	1	70	人形劇、大型絵本、パネルシアター、絵本の鑑賞
		県民の日あそびのフェスティバル	1	119	色々なあそびを通して交流を深める。高齢者クラブと連携
		あそびりんぴっく	0	0	スマイルクラブによるあそびのブース
	②子育て相談業務	誕生会&大きくなったかな?	13	734	お誕生児に手形・缶バッジプレゼント・身体測定
子育てコンシェルジュ		8	37	子育てコンシェルジュを招いて、子育ての個別相談・支援業務	
③子育てサークル等の支援業務	子育てサロン (はっぴいランチ)	10	153	昼食を摂りながら、母親同士の交流を深めリフレッシュする場	

遊びを通しての体力増進指導業務	幼児体操教室	2	39	講師による親子運動あそびの実践	
	小学生体操教室	1	69	ゲームあそびを通して体力作り。跳び箱、ボール等を使った運動あそび	
児童の健全育成に関する業務	① 行事活動業務	県民の日あそびのフェスティバル	1	15	高齢者クラブと連携。工作、魚釣りゲームなどのブース
		水風船大会	1	27	水風船大会を通しての交流
		おばけやしき	1	256	スマイルクラブが企画・運営。地域との交流
		愛光秋まつり	1		障害者、高齢者との交流
		あそびリンピック	1	34	スマイルクラブによるあそびのブースを展開
		臨時開館	2	334	学校の振替休業日における、小学生の居場所づくり
		放課後Xデー (スポーツ大会)	6	114	集団あそびをとおして、異年齢の交流を図る。ドッジボール、スポーツ鬼ごっこ等
	②小学生を対象とする活動業務	こわいおはなし会&ミニ工作	1	16	司書による怖い絵本の読み聞かせ、素話。スライム作り
		夏のおはなし会	1	46	
		将棋クラブ	9	67	駒の名前や動かし方、ルールなどを覚えて対局
		卓球大会	1	12	色々な学校・学年の友だちとの対戦し交流を図る
		生け花教室	4	39	伝統文化の体験
		小学生バス遠足	1	24	他校、他学年との交流(科学技術館)
	③中高生を対象とする活動業務	臨時開館	2		中学生の居場所づくり(かき氷の配布)
		中高生バスケ大会	0	0	参加者希望による3対3ミニゲーム(休館のため中止)
	④ボランティア、サークル支援活動業務	スマイルクラブ	23	225	通年 障害者施設や老人施設などの訪問・交流活動
		お化け屋敷実行委員会	5	50	お化け屋敷の企画運営
		ボランティア交流会	1	3	こんにやく作り体験(根郷地区まち協との連携)
		子育て応援サポーター	175	142	はっぴいランチ、くまちゃんクラス幼児見守り、将棋教室補助など
	⑤地域交流・世代間交流活動業務	ゴミゼロ運動	1	9	根郷地区まちづくり協議会との連携
		ともいきランチ	3	87	南部地域福祉センターとの連携
		赤い羽根共同募金活動	1	36	佐倉市社会福祉協議会との連携/しおり作成
		お正月遊び等	1	66	
		高齢者施設訪問	6	68	高齢者施設の敬老会やオレンジカフェなどへの参加
		共同募金活動等	2	17	佐倉市社会福祉協議会との連携
		まち協芋ほり等	3	87	根郷地区まちづくり協議会との連携
		ラン伴	1	56	南部包括との連携/認知症啓発活動
		根郷福祉まつり	1	700	根郷社会福祉協議会や各種団体との連携
		Christmas concert	1	208	家族で参加できるオーケストラコンサート
		ボランティアの受け入れ	18	18	南部地域福祉センターとの連携・共同企画
	ともいきマルシェ	0	0	事業部内および高齢者施設との連携/休館のため中止	

## (4)南部児童センター 主な行事実施状況

月	行事内容
4月	小学校振替休業日 臨時開館(4/22)
5月	子どもの日 臨時開館(5/5), 振替休業日(5/6), さつまいもの苗植え/落花生の種まき(5/24) スマイルクラブ(ゴミO運動)(5/26)
6月	運営委員会(6/10), 影絵塾公演(6/30)
7月	おばけ屋敷(7/30)
8月	山の日 臨時開館(8/11)
9月	夏休み明け 臨時開館(9/2), 台風被害による臨時休館(9/10, 11, 幼稚園説明会(9/17),
10月	台風被害による臨時休館(10/12), 幼児バス遠足(葛西臨海水族園)(10/24)
11月	RUN 伴 スマイルクラブ参加(11/2)
12月	クリスマスコンサート(12/15)
1月	小学生書き初め展(1/14~2/2)
2月	佐倉市ふれあい作品展, 小学生バス遠足(科学技術館)(2/23)
3月	感染書拡大防止策のため 3/2~3/31 まで休館, 運営委員会(3/9)

## IV-1-2 学童保育所

## (1)登録・利用状況(開所日数288~289日)

	定員	登録者数 (延べ人数)	延べ利用者数 (年間総数)	一日平均 利用者数
根郷学童保育所 (対象学年1年~3年)	55	685	9,822	34.1
第二根郷学童保育所 (対象学年1年~6年)	60	583	7,970	27.7
和田学童保育所 (対象学年1年~6年)	15	334	4,772	19.7
弥富学童保育所 (対象学年1年~6年)	65	215	3,105	13.2
寺崎学童保育所 (対象学年1年~3年)	60	829	11,571	47.0
大崎台学童保育所 (対象学年1年~6年)	30	389	4,394	17.9
山王学童保育所 (対象学年1年~6年)	50	438	5,812	24.1
全学童計	335	3,473	47,446	164.2

(人)

## (2) 学童保育所の主な行事

月	根郷学童	第二根郷学童	和田学童	弥富学童	寺崎学童	大崎台学童	山王学童
4月	ウエルカム パーティー	歓迎会 学童の説明会	ウエルカム パーティー	歓迎会 畑づくり/種まき	ようこそ寺崎学童へ	リフレッシュ計画	ウエルカム パーティー
						地震避難訓練	ダンボールハウス
5月	スライム作り	マンカラ大会	シャボン玉	シャボン玉遊び	作ってみよう	鯉のぼりだらけ	スライム作り
6月	室内ゲーム大会	スライム作り	折り紙で飾ろう	つくって遊ぼう	ダンボール 王国 2018	パズル&ゲーム	シャボン玉遊び
			不審者対応	七夕飾り			
7月	七夕会	水鉄砲大会	水遊びを楽しもう	お楽しみ会 紙漉き	寺崎縁日	夏休みのしもう会 名人養成講座	紙漉き 縁日
8月	夏の遊び	おぼけやしき	怖いお話会	水鉄砲作り	水遊び	名人養成講座 ゾンビハウス	フリーマーケット けん玉遊び
9月	制作	縁日	お宝探しゲーム	ミニ運動会	ミニ運動会	ダンボールアート	ウオークラリー
	地震避難訓練	火災避難訓練		地震避難訓練			地震避難訓練
10月	スポーツ大会	秋祭り	ドッジビー大会	宝探し プラ板作り	音楽イベント	変身しましょう	仮装大会
11月	秋の遊び	スポーツ大会	和田スーパー マーケット	的あてゲーム 手洗いうがい講習	寺崎探検隊	リフレッシュ 計画 Part II	山王っ子 フェスティバル スノードーム作り
						火災避難訓練	
12月	お楽しみ会	お楽しみ会	ギネス大会	お楽しみ会制作	お楽しみ会	冬休みのしもう会 門松作り	音楽会 子ども忘年会
1月	正月遊び	正月遊び	卓球大会	お正月遊び	お正月遊び選手権	カルタ⇒ 凧 ⇒ コマ	凧揚げ
2月	節分	節分	手芸を楽しむ		ドッジビー大会	ホットハート展	節分
	火災避難訓練			火災避難訓練			火災避難訓練
3月	お別れ会	お楽しみ会	お楽しみ会	お別れ会	ありがとう3年生	ありがとう! またネ	お別れ会
		地震避難訓練					

## IV-1-3

### (1) 職員状況

	2019.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	49(35)	23(21)	3(1)	3(3)	24(21)	53(39)
所長	1(0)	・	・	・	・	1(0)
主任	1(0)	・	・	・	・	1(0)
インストラクター	8(6)	・	・	1(1)	1(0)	7(6)
学童支援員	22(14)	12(11)	3(1)	・	9(8)	26(16)
学童支援員補助	13(13)	10(10)	・	2(2)	13(13)	14(14)
事務員	2(0)	1(0)	・	・	1(0)	2(0)
用務員	2(2)	・	・	・	・	2(2)

## (2) 職員の研修状況

全 体 研 修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
12./9	職員全体研修研修(悉皆)	47	2/9	実践発表会	2

学童支援員資格認定研修会					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
6/30, 7/4,7,13	第1期受講者	1	10/1,8 13,22	第3期受講者	1
7/2,5,9 14	第2期受講者	2	1/21,24, 28,31	第4期受講者	1

施設内研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
4/2~4	新任職員研修	3	2/1	Aikoh フォーラム	1
11/27	感染症対策研修会	2	2/9	職員実践発表会	3
11/8	発達障害者当事者研修会	2	2/14	労務管理者研修	3

外 部 研 修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
6/24	児童健全育成セミナー	1	10/27	地域福祉フォーラム	1
5/28	佐倉市初任者研修	1	11/20	放課後支援員資質向上研修会	1
6/1	学研ダンス講習会	1	1/25	保育全体研修	2
6/14	法澤理事長講演会	4	2/1	Aikoh フォーラム	1
6/28	児童厚生員研修	3	2/2	児童健全育成リーダー養成講座	1
8/9	学研夏の講習会	1	2/5	運動あそび研修会	12
8/26	児童虐待防止研修会	1	2/5	子どもの人権問題研修	4
9/6	佐倉市教育講演会	1	2/16	千葉県学童保育研究集会	1
9/20	防犯研修会	15			

## (3) 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6月18,19日	東京福祉専門学校	保育士	6
8月7,8,9,22日			6
8月29日			1
9月2,3,5,6日			4
11月1日			2
2月4日	明德短期大学		2
2月7,8日	帝京平成大学		4

2月25日	目白大学		1
	県立佐倉南高等学校	初任者研修異業種体験研修	1

## （ 佐倉市障害者生活支援センターアシスト / 佐倉市南部地域包括支援センター ）

## 概況

スローガンを、「地域の一員として考え、共に取り組む」とした。包括支援センターでは、地域ケア推進会議を通して地域課題を把握すると共に、民生委員や福祉委員との「顔の見える関係づくり」に取り組んできた。また、「地域食堂ともいき」の運営や「ねっこ食堂」への参加など、包括・アシスト職員共に継続的に行ってきた。

9月、10月に佐倉市を襲った台風・豪雨被害は、地域住民や利用者の生活に大きな影響を及ぼした。2月には新型コロナウイルスの影響により、地域活動の制限、外出の自粛が始まった。平時から地域とつながっていくことの重要性、災害時の情報伝達や安否確認の方法等、包括・アシストの役割を考えさせられる1年であった。

## ○数値目標

## 【アシスト】

計画相談・モニタリング件数	490件→547件
認定調査	70件→141件

## 【南部包括】

介護予防教室（としとらん塾）	12回→実績	12回
介護者教室	4回→	4回
予防プラン給付件数	月105件→	68件
地域ケア会議	年2回→	2回

## ○サービス目標

包括支援センターでは、毎日ケースを確認し合い、迅速かつ継続的に対応できるよう行ってきた。アシストでは、週1回会議を開催し、全体での情報共有、専門性の高い意見交換の場となるよう取り組んできた。ともに、専門職としての質の向上を目指し内容を精査しながら継続していきたい。

## ○地域連携目標

医療介護連携を目的として、南部・佐倉圏域の医師と月1回の情報交換や、ケアマネジャーとの勉強会を実施した。医療と介護共通の連絡シートの作成に取り組み、それぞれの立場から気軽に相談できる関係性を目指している。また、訪問介護連絡協議会の勉強会開催支援やデイサービス事業所連絡会の立ち上げを行った。今後も多職種連携の強化として取り組んでいきたい。

本年度も、「RUN 伴ちば」が開催され、包括からも実行委員として参加した。また、児童センターのスマイルクラブの子どもたちがボランティアとして活躍し、愛光からも利用者や職員がランナーとして参加した。イベントを通じて、地域の横のつながり、関係機関との連携を深めることができた。

包括の生活支援体制整備事業では、各圏域の生活支援コーディネーターと市社協、地区社協で実行委員会を立ち上げ、協働して担い手発掘事業を行った。今後も、支えあいの意識を地域と連携しながら、広げていき、地域づくりに貢献したい。

Aikoh フォーラムでは、恒例となった法人理事による成年後見制度の研修会を行った。専門職だけでなく、地域住民からも多くの参加があった。

## ○業務遂行目標

包括職員だけでなく、アシスト職員も「地域食堂ともいき」や「ねっこ食堂」に参加していくことで、今まで関係性が薄かった民生委員とも顔が見える関係になってきた。

包括では、ケアマネジャーとの事例検討会、自立支援型地域ケア会議の取り組みを進めた。また、南部圏域は介護保険以外のサービスが整ってきており、さらに3地区社協とも支えあいサービスが稼働している。地域資源を有効活用できるよう、「つなぐ役割」を担っていきたい。

## ○人材育成目標

総合相談センターとして、月1回合同会議を開催し、多問題家族や困難ケースの関わりを世帯丸ごと対応できるよう情報共有を行い、包括・アシストの連携を深めた。

また、発達障害当事者による講演会を行い、市内の相談支援事業所、居宅介護支援事業所等、多くの専門職の参加があった。多職種による話し合いの場が持たれ、多くの学びがあった。

## ○第Ⅲ期中期経営計画進捗状況（2017～2019年度）

イベント企画 目標2回/年 → 実績 2回/年

（所長 森 由美子）

## 【アシスト】

### 1-1 業務内容

- 基幹相談支援センター事業並びに業務
    - ①総合的・専門的な相談支援の実施
    - ②地域の相談支援体制の強化の取組
    - ③地域移行・地域定着の促進の取組
    - ④権利擁護・虐待の防止
  - 生活全般の相談
  - サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助
  - 情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等
  - サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催
  - 利用者負担の上限額管理
  - 社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等
  - 社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助  
人間関係、健康管理、金銭管理等
  - ピアカウンセリング
  - 専門機関の紹介
  - 総合支援協議会の運営
  - 相談員との連携に関すること
- 《社会資源の改善・開発に向けた調整》
- ①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場
  - ②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。
  - ③主な機能
    - 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保
    - 困難事例への対応の在り方に関する競技・調整
    - 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議
    - 地域の社会資源の開発、改善
    - 権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営
    - その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）
    - 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応
    - 相談支援事業者間の連携

## 1-2 相談形態別利用状況

### (1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	213	32	5	61	114	15	2	19
5月	198	27	1	57	110	14	4	14
6月	209	22	0	65	98	15	4	31
7月	194	28	2	62	100	15	6	14
8月	185	30	1	61	89	15	6	13
9月	207	37	2	64	102	21	5	13
10月	212	34	2	70	105	24	6	11
11月	204	24	1	60	103	26	6	15
12月	182	26	3	55	93	24	4	9
1月	193	35	2	53	99	20	4	15
2月	198	31	1	64	98	22	4	11
3月	200	29	6	64	97	21	6	10
計	2,395	355	26	736	1,208	232	57	175

### (2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	104	10	21	640	7	8	585	77
5月	70	16	15	506	3	5	574	72
6月	64	9	17	436	5	6	579	58
7月	76	13	25	544	12	11	720	64
8月	78	16	41	550	10	5	628	79
9月	58	11	31	544	6	4	635	72
10月	65	20	32	573	7	3	566	101
11月	58	11	25	394	4	5	428	240
12月	62	14	28	306	1	5	449	336
1月	61	9	20	296	7	3	515	367
2月	56	7	27	272	4	8	509	319
3月	63	18	27	301	11	7	542	379
計	815	154	309	5,362	77	70	6,730	2,164

(3) 支援内容数

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	日程調整等軽易な相談	計
4月	447	57	132	230	10	81	17	62	24	5	9	1173	223	2470
5月	428	49	130	149	6	86	34	62	21	4	28	1010	143	2150
6月	358	40	124	108	6	76	32	39	8	3	13	890	123	1820
7月	479	60	171	176	21	98	28	64	17	4	7	1101	136	2362
8月	427	29	150	251	9	53	33	60	28	5	20	1117	159	2341
9月	362	26	143	199	7	61	41	70	52	2	23	1121	118	2225
10月	436	26	102	169	19	77	40	78	30	8	60	1115	164	2324
11月	402	33	103	183	12	71	21	45	20	0	22	862	150	1924
12月	354	39	132	178	19	100	39	68	23	2	24	890	139	2007
1月	358	39	218	141	15	72	49	75	35	0	30	956	125	2113
2月	393	45	139	137	24	83	40	72	42	5	26	895	102	2003
3月	529	37	143	147	18	78	46	90	59	11	61	1056	128	2403
計	4,973	480	1,687	2,068	166	936	420	785	359	49	323	12,186	1,710	26,142

(4) 障害支援区分認定調査人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査	16	7	13	6	14	11	10	15	10	10	12	17	141

(5) 計画相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	27	15	25	23	17	17	42	13	11	18	26	14	248
モニタリング	23	25	46	20	12	27	24	22	18	19	27	36	299
計	50	40	71	43	29	44	66	35	29	37	53	50	547

【南部包括】

1-1 業務内容

○センター業務
①総合相談支援業務
②権利擁護業務
③包括的・継続的ケアマネジメント業務
○在宅医療・介護連携推進事業
○生活支援体制整備事業
○認知症総合支援事業
○地域ケア会議推進事業
○介護予防ケアマネジメント（第一介護予防支援事業）
○一般介護予防事業

1-2 利用状況

(1) 介護予防ケアマネジメント 予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
直営件数	65	61	62	67	68	63	65	69	73	71	71	79	814
委託件数	211	201	199	198	193	196	211	194	187	190	186	181	2347
計	276	262	261	265	261	259	276	263	260	261	257	260	3161

(2) 総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実数	延数
相談件数	5784	1921

(3) 方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平日		土・日	総数	%
	業務時間中	業務時間外	祝日		
来所	195	1	23	227	39%
電話	305	3	20	328	57%
その他	17	0	6	23	4%
合計	517	4	49	578	100%

1-4 内容別相談件数（重複有）

内容	件数	内容	件数
1. ねたきり高齢者	0	11. 権利擁護・成年後見制度	8
2. ひとり暮らし高齢者	48	12. 消費者被害	0
3. 認知症高齢者	84	13. 高齢者の虐待（疑いも含む）	7
4. 介護に関する事柄	45	14. 施設入所	30
5. 介護・福祉サービス	288	15. 介護方法（技術）	0
6. 保健・医療	28	16. やむを得ない事由による措置	0

7. 精神的支援	4	17. 苦情全般	3
8. 生活支援	14	18. 家族間調整	5
9. 状況確認	36	19. 個人の悩み事	5
10. 関係機関調整	12	20. その他	26

## 2 運営管理

### 2-1 職員状況

	2019.4.1 現員数	2019.4.1~2020.3.31				2020.3.31 現員数
		退職	異動 出	異動 入	採用	
総数	14(1)	2	1	1	4	14(1)
所長(兼務)	1		1			1
【アシスト】 管理者(兼務)	1					1
相談支援専門員	6(1)	1		1		5(1)
【南部包括】 管理者(兼務)	1					1
主任ケアマネジャー	2					2
社会福祉士	3				3	4
看護師	1					1
理学療法士		1			1	
ケアマネジャー	1					1
生活支援コーディネーター	1		1			1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

### 2-2 職員研修の状況

法人研修			
月・日	研修名	月・日	研修名
4/3	法人新人研修	7/30	法人コンプライアンス委員会研修
10/1	法人災害対応研修	11/8	AIKOHフォーラム 総合相談センター研修
2/1	AIKOHフォーラム 成年後見研修	2/9	愛光実践発表会
2/14	労務管理者研修		
施設外			
月・日	研修名	月・日	研修名
4/7	自傷行為の理解と援助(ア)	5/15	障害支援区分認定調査員研修(ア)
6/5	ペアレントトレーニングリーダー養成研修(ア)	7/3	強度行動障害基礎研修(ア)
7/7	認知症カフェフォーラム	7/10	認知症サポーター活動促進研修
7/12	GSK研修(ア)	7/25、31	地域包括支援センター初任者研修
8/17	成年後見センター研修会	8/22	生活支援コーディネーター研修
9/4	認知症キャラバンメイト養成研修	9/13	市民講座「働くていいね!2019」
9/19	佐倉市認定調査員研修	9/15、16	地域医療研修

10/2,10,11	相談支援従事者現任研修	10/17、25	地域包括支援センター現任研修
10/21	認知症キャラバンメイトスキルアップ研修	11/11	ケアマネ協議会研修
11/5、6	広報研修	11/18	薬剤師研修
11/23,24	社会福祉士実習指導者研修	11/25,30, 12/14, 1/9,14,22,2/6	ケアマネ専門研修
12/1	ケアマネ協議会研修	12/3	地域ケア会議研修
12/13	相談従事者コース別研修（ア） （多機関連携による相談支援）	12/25、26	強度行動障害養成研修（ア）
10/26,27, 12/7,8,23	コミュニティソーシャルワーカー研修	12/13、14	生活支援コーディネーター養成研修
12/19	認知症キャラバンメイト養成研修	1/14	印旛保健所 難病研修
1/21	薬剤師会フォーラム	1/29	印旛保健所 介護予防研修
1/20、30	相談従事者コース別研修（ア） （精神障害者支援）	2/11	医ケア児コーディネーター研修（ア）
2/6	印旛保健所 ALS 研修	2/17、18	強度行動障害養成研修（ア）
2/19	認知症地域推進員フォローアップ研修		

※(ア)…アシスト職員対象研修

### 2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト会議	週1回	【アシスト】	
合同会議	月1回	佐倉市障害者総合支援協議会	年2回
包括会議	月2回	佐倉市障害者総合支援協議会運営委員会	年2回
部内会議	月1回	生活支援部会	随時
		お風呂（入浴検討）部会	月1回
		住まい（GH）部会	隔月
		佐倉市障害福祉関係機関連絡会	年2回
		佐倉市相談支援事業所事例検討会	隔月
		精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議（実務者会議）	随時
		【南部包括】	
		管理者会議	月1回
		5包括事例検討会	月1回
		生活支援コーディネーター定例会	月1回
		認知症地域支援推進員会議	随時
		認知症初期集中支援チーム員会議	月1回
		民児協定例会	月1回
		医療介護連携会議「さきいか」	月1回
		地域密着型サービス運営推進会議	随時

		地域活動計画策定委員会	随時
		※ヘルパーの和さくら	随時
		※通所事業所連絡会	随時
		※グループホーム連絡会	随時

### 3 南部地域福祉センターと南部児童センターの協働事業報告

#### 3-1 南部地域福祉センター

- ・ ヨガ教室 毎週金曜日 17:45~19:15
- ・ 自力整体 第3・4水曜日 17:45~19:15
- ・ 音楽体操 毎月第2金曜日 11:00~12:00
- ・ Aikoh フォーラム 2019「高齢の方や障害のある方が安心して地域で暮らしていくための知識～成年後見制度～」

#### 3-2 南部児童センター

- ・ スマイルクラブ×RUN伴
- ・ スマイルクラブ×オレンジカフェはちす

## 概況

『めざせ!! 地域共生「ともいき」事業の発展』をスローガンに、地域にともいき事業の説明やPRをするとともに、ともいき事業の充実と活性化に努めた。サロン、地域食堂、世代間交流事業などの事業は定着しつつあり、地域の方々の生きがいがづくりや地域の活性化につながることができた。

9月に台風の襲来があり、停電により2日間臨時休所となった。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応では、3月5日より休所となった。年度末に開催していた「教養教室発表会」や、「ともいきマルシェ」、「災害ボランティア講座」を中止とした。

○数値目標 利用実績 本年度 63,512人（3月中休所） 前年度 63,560人 前年度比99.9%

## ○サービス目標

前年度からスタートした「サロン・ド・ともいき」も定着し、事業の目的である介護予防につながったと思われる。年間参加利用者は延べ309人、ボランティアは延べ177人であった。

ヨガ、自力整体、太極拳、音楽体操、まちかどエクササイズ等、健康志向や介護予防関係を重視した事業に人気があり、年々利用者数は増加傾向にあり、本年度の延べ参加人数は、4,424人であった。

南部児童センターと南部地域福祉センターの合同事業として、季節の行事を通して、幼児と地域福祉センター利用者が交流する「世代間交流事業」は、本年も年3回実施した。

## ○地域連携目標

4月、A棟大広間にて桂文雀独演会が開催された。地域住民の方々より「愛光さんは、いろいろなことを企画してくれるのでうれしい。」との話があった。

本年の佐倉のお祭りやイベントは、残念なことに台風や水害関係で中止が続いた。根郷福祉まつりは、11月3日に開催できたが、11時の開会式後、12時過ぎには雨が降り出し、会場をA棟大広間に移し、体操、踊り、抽選会などを行った。

## ○業務遂行目標

「愛光たすけあい移送サービス」については、利用者のニーズを確認しながら、新たに運転手を雇用し、既存の法人車を使って、週3日、南部地域を中心に新移送サービスをスタートさせた。利用者のニーズを確認しながら運行し、結果年間の利用人数は1,113人（往路1名、往復2名でカウント）であった。

地域住民のふれあいの場、交流の場の提供を目的とした「ふれあいサロン南部」は出演者と連携し、PRや移送サービスの成果もあり、2018年度295人の利用に対し、本年度は404人の参加があった。

年に1回、教養教室や同好会他、センターを利用している方々の日頃の成果を発表する作品展（展示会）が10月にA棟大広間にて開催した。陶芸、書道、生け花、絵画、手芸他、多彩な作品を展示し、本年度も来館者から好評であった。

通信カラオケ機器をリースで導入し、カラオケ教室や同好会、「ふれあいサロン南部」や「サロン・ド・ともいき」で使用した。特にこの機器は高齢者の健康づくり・介護予防のためのさまざまなコンテンツ（ソフト）が入っており、事業やイベントに活かすことができた。

センターの定期利用団体との懇談会は、1月にB棟研修室で開催した。愛光が南部地域福祉センターの指定管理者になって4年、次年度5年目となり、改めて指定管理者制度についての説明を行い、愛光及び南部地域福祉センターの事業紹介と現況報告を行った。

## ○人材育成目標

9月のスタッフ会議にて、防災設備の確認、緊急時の対応、AED操作の確認を行った。また2月には、救命救急講習会（普通救命講習Ⅰ）をA棟大広間で行った。参加者は南部地域福祉センター職員10名と南部地域包括支援センター職員2名の合計12名。佐倉市の消防署から講師として3名の職員が来館し、3時間の講習を受けた。内容は、主に心肺蘇生とAEDの使い方。心肺蘇生では、とにかく胸骨圧迫が大切であるとのことで、何度も繰り返し胸骨圧迫の練習をした。

## ○第Ⅲ期中期経営計画2017～2019年度進捗状況

合同イベントの企画 年3回

（所長 横川民夫）

【南部地域福祉センター】

1-1 業務内容

○事業並びに業務
1. 各種相談事業
2. 高齢者交流事業
3. ふれあいサロン事業
4. ボランティアセンター運営事業
5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
6. 大型バス運営事業
7. 愛光たすけあい移送サービス
8. 浴室運営事業
9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

(1) 利用状況(開所日数283日 延べ66,560人)

A棟	浴室	大広間	作業室	教養 娯楽室	会議室	健康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	2,227	9,614	2,653	2,835	7,287	2,321	1,588	1,895	1,935
前年	2,439	9,704	2,424	4,094	6,399	2,287	2,069	2,051	1,584
B棟	研修室	和室	ボランティア センター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	24,649	6,843	1,297	303	1,113				
前年	23,840	6,460	1,477	316	6				

※移送サービス(当年、実施内容の変更により往復2名でカウント)

(2) 大型バス運行利用状況

利用台数	64台
利用人数	2,303人

(3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
カラオケ	第2第4金曜日	大谷 慎 氏	24人
踊り	毎週木曜日	藤塚早苗 氏	13人
民謡	第1第3木曜日	會田和則 氏	13人
尺八	第2第4木曜日	川合道雄 氏	7人
大正琴	第2第4水曜日	斉藤玲子 氏	9人
書道	第1第3火曜日	長尾左保里氏	11人
いけばな	第2第4火曜日	羽根井和子氏	10人
太極拳	第1第3水曜日	塚本景次 氏	47人
自力整体	第1火曜日・第3土曜日	秋田美智子氏	165人
詩吟	第1第3土曜日	川端恵子 氏	13人

## (4) 講座、イベント

講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	16	575
高齢者交流事業（教養教室のみ）	221	3,172
趣味の教室	23	101
地域福祉のための講座	16	156
カラオケ発表会	1	61

## (5)

## 2-1 職員状況

	2019.4.1 現員数	2019.4.1～2020.3.31				2020.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	10(8)	2	0	0	3	11(9)
所長	1	0	0	0	0	1
事務員	1	0	0	0	0	1
管理員	4	1	0	0	2	5
保健師	2	0	0	0	0	2
用務員	2	1	0	0	1	2
ボランティアコーディネーター	0	0	0	0	0	0

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

## 2-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4・2	新任職員研修	1	2.14	管理者研修	1
10・1	大規模災害研修会	1	2・25	普通救命講習会	12
2・1	愛光フォーラム	1			

## 2-3 会議等(定例会議)

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	2	地域共生プロジェクト会議	12
定期利用団体懇談会	1	リスクマネジメント委員会	2
南部施設長会議	1	サービス責任者会議	2
部内会議	6	ボランティア委員会	5
理事会	5	指定管理ミーティング	7
評議員会	2	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	3
施設長会議	12	佐倉市ボランティアセンター定例会議	2
臨時施設長会議	3	根郷地区社協福祉委員会	2
愛の灯台基金会議	6	根郷地区社協理事会	1
法人事業所移転25周年 記念事業実行委員会	7	千葉盲学校開かれた学校づくり委員会	2

### 3 総合相談センター・児童センターと協働事業の報告

#### 3-1 総合相談センターとの協働事業

事業名	回数	人数
高齢者交流事業	11	291
アクティブシニア事業	94	2,166

#### 3-2 児童センターとの協働事業

事業名	回数	人数
世代間交流事業	3	87

#### 3-3 はちす苑との協働事業

事業名	回数	人数
サロン・ド ともしき	38	309
まちかどエクササイズ	15	412